

令和2年度使用

教科用図書の採択について

中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）

採択参考資料

令和元年5月

山梨県教科用図書選定審議会

目 次

□ 中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）の採択基準について-----	1
□ 市町村教育委員会が協議して採択する場合の方法について -----	2
□ 市町村教育委員会の協議が整わない場合の方法について-----	3
□ 採択の公正確保について -----	3
□ 採択参考資料の構成について -----	4
□ 中学校教科用図書採択参考資料	
国 語 -----	5
書 写 -----	25
社 会 -----	39
地 図 -----	61
数 学 -----	67
理 科 -----	85
音 楽 -----	105
美 術 -----	115
保健体育 -----	129
技術・家庭-----	145
英 語 -----	171

□ 2019年度山梨県教育委員会の教科用図書採択基準について

教科用図書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」及び「同法施行令」並びに「同法施行規則」の示すことに基づくほか、次により行う。

- ・学習指導要領の趣旨に則り、山梨県教育振興基本計画を踏まえ、県教育委員会の指導、助言又は援助の下、十分な調査研究をした上で採択を行う。
- ・採択地区の市町村教育委員会（市町村の組合を含む。以下同じ）は、採択地区協議会を設け、教科に関する専門的な観点から調査研究を実施し、採択を行う。
- ・採択権者は公正確保の徹底を図るとともに、自らの権限と責任において適正な採択を行う。

中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）の採択基準について

学習指導要領の趣旨に則り、山梨県教育振興基本計画を踏まえ、生徒に生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む内容や形式になっているか。

(1) 内容

- ①内容が学習指導要領に照らして適切なものであること。
 - ・基礎的・基本的な内容及びこれらを活用して課題を解決する体験的な学習や問題解決的な学習の内容が、適切に取り上げられていること。
 - ・言語活動を充実する学習が進められるよう配慮がなされていること。
 - ・伝統・文化や環境についての学習が進められるよう配慮がなされていること。
- ②内容の程度が生徒の実態に応じていること。
 - ・心身の発達段階に適応しており、心身の健康や安全及び健全な情操の育成に必要な配慮がなされていること。
 - ・学年間の関連が配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じていること。
 - ・発展的な学習内容についての扱いが適切であること。
- ③内容の構成・配列が適切であること。
 - ・系統的、発展的に構成されており、その組織及び相互の関連は適切であること。
 - ・自主的な学習が進められるよう適切な配慮がなされていること。
- ④内容が地域の実情に応じ得るよう配慮がなされていること。
 - ・各地域の実情や生徒の生活に広く適応できるように工夫されていること。

(2) 形式

- ①表記や表現が適切であること。
 - ・表現が生徒にとって分かりやすいこと。
 - ・文字、用語、記号、計量単位等の表記が適切であること。
 - ・挿絵、写真、図表、地図、統計資料等が信頼性のある適切なものであること。
- ②学習に必要な資料への配慮が適切になされていること。
 - ・資料が学習内容の理解や問題の解決に役立ち、学習意欲を喚起するように工夫され、活用されやすいものであること。

□ 市町村教育委員会が協議して採択する方法について

(1) 中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）を採択する場合

①採択地区協議会

採択地区に2以上の市町村教育委員会が存する場合、地区内の市町村は、教科用図書の採択を行うため採択地区協議会を設置し、共同して調査研究を行う。

②採択地区協議会の構成

ア 採択地区協議会の委員は、地区内の市町村教育委員会の教育長及び市町村教育委員会の連合体の代表をもって構成する。また、採択により広い視野からの意見を反映させるため、地域の実情に応じて、保護者代表等を加えるよう努めること。

イ 採択地区協議会に会長及び副会長1名を置き、それぞれ委員の互選により選任する。

③採択地区協議会の所掌

地区内の市町村立の中学校において使用する教科用図書について協議して種目ごとに同一の教科用図書を決定する。

④教科用図書の調査

採択地区協議会には、教科用図書の選定に必要な専門的事項について調査研究等を行うための組織を置く。

⑤学校の意見

採択地区協議会は、各学校において展示会の開催中に行われた教科用図書の研究に基づく希望意見等を参考にすることができる。

⑥教科用図書の選定の方法

最終的に、種目ごとに種類の教科用図書を選定するための具体的な手続きをあらかじめ定めておくようにすること。

⑦市町村教育委員会が単独で採択する場合

採択地区協議会に準じた組織を置いて適切に採択を行うこと。

(2) 特別支援学級を設置する学校の設置者である市町村教育委員会が協議して採択する場合

特別支援学級を設置する学校の設置者である市町村教育委員会は、各学校の実態を把握する中で、適切な教科用図書を採択する。

なお、市町村教育委員会は、それぞれ採択協議会を設置し、十分な調査研究を行うことが望ましい。

□ 市町村教育委員会の協議が整わない場合の方法について

採択の協議が整わない場合は、県教育委員会の指導助言を得て、再度協議して決定すること。

□ 採択の公正確保について

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」並びに「同法施行に伴う事務処理に関する通知」に基づいて、県教育委員会は教科用図書採択に関する公正確保についての指導を行うこと。また、市町村教育委員会等各採択権者はそれを受け、教科用図書採択の公正確保に努めること。

(1) 指導の方法及び内容について

①文書等による指導

「教科書採択における公正確保の徹底等について」等の文書指導を行い、県教育委員会及び市町村教育委員会を通して、各学校における公正確保についての趣旨徹底を図るようすること。

②説明会等による指導

教科用図書採択に関する説明会等を通して、教科用図書採択の公正確保についての趣旨徹底を図るようすること。

③訪問、面接等による指導

指導主事による学校訪問等の折、教科用図書採択の公正確保についての趣旨徹底を図るようすること。

(2) 情報公開について

採択事務の円滑な遂行及び採択の公正確保に支障を来さない範囲内で、採択結果及びその理由をはじめとする教科書採択に関する情報の積極的な公開を行うこと。

□ 採択参考資料の構成について

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

文部科学省作成（平成31年4月）の「中学校用教科書目録（平成32年度 使用）」に
掲載された中学校用教科用図書の種目，番号・発行者，教科用図書の記号・番号，掲載順に
則って記載している。

2 調査研究の観点

山梨県教育委員会の教科用図書採択基準を基に，教科ごと原則として，「内容」と「形式」
に則して5項目を設定している。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行う。
- (2) 調査研究の資料を通して，教科用図書の特徴が明らかになるように配慮する。
- (3) 記述に当たっては，教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし，調査員の主観
に陥らないようにする。
- (4) 採択の関係者が，見やすく分かりやすいように配慮する。

II 採択参考資料の見方について

1 教科書の発行者の記載順序

2 学年，領域，単元等の配列と構成

3 学習指導要領に基づいた調査研究項目

4 記述表現，資料中の記号，語句等の説明

5 発展的な学習内容の取り扱い

※各教科等の特性に応じて示している。

○中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）を採択する採択権者に供する採択参考資料について

中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）については，新たに文部科学大臣の検定を経た
教科用図書は作成されておらず，平成26年度に検定を経た教科用図書から採択することとなる。その
ため，採択参考資料については，平成27年度に作成された資料を，2020年度使用中学校用教科用
図書（「特別の教科 道徳」以外）の採択参考資料とする。

以上のことから，本資料は，平成27年度山梨県教科用図書選定審議会において，平成28年度使用
中学校用教科用図書選定のために作成した採択参考資料を基に作成している。

令和2年度使用

中学校教科用図書採択参考資料

国 語

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	国語 727 827 927
11 学 図	国語 728 828 928
15 三省堂	国語 729 829 929
17 教 出	国語 730 830 930
38 光 村	国語 731 831 931

国 語

I 教科用図書の調査研究に当たって

1. 調査教科書

2 東書 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村

2 調査研究の観点

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるよう、言語活動例が適切に取り上げられているか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が、心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じて、適切なものとなっているか。
- (3) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の構成・配列が適切であり、自主的な学習ができるように配慮されているか。
- (4) 日常生活や社会生活に関連のある身近な資料や、伝統的な作品が適切に取り上げられており、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することに配慮されているか。
- (5) 文字や表記が適切で、漢字、語句、語彙、文法、語法など、言語の教育への配慮がなされており、写真や図表なども学習意欲を喚起するように工夫され、活用されやすいものであるか。

3 調査研究に当たっての基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公平な立場で調査研究に当たった。
- (2) 調査結果を見やすくするため、会社別、学年別に単元・教材の配列を整理した。また、概要も示し教科書の特色が明確になるように配慮した。
- (3) 事実を正確に捉え、調査員の主観を交えないよう、調査研究した内容について、調査員で協議のうえ記述した。
- (4) 調査研究資料の作成に当たっては学習指導要領に基づいて、教科用図書の単元・教材の特徴が比較できるように教科書全体を調査研究した。

II 調査研究資料の見方について

1 各教科書の発行者の記載順序は、発行者の番号順とした。

2 調査研究資料の構成

調査研究資料は、調査票Ⅰ（概要）、調査票Ⅱ－1（第1、第2学年）、調査票Ⅱ－2（第3学年）の3つの調査票ごと、記載順序に従って配列してある。

3 調査票Ⅰ（概要）の調査研究項目は、調査研究の観点(1)～(5)についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…(3)(4)(5)
領域別の構成（頁数・割合・合計頁数）、総頁数、読書単元、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の単元数、資料、付録の頁数
- (2)～(5) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項、ABC各領域の指導について…(2)(3)
- (6) 言語活動例について…(1)
- (7) 読書指導について…(4)
- (8) その他の特色について…(2)(3)の発展的な内容の取扱(4)(5)

4 調査票Ⅱの調査項目「単元名等」「言語活動例」は、調査研究の観点(3)について、検討する際の参考とするものである。

5 調査票Ⅱの番号、記号について

- (1) 調査研究の観点(1)～(4)の詳細が分かるよう、単元、題材ごとの特徴が分かるよう次の記号を付した。
左端に3領域・1事項のどの指導にかかわるかを示した。
伝……………伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の取り立て指導
A……………話すこと・聞くことの指導、B……………書くことの指導、C……………読むことの指導
□……………A・B・Cのいずれの領域の指導にもかかわるもの。
■……………第1章総則、第4の2の(10)(11)の配慮事項にかかわる内容、及び他教科との関連の強い内容。（(10)情報教育(11)学校図書館）
●……………資料、付録として示された教材
- (2) 使用教材の種類、各領域の該当する言語活動例、読書指導については、次のように示した。
例……………各領域で示された言語活動例に該当すると思われるものには、記号を付した。
説……………説明的文章＝日記、記録文、報告文、意見文、論説文、評論文等
文……………文学的文章＝物語、随筆、伝記、脚本、民話、狂言、童話、詩、俳句、短歌等
(説) ……読書指導

概要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (教材数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化		国語の特質		
			教材数	割合	教材数	割合	教材数	割合	説明	文学	読書	教材数	割合	教材数	割合	
1	328	39	3	8%	6	15%	14	36%	3	8	6	4	10%	12	31%	64
2	336	37	3	8%	6	16%	14	38%	3	8	6	3	8%	11	30%	71
3	336	37	3	8%	4	11%	16	43%	4	9	6	3	8%	11	30%	74
合計	1000	113	9	8%	16	14%	44	39%	10	25	18	10	9%	34	30%	209

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまま1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている教材数を挙げています。それらの中で「C読むこと」のねらいももたせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化については、1年「古典の世界」「伊曽保物語」「竹取物語」「矛盾」、2年「枕草子・徒然草」「平家物語」「漢詩」、3年「万葉・古今・新古今」「おくのほそ道」「論語」が扱われている。
- 伝統的な言語文化については、原文が上段、現代語訳が下段、あるいは後部に書かれている。また、各学年、漢字の読み仮名がひらがなで右側に、歴史的仮名遣いは、その左側に現代仮名遣いで小さなカタカナで示している。
- 国語の特質に関する事項の指導のために、1年「漢字道場」4、「文法の窓」5、「日本語探検」3、2年「漢字道場」4、「文法の窓」4、「日本語探検」3、3年「漢字道場」5、「文法の窓」3、「日本語探検」3の教材が設定されている。
- 新出漢字は、それぞれ頁下欄外に示し、各教材の最後のページに「新出漢字」としてまとめて記されている。また、巻末に資料編として部首、画数、筆順、各音訓の用例を示している。
- 「漢字」は、「漢字道場」として、1年で「活字と書き文字・画数・筆順」「音読み・訓読み」「漢字の部首」「漢字の成り立ち」、2年で「形の似た漢字」「漢字の意味」「同訓異字」「同音異義語」、3年で「熟語の構成・熟字訓」「四字熟語」「送り仮名」「紛らわしい漢字」「間違えやすい言葉」が扱われている。
- 「文法」は、「文法の窓」として、1年で「文法とは・言葉の単位」「文の成文・連文節」「単語の種類」「名詞」「連体詞・副詞・接続詞」、2年で「敬語」「用言の活用」「助詞」「助動詞」、3年で「間違えやすい敬語」「曖昧な文・分かりづらい文」「文法のまとめ」が扱われている。また、各学年ともに巻末基礎編「文法解説」を通して補充する形となっている。
- 「言語(語句・語彙)」は、「日本語探検」として、1年で「音声の働きや仕組み」「つなぐ言葉・指し示す言葉」「語の意味と文脈」、2年で「方言と共通語」「話し言葉と書き言葉」「類義語・対義語」、3年で「漢語・和語・外来語」「連語・慣用語」「言葉の移り変わり」が扱われている。

3 話すこと・聞くことの指導について

- 単元・題材の構成については、全学年「聞く」「話す」「話し合う」という構成になっている。単元の冒頭には目標・学習の流れの例が示されている。題材の上段に言語活動の手順や学習のポイント、下段に具体例、題材末尾に完成作品例が適宜示されている。題材の構成については、「言葉の力」で学習のポイントを確認した後、言語活動に取り組み、「学習を振り返ろう」で学習を評価する流れとなっている。
- 扱われている様式は、スピーチ、グループディスカッション(1年)、プレゼンテーション、討論(2年)、条件スピーチ、チャート式討論(3年)である。

4 書くことの指導について

- 単元の冒頭には目標・学習の流れの例が示されている。題材の上段に言語活動の手順や学習のポイント、下段に具体例、題材末尾に完成作品例が適宜示されている。題材の構成については、「言葉の力」で学習のポイントを確認した後、言語活動に取り組み、「学習を振り返ろう」で学習を評価する流れとなっている。
- 扱われている文種は、詩、説明文、意見文、案内・報告文、新聞記事、鑑賞文(1年)、短歌、レポート、意見文、依頼状・お礼状、情報誌記事、物語文(2年)、俳句、ガイドブック、批評文、手紙文(3年)である。

5 読むことの指導について

- 単元・題材の構成については、文章の理解・解釈にかかわる「読み取る」設問と、文章の熟考・評価にかかわる「考えを深める」設問の2段階に分けられている。また、学習のポイントを「言葉の力」として示している。
- 扱われている文種は、説明的文章10、文学的文章25であり、そのうち韻文は12である。

6 言語活動例について

- 掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に「例ア」のように記号を付して示した。「例」のように記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例にないものである。

7 読書指導について

- 読書指導のために、「本で世界を広げよう」を設け、1年<戦争・平和><暮らし・文化>、2年<人権><科学・歴史>、3年<日本文化><現代社会>とし、テーマ別に本の紹介をしている。また、各学年共通で「本の世界を楽しもう」「日本の名作を読もう」、資料編「本と出会おう」というコーナーを設けている。ここで紹介されている本は、各学年80冊で計240冊である。その他の「読書案内」も含めると、3学年で計305冊の本が紹介されている。また、読書活動として「読書カード」や「広告カード」の作成、「ビブリオバトル」などが示されている。

8 その他の特色について

- 教科書の判は、全てB5判である。各学年7つの単元と、基礎編、資料編で構成されている。教材の配列は、生徒の生活や経験、興味・感心に配慮した題材が取り上げられており、各領域及び事項ごとに、生徒の発達段階に応じて段階的に難易度が上げられている。また、各学年の冒頭には、詩が取り上げられ、一年間の国語学習の導入として配慮されている。
- 資料は、基礎編、資料編ともに、言語活動と関連させ、領域に渡って基礎の確認と深化補充ができるようにされている。基礎編では、他教科や実生活に生かすことのできる知識や技能、言葉の使い方の基礎となる文法が扱われている。また、資料編では3領域との関連がつけられ、各学年とも「話すこと・書くこと題材例」や「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」「常用漢字表」がある。3年では「本文で学ばなかった漢字」がある。
- 折り返みで、古典単元の中にカラー印刷の絵巻や写本、作品に描かれている地域の写真が掲載されている。
- 各教材には「言葉の力」を設けて、学習のポイントが示されている。また、各学年とも巻末に3年間で学ぶ「言葉の力」一覧が示されている。
- 単元ごとの目次のほかに、領域別の一覧があり、学習目標と言葉の力、基礎編・資料編との関連も示されている。

概要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (教材数)										伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと						伝統文化		国語の特質		
			教材数	割合	教材数	割合	教材数	割合	説明	文学	読書	教材数	割合	教材数	割合		
1	326	65	4	6%	4	6%	30	46%	7	22	6	5	8%	22	34%	43	
2	334	65	4	6%	4	6%	33	51%	6	24	6	5	8%	19	29%	59	
3	321	66	5	8%	4	6%	32	48%	6	23	6	7	11%	18	28%	46	
合計	981	196	13	7%	12	6%	96	49%	19	69	18	17	9%	59	29%	148	

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている教材数を挙げている。それらの中で「C読むこと」のねらいもたせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化については、1年「竹取物語」「宇治拾遺物語」「故事成語」、2年「平家物語」「徒然草」「論語」、3年「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「枕草子」「漢詩」「おくのほそ道」「遠野物語」が扱われている。
- 伝統的な言語文化については、原文の左側に小さな青色で、部分訳を付加している。歴史的仮名遣いは右側に、() 付きの小さなカタカナで現代仮名遣いを示し、難語句・漢字は、平仮名で読み仮名を示している。ただし、1年「五十歩百歩」は、上段に現代語訳、下段に訓読文、1年「矛盾」と3年「漢詩」は上段に訓読文、下段に書き下し文が書かれている。
- 国語の特質に関する事項の指導のために、1年「漢字を見抜く」5、「文法の学習」6、「言葉と生活・言葉と文化」、2年「語を見抜く」5、「文法の学習」5、「言葉と生活・言葉と文化」、3年「文字を見抜く」5、「文法の学習」2、「言葉と生活・言葉と文化」の教材が設定されている。
- 新出漢字は、それぞれ頁下欄外に示し、各教材の最後のページに「漢字と用例」としてまとめて記されている。また、巻末に常用漢字表として示している。
- 「漢字」は、1年「漢字の成り立ち」「声符による漢字の読み」「部首による漢字の意味」「漢字の書体」「旧字体と新字体・簡易慣用字体」、2年「語の読み方」「熟字訓・湯桶読み・重箱読み」「同音異字・同訓異字」「熟語の構成」「特別な用語」、3年「表意文字と表音文字」「常用漢字表の話」「文字と拍」「平仮名と片仮名」「指文字・手話」が扱われている。
- 「文法」は、「文法の学習」として、1年で「文節、品詞分類、名詞・代名詞、副詞、連体詞、指示語、接続詞、感動詞」2年で「動詞、形容詞、形容動詞、助動詞、助詞、文、文章」3年で「文章の構造・段落どうしの関係、指示語・接続語のまとめ」が扱われている。また、各学年ともに巻末資料「言語の学習」を通して補充する形となっている。
- 「言語(語句・語彙)」は、1年「語の意味、語の分類、和語・漢語・外来語」、2年「意味による語のグループ」、3年「語の使われる広さ」が扱われている。

3 話すこと・聞くことの指導について

- 単元・題材の構成については、全学年で一年間に2単元ずつ設定されている。単元の冒頭には、ここで行う言語活動の意義、特徴、ねらい等について書かれた導入部があり、それに続いて活動の手順や実際に活動した場合の例が示されている。
- 扱われている様式は、スピーチ、インタビュー(1年)プレゼンテーション、ディベート(2年)パブリックスピーキング、グループ・パネルディスカッション(3年)である。

4 書くことの指導について

- 単元・題材の構成については、全学年で一年間に2単元ずつ設定されている。単元の冒頭には、ここで行う言語活動の意義、特徴、ねらい等について書かれた導入部があり、それに続いて活動の手順や参考になる活動例、また、実際に活動した場合の例が示されている。
- 扱われている文種は、紹介文、新聞記事(1年)、物語・詩、意見文(2年)、批評文、エッセイ(3年)である。

5 読むことの指導について

- 単元・題材の構成については、各学年、5単元ずつ設定されている。「扉」で目標を確認し、3つの教材を通して「習得・活用・探求」の段階を踏んでいる。そして「ついた力を確かめよう」で自己評価するという構成である。各学年にある「表現に向かう読み」の単元では、表現活動を目指して読み進めるようになっている。
- 扱われている文章のうち、説明的文章は19、文学的文章は69、そのうち韻文は28である。

6 言語活動例について

- 掲載された単元・題材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に例アのように記号を付して示した。例アのように記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例にないものである。

7 読書指導について

- 読書指導のために、各学年2単元ずつ設定されている。また、各学年に「読書案内」が設定され、読書による交流を「言葉の網」に喩え、1年「網の始まり(教材から)」「網を広げる(言葉以外へ)」2年「網を編む(文学から)」3年「網を編む(説明文・評論文から)」と読書活動を広げている展開になっている。

8 その他の特色について

- 教科書の判は、全てB5判である。各学年とも5つの単元、2つの読書、言語の学習で構成されており、教科書の冒頭に単元編、後部に資料編という構成になっている。教材の配列は、「読むこと」の他、「話す・聞く」「書く」「言語文化」「文法」「情報と表現」「漢字」「古典読書」など形式として統一して配置され、生徒の発達の段階に応じて難易度が上がっていくように配慮されている。
- 資料として、各学年とも巻末に、言語の学習である「語句・語彙・文法・古典に親しむために・注意したい古語・注意すべき筆順、常用漢字表・常用漢字表の付表」が付いている。また「日本文学の流れ」も共通して掲載されている。
- 折り込みで「口語・文語活用対照表」が付いている。読解を助けたり深めたりするための説明や参考資料、図や写真は口絵や単元中に掲載されている。
- 単元の冒頭には、暗唱させたい口語詩・文語詩が掲載されている。また、各教材には、振り返りや家庭学習の手がかりとして「学びの窓」が設けられており、批評につながる課題にはマークがされている。また各学年ともに、2つずつ、読解法コラム「発見する読み」がある。
- 各学年とも「情報と表現1」「情報と表現2」があり、図表・動画・静止画・絵画など、非連続型テキストについての読解力養成が図られている。

概 要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (教材数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数				資料付録の頁数
			A話すこと聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化		国語の特質		
			教材数	割合	教材数	割合	教材数	割合	説明	文学	読書	教材数	割合	教材数	割合	
1	320	46	5	11%	6	13%	11	24%	4	7	7	5	11%	19	41%	94
2	324	41	4	10%	5	12%	11	27%	5	6	8	4	10%	17	41%	86
3	308	38	5	13%	4	11%	11	29%	4	7	7	4	11%	14	37%	88
合計	952	125	14	11%	15	13%	33	26%	13	20	22	10	8%	50	19%	268

* A B C各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

* 表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまま1つとしている。

* 「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている教材数を挙げている。それらの中で「C読むこと」のねらいもたせしていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

○伝統的な言語文化については、1年「竹取物語」「古典の仮名遣い」「矛盾」「漢文の読み方」、2年「枕草子・徒然草」「平家物語」「漢詩の世界」、3年「和歌の世界一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「おくのほそ道」「論語」が扱われている。

○伝統的な言語文化については、原文が上段、現代語訳や語注が下段(学年、教材によっては現代語訳が中段、語で注が下段というものもある。)に書かれている。各学年、漢字の読み仮名が、平仮名で本文右側に書かれており、1、2学年までは歴史的仮名遣いの読み仮名を、カタカナで本文左側に示している。

○国語の特質に関する事項の指導のために、1年「文法のまど」2、「ことば発見」4、「漢字のしくみ」3、「文法のまど」2、「ことば発見」3、「漢字のしくみ」2、「文法のまど」1、「ことば発見」3、「漢字のしくみ」1、「文法のまど」の教材が設定されている。

○新出漢字は、それぞれ頁下欄外に示し、各教材の最後のページに「新出漢字」としてまとめて記されている。また、巻末に資料として画数、部首、筆順、音訓の用例を示している。

○「漢字」は、「漢字のしくみ」として、1年「活字と手書き文字・画数・筆順」「部首と成り立ち」「漢字の音と訓」、各単元最後のページに「漢字を身につけよう」1～9、2年「熟語の構成・熟字訓」「熟語の読み」、各単元最後のページに「漢字を身につけよう」1～9、3年「慣用語・ことわざ・四字熟語」、各単元最後のページに「漢字を身につけよう」1～8が扱われている。

○「文法」は、「文法のまど」として、1年「ことばの単位・文節の関係」「単語の類別・品詞」、2年「用言の活用」「助詞・助動詞」、3年「表現につながる文法」が扱われている。また、各学年ともに巻末資料「文法のまど」を通して補充する形となっている。

○「言語(語句・語彙)」は、「ことば発見」として、1年「音声のしくみとはたらき」「話しことばと書きことば」「接続する語に句・指示する語句」「比喻・倒置・反復・対句」、2年「類義語・対義語・多義語」「方言と共通語」「敬語の意味と種類」、3年「和語・漢語・外来語」「敬語の機能と敬意表現」「ことばの現在・過去・未来」が扱われている。

3 話すこと・聞くことの指導について

○単元・題材の構成については、単元の最初で目標を示し、「学習の流れ」「学習のポイント」「テーマ例」「評価の観点例」などが順序に従って示されている。最後に「学習を振り返る」で今後の学習のどこに生かせるのかが示されている。各学年とも巻末資料に、話すこと・聞くことに関わる内容が掲載されている。

○扱われている様式は、スピーチ、討論、取材(1年)、プレゼンテーション、パネルディスカッション、聞き取り(2年)、ブックトーク、会議、ワールド・カフェ(3年)である。

4 書くことの指導について

○単元・題材の構成については、単元の最初で目標を示し、「学習の流れ」「学習のポイント」「テーマ例」などが順序に従って示されている。最後に「学習を振り返る」で今後の学習のどこに生かせるのかが示されている。各学年とも巻末資料に、書くことに関わる内容が掲載されている。

○扱われている文種は、レポート、リーフレット、鑑賞文、意見文、新聞、変わり身の上話、(1年)、創作文、主張文、超訳、本の帯・ポップ作り、手紙、地域情報紙、(2年)、小論文、批評文、漢字一字の表現、名言集、(3年)である。

5 読むことの指導について

○単元・題材の構成については、本文のあとに「学びの道しるべ」として「目標」「内容を整理しよう」「考えを深めよう」「学びを広げよう」などの手引きが示されている。目標や何をどう学んでいくかを示し、「学びを広げよう」で発展的な内容にも取り組めるようになっている。また、読むことの教材の最後に「読み方を学ぼう」という資料がついているものがあり、読みを深めるための参考になっている。

○扱われている文種は、説明的文章13、文学的文章が20である。そのうち韻文は8である。

6 言語活動例について

○掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に「例ア」のように記号を付して示した。☑のように記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例にないものである。

7 読書指導について

○各学年とも巻末資料「読書の広場」に「小さな図書館」を設け、各48冊の本を領域別に分類して紹介している。また、1年4つ、2年5つ、3年5つの読書教材がまとめられている。(全学年、本編の中にそのうちの1作品ずつがある。)1、2年本編にある読書教材のあとにはそれぞれ「本の帯・ポップ作り」「読書郵便を楽しもう」という読後の活動についての資料がある。

8 その他の特色について

○教科書の判は、全てB5判である。1、2年は7つ、3年は6つの単元と資料編(①読書の広場、②考える広場、参考資料)で構成されている。本編の各単元は理解から思考・創造へという流れになるよう配慮されている。教材の配列は、生徒の生活や経験、興味・関心に配慮した題材が取り上げられ、各領域及び事項ごとに、生徒の発達に応じて、段階的に難易度が上げられている。

○資料には「読書の広場」「考える広場」「参考資料」がある。「考える広場」には3領域で教材に関連した内容が、授業の中で理解を深めるための資料として掲載されている。「参考資料」は文学史や用語、原稿用紙の使い方が扱われている。また、巻末には全学年その学年で学習する漢字が教材順に、常用漢字表音訓一覧、都道府県名一覧、小学校6年生で学習した漢字一覧、中学校3年生で学習した漢字の読み一覧などが扱われている。

○折り込みでは、古典単元の中にカラー印刷の絵巻や資料などが掲載されている。また、巻末には「読み方を学ぼう」がある。

○各教材には「学びの道しるべ」として「目標」「内容を整理しよう」「考えを深めよう」「学びを広げよう」などの手引きがある。

○各学年に一つずつ「歌の言葉」として中学生が共感できるような「ポップの歌詞」が扱われている。

【調査票Ⅰ】 【17 教出】 (中学校 国語)

概 要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量(教材数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化		国語の特質		
			教材数	割合	教材数	割合	教材数	割合	説明	文学	読書	教材数	割合	教材数	割合	
1	336	35	4	11%	6	17%	13	37%	6	7	3	3	9%	9	26%	124
2	348	33	4	12%	5	15%	10	30%	4	6	3	3	9%	11	33%	118
3	348	35	4	11%	5	14%	12	34%	4	8	3	3	9%	11	31%	122
合計	1032	103	12	12%	16	16%	35	34%	14	21	9	9	9%	31	30%	364

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている教材数を挙げている。それらの中で「C読むこと」のねらいもたせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化については、1年「古典の扉を開く」「竹取物語」「故事成語」、2年「平家物語」「枕草子・徒然草」「論語」、3年「おくのほそ道」「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「漢詩」が扱われている。
- 伝統的な言語文化については、原文が上段、現代語訳が下段に書かれている。2年からは現代語訳がつかないものもある。また、各学年とも漢字の読み仮名はひらがなで文語文の右側に、歴史的仮名遣いは同じく右側に()付きの青いカタカナで示されている。ただし、3年の三大和歌集では、現代仮名遣いは示されていない。
- 国語の特質に関する事項の指導のために、1年「漢字の広場」4、「文法の小窓」3、「言葉の小窓」2、2年「漢字の広場」4、「文法の小窓」3、「言葉の小窓」4、3年「漢字の広場」4、「文法の小窓」4、「言葉の小窓」3の教材が設定されている。
- 新出漢字は、それぞれ頁下欄外に示し、各教材の最後のページに「この教材で学ぶ漢字」としてまとめて記されている。また、巻末に「*年で学習した漢字」として読み・用例・総画数・部首・部首を除いた画数・筆順を示している。また、平成22年1月に告示された「改定常用漢字表」に対応し、新たに追加された漢字と音訓は青字で示されている。
- 「漢字」は、「漢字の広場」として、1年で「漢字の部首」「画数と活字の字体」「漢字の音と訓」「熟語の構成」、2年で「まがえやすい漢字」「漢字の成り立ち」「漢字の多様性」「同音の漢字」、3年で「異音・漢音・唐音」「熟字訓」「異字同訓」「四字熟語」が扱われている。
- 「文法」は、「文法の小窓」として、1年で「言葉の単位」「文の成分」「単語のいろいろ」、2年で「活用のない自立語」「活用のある自立語」「付属語のいろいろ」、3年で「活用のない付属語」「活用のある付属語」「文の組み立て」「文法的に考える」が扱われている。また、各学年ともに巻末資料「言葉と文法」を通して補充する形となっている。
- 「言語(語句・語彙)」は、「言葉の小窓」として、1年「日本語の音声」「日本語の文字」、2年「方言と共通語」「話し言葉と書き言葉」「敬語」「類義語・対義語・多義語・同音語」、3年「和語・漢語・外来語」「慣用語・ことわざ」「敬語」が扱われている。

3 話すこと・聞くことの指導について

- 単元・題材の構成については、言語活動を中心とした教材が設定されている。各学年とも学年末の単元で「話し合う」学習が設定されている。各教材の冒頭には「学びの重点」と「目標と振り返り」が示されている。全学年をとって活動の流れ・留意点・発表例や、話し合いの展開例が記述されている。
- 扱われている様式は、スピーチ(全学年)、グループディスカッション(全学年)、プレゼンテーション(2年)、講演(3年)である。

4 書くことの指導について

- 単元・題材の構成については、言語活動を中心とした教材が設定されている。各教材の冒頭には「学びの重点」と「目標と振り返り」が示されている。全学年をとって活動の流れ・留意点・文章例が記述されている。
- 扱われている文種は、意見文(全学年)、鑑賞文(1, 3年)、随筆、案内文、報告文(1年)、新聞への投書、物語文、手紙文(2年)、批評文、自己PR文、3年間の学習記録をまとめるポートフォリオ編集(3年)である。

5 読むことの指導について

- 単元・題材の構成については、教材の冒頭に目標を提示されている。教材の後には学習の手引き「みちしるべ」としてその教材の「目標と振り返り」が示され、さらに「確かめよう」では情報の取り出し、「深めよう」では内容の解釈、「考えよう」では考えの形成・表現という学習過程となっている。
- 扱われている文種は、説明的文章14、文学的文章21であり、そのうち韻文は10である。

6 言語活動例について

- 掲載された単元や題材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例等を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に例7のように記号を付して示した。例8のように記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例にないものである。

7 読書指導について

- 読書指導のために、各学年「読書への招待1」「読書への招待2」として、読書と情報活用にかかわる2単元を設けている。「読書への招待1」では、読書活動として「読書紹介」「本の帯づくり・ポップづくり」「ビブリオバトル」などが示されている。また、文章とメディアとの関係について考える活動も入れられている。「読書への招待2」では、近代文学として1年「蜘蛛の糸(芥川龍之介)」、2年「坊ちゃん(夏目漱石)」、3年「最後の一句(森鷗外)」が収録されている。紹介図書冊数は、1年32冊、2年31冊、3年31冊である。

8 その他の特色について

- 教科書の判は、全てB5判である。1, 2年では8つの単元、3年では7つの単元で構成されている。また、各学年とも単元のあとに「言葉と文法 解説編」「漢字」と資料が掲載されている。教材の配列は、生徒の生活や経験、興味・関心に配慮した題材が取り上げられており、各領域及び事項ごとに、生徒の発達に応じて段階的に難易度が上げられている。また、各学年の冒頭には、国語学習の導入として詩が取り上げられている。
- 資料は「言葉の自習室」として「読書」「伝統文化と言語」「話す・聞く」「書く」「読むこと」「情報」に関わる関連資料や補充資料があり、単元で学習する内容の基礎の確認や深化補充ができるようにされている。また、「学びのチャレンジ」として、思考力・判断力・表現力を高めるための設問が設けられている。索引では、「学習に必要な用語」が扱われている。
- 折り込みでは、1年は「小倉百人一首」「古事記」「伊勢物語」「落語」の他に、中世から近現代の文章の一節を6つ、2年は「近代文学史年表」「方丈記」「源氏物語」「歌舞伎」の他に、上代から近代の文章の一節を6つ、3年は「古典文学史年表」「古今和歌集」「土佐日記」の他に、中世から現代の文章の一節が7つ扱われている。
- 単元ごとの目次のほかに、領域別目標一覧表、教材で扱う内容(領域・教材名・言語活動・学習内容の重点)のページが設けられている。
- その他、「四季のたより」として四季ごとの和歌・俳句・季語が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (教材数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化		国語の特質		
			教材数	割合	教材数	割合	教材数	割合	説明	文学	読書	教材数	割合	教材数	割合	
1	330	57	6	11%	14	25%	20	35%	6	9	5	4	7%	13	23%	67
2	328	57	5	9%	13	23%	21	37%	5	11	5	5	9%	13	23%	65
3	310	50	5	10%	10	20%	19	38%	6	9	4	5	10%	11	22%	79
合計	968	164	16	10%	37	23%	60	37%	17	29	14	14	9%	37	23%	211

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている教材数を挙げている。それらの中で「C読むこと」のねらいもたせしていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化については、1年「いろは歌」「月に思ふ」「竹取物語」「矛盾」、2年「枕草子」「平家物語」「徒然草」「漢詩」、3年「論語」「古今和歌集 仮名序」「万葉・古今・新古今集」「おくのほそ道」「古典を心の中に」が扱われている。
- 伝統的な言語文化については、原文が上段、現代語訳が下段、あるいは後部に書かれている。また、各学年、漢字の読み仮名がひらがなで右側に、歴史的仮名遣いはその右側に現代仮名遣いで()付きの小さなカタカナで示している。
- 国語の特質に関する事項の指導のために、1年「漢字」4、「文法」3、「言葉」6、2年「漢字」4、「文法」4、「言葉」5、3年「漢字」4、「文法」3、「言葉」4の教材が設定されている。
- 新出漢字は、それぞれ頁下欄外に示し、各教材の最後のページに「新出漢字」としてまとめて記されている。また、巻末に資料編として部首・総画数・筆順・読み方・用例を示している。
- 「漢字」は、1年「漢字の組み立てと部首」「漢字の音訓」「漢字の成り立ち」「漢字の練習」、2年「熟語の構成」「同じ訓・同じ音をもつ漢字」「送り仮名」「漢字の練習」、3年「熟語の読み方」「漢字の造語力」「漢字のまとめ」「小学校6年生で学習した漢字一覧」が扱われている。
- 「文法」は、「文法への扉」として、1年「言葉の単位」「文の組み立て」「単語の分類」、2年「自立語(動詞・形容詞・形容動詞・名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞)」「用言の活用」「付属語(助詞・助動詞)」、3年「文法を生かす」「文法のまとめ」が扱われている。また、各学年ともに巻末資料「文法」を通して補充する形となっている。
- 「言語(語句・語彙)」は、「言葉」として、1年「言葉に出会うために」「話し言葉と書き言葉」「言葉を集めよう」「空を見上げて」「指示する語句と接続する語句」「さまざまな表現技法」、2年「類義語・対義語・多義語」「言葉を比べよう」「言葉の力」「敬語」「方言と共通語」、3年「和語・漢語・外来語」「言葉を選ぼう」「批評」の言葉をためる」「慣用語・ことわざ・故事成語」が扱われている。

3 話すこと・聞くことの指導について

- 単元・題材の構成については、技能練習を中心とした練習教材「練習」と言語活動を中心とした本教材に分かれている。大教材では、冒頭で「目標」が提示され、「学習の見通しをもとう」で学習過程・言語活動が具体的に示され、「次へつなげよう」で自己評価の観点が示されている。
- 扱われている様式は、スピーチ、グループディスカッション、ポスターセッション(1年)、プレゼンテーション、パネルディスカッション(2年)、スピーチ、グループ討議、発表会(3年)である。

4 書くことの指導について

- 単元・題材の構成については、技能練習を中心とした練習教材と言語活動を中心とした本教材に分かれている。大教材では、冒頭で「目標」が提示され、「学習の見通しをもとう」で学習過程・言語活動が具体的に示され、「次へつなげよう」で自己評価の観点が示されている。
- 扱われている文種は、記録、案内文、レポート、体験文、鑑賞文(1年)、ガイドブック、短歌、手紙文、意見文、物語文(2年)、修学旅行記、俳句、批評文、三年間の学習記録をまとめる小冊子の編集(3年)である。

5 読むことの指導について

- 単元・題材の構成については、冒頭で「目標」が提示され、「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」で学習過程が示され、「学習の窓」で基礎・基本のポイントがあり、「学習を振り返る」で自己評価の観点を示されている。
- 扱われている文種は、説明的文章17、文学的文章29であり、そのうち韻文は13である。

6 言語活動例について

- 掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に「例ア」のように記号を付して示した。「例」のように記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例にないものである。

7 読書指導について

- 読書指導のために、「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」という2単元を設けている。ここでは、各学年に「読書案内」を設け、それぞれ5.4冊の本が紹介されている。また、読書活動として、1年「読書紹介」、2年「読書案内」、3年「読書生活をデザインする」が扱われている。

8 その他の特色について

- 教科書の判は、全てB5判である。各学年7つの単元と、「学習を広げる(資料、付録、索引)」で構成されている。教材の配列は、生徒の生活や経験、興味・関心に配慮した題材が取り上げられ、各領域及び事項ごとに、生徒の発達に応じて段階的に難易度が上げられている。また、各学年の冒頭には、一年間の国語の導入として詩が取り上げられている。
- 資料は、言語活動と関連させ、各領域に渡って基礎の確認と深化補充ができるようにされている。付録では、「新出漢字」「新出音訓」「常用漢字表」「常用漢字表付表」がある。索引では、「学習のための用語一覧」が扱われている。
- 折り込み(口絵)で、「最後の晩餐」(2年)の図画が掲載されている。また、巻末に「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」が扱われている。
- 各教材には、「学習の窓」を設けて、学習を進める上で参考とする手引きがある。また、単元ごとの目次のほかに、領域別目次や、それぞれの教材のねらいとする力を示した「学習の見通しをもとう」の欄を設けている。
- その他、「季節のしおり」として四季ごとの和歌・俳句・季語を、「色いろの言葉」として色の名前とその由来が記されている。

1 学年	2 学年	2 学年	
<p><input type="checkbox"/> 風の五線譜 例ア 文 高階紀一</p> <p>1 読む[言語感覚] <input type="checkbox"/> 話し方はどうかな 例ア 説 川上裕之</p> <p><input type="checkbox"/> 詩の心一発見の喜び 例ア 嶋岡 農</p> <p><input type="checkbox"/> 小さな発見を詩にしよう 例 <input type="checkbox"/> 日本語探検-1 音声の働きや仕組み</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-1 文法とは・言葉の単位</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-1 活字と書き文字・画数・筆順</p> <p>2 読む[文学一] <input type="checkbox"/> 飛べ かもめ 例ア 文 杉 みき子</p> <p><input type="checkbox"/> さんちき 例ア 文 吉橋通夫</p> <p><input type="checkbox"/> 会話が弾む質問をしよう 例ア</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語探検-2 つなぐ言葉・指し示す言葉</p> <p>3 読む[構成・展開] <input type="checkbox"/> オオカミを見る目 説 高槻成紀</p> <p><input type="checkbox"/> 構成を考えて書こう 例 「私」の説明文</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-2 文の成分・連文節</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-2 音読み・訓読み</p> <p><input type="checkbox"/> 碑 広島テレビ放送 説 説 読 松山善三</p> <p><input type="checkbox"/> 本で世界を広げよう 例ウ <戦争・平和> 説</p> <p><input type="checkbox"/> 本の世界を楽しもう 説</p> <p>4 読む[吟味・判断] <input type="checkbox"/> スズメは本当に減っているか 三上 修 例イ 説</p> <p><input type="checkbox"/> 根拠を明確にして書こう 例イ 意見文</p> <p><input type="checkbox"/> 具体例を挙げて伝えよう 「ことわざ」スピーチ 例ア</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-3 単語の分類</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-3 漢字の部首</p> <p><input type="checkbox"/> 月夜の浜辺 例ア 文 中原中也</p> <p>5 古典 <input type="checkbox"/> 古典の世界 説</p> <p><input type="checkbox"/> 伊曾保物語 例ア 文</p> <p><input type="checkbox"/> 竹取物語 例ア 文</p> <p><input type="checkbox"/> 矛盾 例ア 文</p> <p><input type="checkbox"/> 案内や報告の文章を書こう 例ウ</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-4 名詞</p>	<p>6 読む[文学二] <input type="checkbox"/> 少年の日の思い出 文 ヘルマン・ヘッセ/高橋健二訳</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語探検-3 語の意味と文脈・多義語</p> <p><input type="checkbox"/> 集まって住む 説 説 読 元倉真琴</p> <p><input type="checkbox"/> 本で世界を広げよう 例ウ <暮らし・文化> 説</p> <p>7 読む[言葉とメディア] <input type="checkbox"/> ニュースの見方を考えよう 池上 彰 例イ 説</p> <p><input type="checkbox"/> 学校新聞の記事を書こう 例イ</p> <p><input type="checkbox"/> 話し合いで理解を深めよう グループディスカッション 例イ</p> <p><input type="checkbox"/> 作品のよさを表現しよう 歌の鑑賞文 例ア</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-5 連体詞・副詞・接続詞・感動詞</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-4 漢字の成り立ち</p> <p><input type="checkbox"/> 名づけられた葉 例ウ 新川和江</p> <p><input type="checkbox"/> トロッコ 文 説 芥川龍之介</p> <p><input type="checkbox"/> 日本の名作を読もう 説 ●小学校6年の漢字一覧</p> <p>基礎編 ●学びを支える言葉の力 実用的な言葉の力 論理的な言葉の力 創造的な言葉の力</p> <p>●文法解説 文法とは・言葉の単位 文の成分・連文節 単語の分類 名詞 連体詞・副詞・接続詞</p> <p>資料編 ●そこに僕はいた 辻 仁成</p> <p>●「常識」は変化する 吉田ゆかり</p> <p>●古事記</p> <p>●土佐日記</p> <p>●伊勢物語</p> <p>●芭蕉・蕪村・一茶の句</p> <p>●話すこと・書くこと題材例</p> <p>●情報の調べ方・使い方</p> <p>●発想・整理の方法</p> <p>●原稿用紙の使い方 ・推敲の観点</p> <p>●手紙の書き方</p> <p>●新聞の作り方</p> <p>●レポートの書き方</p> <p>●著作権と引用</p> <p>●言葉を広げよう</p> <p>●学習用語一覧</p> <p>●新出漢字一覧</p> <p>●進出音訓一覧</p> <p>●常用漢字表</p>	<p><input type="checkbox"/> 未来へ 例ウ 谷川 俊太郎</p> <p>1 読む[言語感覚] <input type="checkbox"/> メッセージをどう聞くか 文 加賀美 幸子</p> <p><input type="checkbox"/> 短歌を楽しむ 例ウ 文 道浦 母都子</p> <p><input type="checkbox"/> 短歌のリズムで表現しよう 例ア</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語探検-1 共通語と方言</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-1 敬語</p> <p>2 読む[文学一] <input type="checkbox"/> 字のない葉書 例ア 文 向田邦子</p> <p><input type="checkbox"/> 卒業ホームラン 例ア 文 重松 清</p> <p><input type="checkbox"/> 問題意識を持って聞こう 例ア</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-1 形の似た漢字</p> <p>3 読む[構成・展開] <input type="checkbox"/> 饅頭-世界に誇る伝統食 説 小泉武夫</p> <p><input type="checkbox"/> 調べて考えたことを伝えよう 「食文化」のレポート 例イ</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-2 用言の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-2 漢字の意味</p> <p><input type="checkbox"/> 小さな労働者 説 説 読 ラッセル・フリーマン 千葉茂樹訳</p> <p><input type="checkbox"/> 本で世界を広げよう 例ウ <人権> 説</p> <p><input type="checkbox"/> 本の世界を楽しもう 説</p> <p>4 読む[吟味・判断] <input type="checkbox"/> 哲学的思考のすすめ 例イ 説 野矢茂樹</p> <p><input type="checkbox"/> 反対意見を想定して書こう 意見文 例イ</p> <p><input type="checkbox"/> 説得力のある提案をしよう プレゼンテーション 例ア</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-3 助詞</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-3 同訓異字</p> <p><input type="checkbox"/> 落葉松 文 北原白秋</p> <p>5 古典 <input type="checkbox"/> 枕草子 例ウ 文</p> <p><input type="checkbox"/> 徒然草 例ウ 文</p> <p><input type="checkbox"/> 平家物語 例ウ 文</p> <p><input type="checkbox"/> 漢詩 例ア 文</p> <p><input type="checkbox"/> 依頼状やお礼状を書こう 例ウ</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語探検-2 話し言葉と書き言葉</p> <p><input type="checkbox"/> 文法の窓-4 助動詞</p>	<p>6 読む[文学二] <input type="checkbox"/> 走れメロス 例ア 文 太宰 治</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語探検-3 類義語・対義語</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史の物差し-水月湖の年稿 山根一真 説 説 読</p> <p><input type="checkbox"/> 本で世界を広げよう 説 <科学・歴史></p> <p>7 読む[言葉とメディア] <input type="checkbox"/> 「正しい」言葉は信じられるか 香西秀信 例ウ 説</p> <p><input type="checkbox"/> タウン誌の記事を推敲しよう 例</p> <p><input type="checkbox"/> 話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い 例イ</p> <p><input type="checkbox"/> いきいきと描き出そう 例ア 短歌から始まる物語</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字道場-4 同音異義語</p> <p><input type="checkbox"/> わたしが一番きれいだったとき 茨木のり子 例ア 文</p> <p><input type="checkbox"/> 坊っちゃん 文 説 夏目漱石</p> <p>●日本の名作を読もう 説</p> <p>●小学校6年の漢字一覧</p> <p>基礎編 ●学びを支える言葉の力 実用的な言葉の力 論理的な言葉の力 創造的な言葉の力</p> <p>●文法解説 一年生の復習 敬語 用言の活用 助詞 助動詞 用言活用表 助詞一覧表 助動詞活用表</p> <p>資料編 ●カメレオン アントン・チェーホフ 原 卓也訳</p> <p>●白川郷-受け継がれる合掌造り N HK「世界遺産」プロジェクト</p> <p>●清少納言と紫式部 三角洋一</p> <p>●漢詩の世界 日原 傳</p> <p>●古典芸能に親しもう ・推敲の観点(条件作文)</p> <p>●話すこと・書くこと題材例</p> <p>●発想の方法・整理の方法</p> <p>●取材の仕方 インタビュー・アンケート</p> <p>●手紙の書き方</p> <p>●原稿用紙の使い方 ・推敲の観点(条件作文)</p> <p>●言葉を広げよう</p> <p>●学習用語一覧</p> <p>●新出漢字一覧</p> <p>●進出音訓一覧</p> <p>●常用漢字表</p>

1 学年		2 学年	
<p>C○はる 例ア 文 谷川俊太郎 1 絆 - 家族の中で C○海のはじまり 例ア 文 工藤直子 C○風呂場の散髪 - 続岳物語 例ア 文C 椎名 誠 C○字のない葉書 例ア 文 向田邦子 C○兄やん 例C 文 笹山久三 C○発見する読み1 ○初めてのちいさな旅 例 文 角田光代 A 活動を考える1 話を「きく」 A 話す・聞く1 お気に入りを紹介しよう 例ア 伝 漢字を見抜く1 漢字の成り立ち 伝 文法の学習1 文節他 2 生命 - 命の鎖 C○ハウサ族の歌「蝶」 例ア 文 説 C○ものづくりに生きる 例ア 説 小関智弘 C○変わる動物園 例イ 説 若生謙二 C○奈々に 例ア 文 吉野 弘 C○何にでも値段をつける古道 具屋のおじさんの詩 例ア 文 寺山修司 C○知識の樹木 - 「音遊び」抄 例ア 文 三宮麻由子 B 活動を考える2 表現に目を向ける B 書く1 私のブックデザイン ブックカバー作品 例ア 伝 漢字を見抜く2 声符による漢字の読み 伝 文法の学習2 品詞分類 C 情報と表現1 発想をひらく・情報を集める コピーライターの発想と技 例ウ ■読書1 C○木精 (読) 例ア 文 森鷗外 3 群像 - 出会いと発見 C○空飛ぶ魔法のほうき 例ア 文 あわやのぶこ C○ぬすびと面 例ウ 文 吉橋通夫 C○二十年後 例ウ 文 オー＝ヘンリー C○発見する読み2 ○物と心 例ア 文 小川国夫 A 活動を考える3 言葉でつなぐ A 話す・聞く2 インタビューをしよう 例イ 伝 漢字を見抜く3 部首による漢字の意味 伝 文法の学習3 名詞・代名詞</p>	<p>C 表現に向かう読み ○片言を言うまで 例イ 説 金田一京助 4 伝統 - 時をこえて C 貝殻 例ア 文 新美南吉 伝 古典解説 言葉の向こうに 伝 C○姫の物語? 翁の物語? 竹取物語一 例ア 文 伝 C○とらわれた心に突き立つ 矢一宇治拾遺物語 例ア 文 伝 古典の仮名遣い 伝 C○故事成語 例ア 文 伝 漢文の訓読 伝 古典読書 絵巻を読む 説 B 活動を考える4 広く事実を伝える B 書く2 隠れた世界を知る 取材を まとめて記事にする 例イ 伝 漢字を見抜く4 漢字の書体 伝 文法の学習4 副詞・連体詞 伝 言葉と生活・言葉と文化 発音と表記 他 5 世界 - 関係の中で C 大切なもの 例ア 文 菅原克己 C○まなちゃんの道 例ア 文 角田光代 C○少年の日の思い出 例ア 文 ヘルマン＝ヘッセ C○シェーク vs. パナナ・スプリ ット 例ウ 文 ウルフ＝スタルク C○発見する読み3 ○生物が消えていく 例 説 高槻成紀 伝 漢字を見抜く5 旧字体と新字体・簡易慣用字体 伝 文法の学習5 指示語 伝 文法の学習6 接続詞・感動詞 C 情報と表現2 見ることと読むこと 言葉の イメージ・絵のイメージ 例イ 説 ■読書2 C○自由訳「イマジン」(抄) ジョン＝レノン (読) 文C C○ストロベリー・フィールズの 風に吹かれて (読) 文 新井満 C○言葉の命 (読) 説 木坂涼 C 読書案内 例ウ 言語の学習 ●一年生の文法の学習 ●一年生の語句・語彙の学習 ●古典に親しむために ●今に伝わる注意したい古語 ●注意すべき筆順 ●常用漢字表・常用漢字表の付表 ●日本文学の流れ ●口語・文語活用対照表</p>	<p>C おたまじゃくしたち四五匹 例ア 文 草野心平 1 絆 - 仲間と共に C○わたしはえのぐをといた 例ア 文 岸田衿子 C○昔話 例ア 文 星野博美 C○逃げることは、ほんとにひき ようか 例イ 説 なだいなだ C○吟味された言葉 例イ 大江健三郎 C○発見する読み1 ○幸せなスピード 例ア 文 大林直彦 A 活動を考える1 人を動かす言葉 A 話す・聞く1 魅力を伝えよう プレゼンテーション 例ア 伝 語を見抜く1 語の読み方 伝 文法の学習1 動詞・形容詞・形容動詞 2 生命 - 命の交差 C○サーカスの馬 例ア 文 安岡章太郎 C○クリスマスの仕事 例ア 文 田ロランディ C○短歌 文 C○短歌十五首 例ア 文 C○地下水 例ア 文 川崎洋 C○父のようにはなりたくない 文 阿部夏丸 B 活動を考える2 言葉で描き出す B 書く1 想像する言葉 物語・詩を作る 例ア 伝 語を見抜く2 熟字訓・湯桶読み・重箱読み 伝 文法の学習2 助動詞① C 情報と表現1 情報を読む・世界を編集する 世界を編集する知恵 例 説 ■読書1 C○坊っちゃん (読) 文 夏目漱石 C○孫が読む漱石 (読) 説 夏目房之介 3 発見と行動 C○作品九五八私たちは火花の ように 例ア 文 デイキンソン C○種をまく人 例ア 文 ポール＝フライシュマン C○走れメロス 例ア 文 太宰治 C○花いちもんめ (戯曲) 文 宮本研 C○発見する読み2 ○海のハンカチ 例 文 立原えりか</p>	<p>A 活動を考える3 よりよい判断に向けて A 話す・聞く2 対立した立場で意見を深める ディベートによる討論 例イ 伝 語を見抜く3 同音異字・同訓異字 伝 文法の学習3 助動詞② C 表現に向かう読み ○若者が文化を創造する 例イ 説 河合雅雄 4 伝統 - 時の中で C○少年 例ア 文 三好達治 伝 古典解説 言葉の力 説 伝 C○源平争乱の歴史語り一平 家物語一 例ア 文 伝 C○人の世と人の心のスケッ チー徒然草一 例ア 吉田兼好 伝 論語 文 伝 古典読書 古典芸能に見ら れる古典解釈 説 B 活動を考える4 効果的に伝える B 書く2 意見文を書こう 例イ 伝 語を見抜く4 熟語の構成 伝 文法の学習4 助詞 伝 言葉と生活・言葉と文化 相手や場面 5 世界 - 状況の中で C○湖水 例ア 文 金子光晴 C○目撃者の眼 例ア 文 ジョー＝オダネル C○挨拶 原爆の写真に寄せ 例ア 文 石垣りん C○アラスカとの出会い 例ア 文 星野道夫 C○プロセスの建築 例イ 説 安藤忠雄 C○忘れること 例ア 文 谷川俊太郎 C○黄色い部屋の謎 例ア 文 堀江敏幸 伝 語を見抜く5 特別な用語 伝 文法の学習5 文・文章 C 情報と表現2 言葉で伝える 手紙とメール 例 説 ■読書2 C○宇宙が叫ぶ一梵鐘・歓喜一 (読) 文 岡本太郎 C○孔子 利休の死 (読) 文 井上靖 C 読書案内 例ウ 言語の学習 ●二年生の文法の学習 ●二年生の語句・語彙の学習 ●古典に親しむために ●今に伝わる注意したい古語 ●注意すべき筆順 ●常用漢字表・常用漢字表の付 表 ●日本文学の流れ ●口語語・文語活用対照表</p>

1 学年

新しい世界へ
朝のリレー **例ア** **文**
 谷川俊太郎
オオカミの友達 **文**
 きむらゆういち
聞き上手・話し上手になる
 ために〈スピーチ〉 **例ア**

1 わかりやすく伝える
クジラの飲み水 **例イ**
 大隅清治
文法のまど1
 言葉の単位・文節の関係
調べたことを整理してわか
 りやすく〈レポート〉 **例イ**
漢字のしくみ1
 活字と手書き文字・画数・筆順

2 かかわりをとらえる
空中ブランコ乗りのキキ **文**
 別役実
ことば発見1
 音声のしくみとはたらき
チームの力を引き出す〈質
 問〉 **例ア**
字のない葉書 **例ウ** **文** (読)
 向田邦子

3 情報を読み解く
食感のオノマトペ **例イ** **説**
 早川代
ことば発見2
 話し言葉と書き言葉
目的や相手に応じて情報を
 編集する〈行事案内リーフレッ
 ト〉 **例ウ**
漢字のしくみ2
 部首となりたち

古典に学ぶ
古典情報 古典の仮名遣い
竹取物語 **例ア**
故事成語 矛盾 **例ア**
古典情報 漢文の読み方

4 論理的に考える
玄関扉 **説**
 渡辺武信
ことば発見3
 接続する語句・指示する語句
論理で迫るか感情に訴える
 か〈討論ゲーム〉 **例イ**
表現1
 変わり身の上話

5 読みを深め合う
見えないだけ **文**
 牟礼慶子
ことば発見4
 比喩・倒置・反復・対句
少年の日の思い出 **文**
 ヘルマン＝ヘッセ
 高橋健二 訳
文法のまど2
 単語の類別・品詞

多角的な視点で作品を読み
 解く〈鑑賞文〉 **例ア**

6 視野を広げる
この小さな地球の上で **説**
 手塚治虫
思いや感覚に向き合い、考え
 を確かなものに〈意見文〉
表現プラザ2
 即興劇にチャレンジ
漢字のしくみ3
 漢字の音と訓

7 つながりを考える
トロッコ **文**
 芥川龍之介
一年間の自分のクラスを振り
 返って〈グループ新聞〉 **例イ**
文法のまとめ

資料編
 ①読書の広場
 ●読書ガイドンス 小さな図書館
 ●読書ガイドンス 情報探しのヒント
 ●読書ガイドンス 情報活用のヒント
 ●見て楽しむ 落語の世界
 ●声に出して読む 落語 ももたろう
 もとしたいぞみ
 ●古典を楽しむ 古事記
 ②考える広場
 ●読む力を伸ばそう
 注文の多い料理店 宮次賢治
 ●学ぶ力を高めよう 方法1
 さまざまな思考方法を使う
 ●学ぶ力を高めよう 方法2
 メモを活用する
 ●学ぶ力を高めよう 方法3
 インタビューをする
 ●学ぶ力を高めよう 方法4
 アンケートをとる
 ●学ぶ力を高めよう 方法5
 話し合いの方法を選ぶ
 ●学ぶ力を高めよう 方法6
 図表〈表やグラフ〉を使う
 ●学ぶ力を高めよう 方法7
 辞典を活用する
 ③参考資料
 ●数字の書き表し方
 ●手紙・葉書・メールの書き方
 ●原稿用紙の使い方
 ●推敲の仕方と観点
 ●日本文学の名作集
 ●学習用語辞典
 ●一年生で学ぶ漢字事典
 ●都道府県名の一覧
 ●一年生で学ぶ音訓
 ●小学校六年生で学習した漢字
 ●常用漢字表音訓一覧
 ●常用漢字表付表
 ●アルバムディクショナリー
 折り込み
 ●「読み方を学ぼう」一覧

2 学年

学びの扉をひらく
名付けられた葉 **例ア** **文**
 新川和江
小さな手袋 **例ア** **文**
 内海隆一郎
ことば発見1
 類義語・対義語・多義語

1 情報を読み解く
人間は他の星に住むことが
 できるのか **例イ** **説**
 渡部潤一
資料や機器を効果的に活用
 する〈プレゼンテーション〉
例ア
漢字のしくみ1
 熟語の構成・熟字訓

2 ことばを磨く
短歌の世界 **例ア** **文**
 俵万智
読みたくなるしくみを工夫
 する〈創作文〉 **例ア**
文法のまど1
 用言の活用
見えないチカラとキセキ
例ウ **説** (読)
 浦田理恵・竹内由美

3 視野を広げる
壁に残された伝言 **例イ** **説**
 井上恭介
漢字のしくみ2
 熟語の読み
推論と対話で考えを広げる
 (主張文) **例イ**

古典に学ぶ
枕草子・徒然草
表現プラザ1
 「超訳」に挑戦
平家物語
漢詩の世界

4 分析的に考える
動物園でできること **例イ** **説**
 奥山英登
ことば発見2
 方言と共通語
異なる立場や考えを尊重し
 て〈パネルディスカッション〉
例イ
文法のまど2
 助詞・助動詞

5 読みを深め合う
大阿蘇 **例ア** **文**
 三好達治
ことば発見3
 敬語の意味と種類

走れメロス **例ア** **文**
 太宰治

6 思いを伝える
達人のことば1 宮大工
 西岡常一
 達人のことば2 彫刻家
 外尾悦郎 **説**
わかりやすく心をこめて書く〈手
 紙〉 **例ウ**
表現プラザ2
 対話劇を体験しよう

7. つながりを考える
ポテト・スープが大好きなネコ
例ア **文**
 テリー＝ファリッシュ
 村上春樹 訳
ふるさとを見つめ直す〈地域精
 神誌〉
文法のまとめ

資料編
 ①読書の広場
 ●読書ガイドンス 小さな図書館
 ●読書ガイドンス 情報探しのヒント
 ●読書ガイドンス 情報活用のヒント
 ●見て楽しむ 歌舞伎の世界
 ●声に出して読む 歌舞伎 外郎虎
 ●古典を楽しむ 枕草子 清少納言
 ●古典を楽しむ 徒然草 兼好法師
 ②考える広場
 ●読む力を伸ばそう
 水田のしくみを探る 岡崎稔
 ●学ぶ力を高めよう 方法1
 さまざまな思考方法を使う
 ●学ぶ力を高めよう 方法2
 メモを活用する
 ●学ぶ力を高めよう 方法3
 インタビューをする
 ●学ぶ力を高めよう 方法4
 アンケートをとる
 ●学ぶ力を高めよう 方法5
 話し合いの方法を選ぶ
 ●学ぶ力を高めよう 方法6
 図表〈表やグラフ〉を使う
 ●学ぶ力を高めよう 方法7
 辞典を活用する
 ③参考資料
 ●数字の書き表し方
 ●手紙・葉書・メールの書き方
 ●原稿用紙の使い方
 ●推敲の仕方と観点
 ●五十音とローマ字
 ●日本文学の名作集
 ●学習用語辞典
 ●二年生で学ぶ漢字辞典
 ●都道府県名の一覧
 ●二年生で学ぶ音訓
 ●小学校六年生で学習した漢字
 ●常用漢字表音訓一覧
 ●常用漢字表付表
 ●アルバムディクショナリー
 折り込み
 ●「読み方を学ぼう」一覧

1 学年	2 学年		
<p>C○ふしぎ／声を出そう 金子みすず 例ア 文</p> <p>A○対話への扉 例イ 感想を伝え合おう</p> <p>B○記録をしよう 例イ</p> <p>1 言葉で意味づける</p> <p>C○音を追いかけて 例ア 文 まはら三桃</p> <p>B○体験したことを文章にする 例</p> <p>A○お気に入りの一品を紹介する 例ア</p> <p>伝○四季のたより 春</p> <p>2 関係を見いだす</p> <p>C○笑顔という魔法 例イ 説 池谷裕二</p> <p>A○フリップを用いて報告する 例ア</p> <p>伝○言葉の小窓1 日本語の音声</p> <p>伝○漢字の広場1 漢字の部首</p> <p>3 世界をひらく</p> <p>C■○ベンチ 例ウ 文(読) ハンス＝リヒター</p> <p>C■○写真と言葉が生み出す世界 —メディアリテラシー入門— 例ウ(情) ・ボタン まど・みちお ・カメラが見つめたニューヨーク 折原恵</p> <p>B○芸術作品の鑑賞文を書く 例ア</p> <p>伝○文法の小窓1 言葉の単位</p> <p>伝○四季のたより 夏</p> <p>4 表現に立ち止まる</p> <p>C○河童と蛙 例ア 文 草野心平</p> <p>C○オツベルと象 例ア 文例 文 宮澤賢治</p> <p>B○行事などの案内を書く 例ウ</p> <p>伝○漢字の広場2 画教と活字の字体</p> <p>伝○言葉の小窓2 日本語の文字</p> <p>5 古典と出会う</p> <p>伝○○古典の扉を開く —百年後、千年後の友人であるあなたへ— 例ア 文</p> <p>伝○物語の始まり —竹取物語— 文</p> <p>伝○故事成語 —中国の名言—</p> <p>C■○蜘蛛の糸 例ウ 文(読) 芥川龍之介</p> <p>伝○四季のたより 秋</p>	<p>6 説明を比べる 文章の構成や表現の特徴を捉えて読む</p> <p>C○電子レンジの発想 例イ 説 古田ゆかり</p> <p>C○言葉のゆれを考える 三井はるみ 例イ 説</p> <p>C○花の形に秘められたふしぎ 中村匡男 例イ 説</p> <p>A○友達のスピーチを聞く 例ア</p> <p>B○意見文を読み合う 例</p> <p>伝○漢字の広場3 漢字の音と訓</p> <p>伝○文法の小窓2 文の成分</p> <p>7 発想を広げる</p> <p>C○言葉がつなく世界遺産 橋本典明 例イ 説</p> <p>B○図表を用いて報告する 例イ</p> <p>伝○四季のたより 冬</p> <p>8 考えを共有する</p> <p>C○四季の詩 例ア 文 安西冬術／ジャン＝コクトー ／八木重吉／三好達治</p> <p>伝○文法の小窓3 単語のいろいろ</p> <p>伝○漢字の広場4 熟語の構成</p> <p>C○少年の日の思い出 例 文 ヘルマン＝ヘッセ</p> <p>A○アイデアを出して話し合う 例イ</p> <p>C■○言葉と仕事 言葉の上達は競技を上達させる (読) 平井伯昌</p> <p>伝○言葉と文法 解説編 言葉 ●日本語の音声 ●日本語の文字 文法 ●言葉の単位 ●文の成分 ●単語のいろいろ</p> <p>伝○漢字 ●1年で学習した漢字 ●小学校6年で学習した漢字 ●常用漢字表 ●1年で読みを学習した漢字・語 ●練習問題</p> <p>言葉の自習室 ●花の詩画集 星野富雄 ●デューク 江國香織 ●風少年 小橋山博 ●銀のしずく降る降る 藤本英夫 ●蓬萊の玉の枝と雫の苦み談 ●1年生のための読書案内 ●本の構造 ●十二支と月の呼び方 ●文字のいろいろ ●国語辞典と漢和辞典 ●アイデアの出し方 ●表現テーマ例集 ●インタビューの仕方 ●バズセッションの仕方 ●原稿用紙の使い方と推敲 ●さまざまな案内や報告 ●文章を書くときの注意点 ●メディアと情報 ●瞬間を切り取る</p> <p>●領域別教材目標 覧 ●学びのチャレンジ ●理解や表現に役立つ言葉 ●学習に必要な用語</p> <p>●小倉百人一首 (折込) ●古典作品へのいざない (折込) ●伝説芸能へのいざない (折込) ●自己を知り、自己を深める —受け継ぎ、伝える言葉— (折込)</p>	<p>1 言葉が照らし出す</p> <p>C○虹の足 例ア 文 吉野弘</p> <p>A○対話への扉 例イ 質問する力をつける</p> <p>C○タオル 例ア 文 重松清</p> <p>A○図表を用いて提案する 例ア</p> <p>伝○言葉の小窓1 方言と共通語</p> <p>伝○四季のたより 花</p> <p>2 関係を掘り起こす</p> <p>C○日本の花火の楽しみ 小野里公成 例イ 説</p> <p>B○新聞の投書記事を書く 例イ</p> <p>伝○漢字の広場1 まちがえやすい漢字</p> <p>伝○言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉</p> <p>3 自己をひらく</p> <p>C■○夢を跳ぶ 例ウ(読) 佐藤真海</p> <p>C■○物語を読み解く —メディアの解釈— 例ウ(情)</p> <p>伝○文法の小窓1 活用のない自立語</p> <p>伝○漢字の広場2 漢字の成り立ち</p> <p>伝○四季のたより 水</p> <p>4 表現を見つめる</p> <p>C○近代の短歌 例ア 文 石川啄木、北原白秋ほか</p> <p>C○夏の葬列 例ア 文 山川方夫</p> <p>B○写真から物語を創作する 例ア</p> <p>伝○漢字の広場3 漢字の多義性</p> <p>伝○四季のたより 月</p> <p>5 伝統を見いだす</p> <p>伝○○教盛の最後 —平家物語— 例ア 文</p> <p>伝○隨筆の味わい —枕草子・徒然草— 文</p> <p>伝○二千五百年前からのメッセージ —孔子の言葉—</p> <p>B○お礼の手紙を書く 例ウ</p> <p>伝○言葉の小窓3 敬語</p> <p>C■○坊っちゃん 例ウ 文(読) 夏目漱石</p> <p>6 他者と生きる</p> <p>C○水の山 富士山 例イ 説 丸井敦尚</p> <p>C○ガイアの知性 例イ 説 龍村仁</p> <p>A○話を聞いて自分の考えと比べる 例ア</p> <p>B○意見文を読み合う 例イ</p> <p>伝○文法の小窓2 活用のある自立語</p>	<p>7 自己と対話する</p> <p>C○学ぶ力 例イ 説 内田樹</p> <p>B○四コマ漫画から意見文を書く 例イ</p> <p>伝○言葉の小窓4 類義語・対義語・多義語・同音語</p> <p>伝○四季のたより 雪</p> <p>8 考えを交流する</p> <p>C○レモン哀歌 例ア 文 高村光太郎</p> <p>A○反対意見を想定して話すには 例イ 説</p> <p>伝○文法の小窓3 付属語のいろいろ</p> <p>伝○漢字の広場4 同音の漢字</p> <p>C○走れメロス 例ア 文 太宰治</p> <p>A○役割を決めて討論する 例イ</p> <p>C■○言葉と仕事 言葉は私の聴診器 (読) 香山リカ</p> <p>伝○言葉と文法 解説編 言葉 ●方言と共通語 ●話し言葉と書き言葉 ●敬語 ●類義語・対義語・多義語・同音語</p> <p>文法 ●1年の復習 ●活用のない自立語 ●活用のある自立語 ●付属語のいろいろ</p> <p>伝○漢字 ●2年で学習した漢字 ●小学校6年で学習した漢字 ●常用漢字表 ●2年で読みを学習した漢字・語 ●練習問題</p> <p>言葉の自習室 ●季節をうたう 照屋林賢／戸越三 ●悠久の自然 泉野道夫 ●字のない果書 向田邦子 ●扇の的 ●古典随筆選 ●2年生のための読書案内 ●図書館で本を探そう ●アイデアの出し方 ●表現テーマ例集 ●パネルディスカッションの仕方 ●レポートの書き方 ●新聞の作り方 ●インターネット利用上の注意点 ●三つのCと三つのS</p> <p>●領域別教材目標 覧 ●学びのチャレンジ ●理解や表現に役立つ言葉 ●学習に必要な用語</p> <p>●近代文学史年表 (折込) ●古典作品へのいざない (折込) ●伝説芸能へのいざない (折込) ●他者を知り、ともに生きる —受け継ぎ、伝える言葉— (折込)</p>

1 学年		2 学年	2 学年
<p>□言葉に出会うために 例ア</p> <p>○野原はうたう 例ア 文 工藤直子</p> <p>1 学びをひらく</p> <p>○花曇りの向こう 例ア 文 瀬尾まいこ</p> <p>○季節のしおり 春</p> <p>○わかりやすく説明しよう 観点を決めて書く 例ウ</p> <p>○情報を的確に聞き取る 例ア</p> <p>○漢字1 漢字の組み立てと部首</p> <p>2 新しい視点へ</p> <p>○ダイコンは大きな根? 稲垣栄洋 例イ 説</p> <p>○ちよつと立ち止まって 桑原茂夫 例イ 説</p> <p>○記録の仕方を工夫する 例イ</p> <p>○「好きなもの」を紹介しよう スピーチをする 例ア</p> <p>○情報の集め方を知ろう (読) 本から情報を集める インターネットを利用する 新聞の紙面構成の特徴を知る</p> <p>○言葉1 話し言葉と書き言葉</p> <p>3 言葉をつなぐ</p> <p>○詩の世界 例ア 文</p> <p>○言葉を集めよう 例ウ もっと「伝える」表現を日ざして</p> <p>○空を見上げて 例ア 文</p> <p>○文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 読書生活を豊かに一想像を広げる</p> <p>○光る地平線 例ア 文 魚住 直子 ○私が選んだこの一冊 読書紹介をしよう (読) ■読書案内 (読)</p> <p>○読書コラム (読) 本との出会い 宮崎 駿</p> <p>○季節のしおり 夏</p> <p>4 つながりの中で</p> <p>○星の花が降るころに 例ア 文 安東みきえ</p> <p>○大人になれなかった弟たちに…… 米倉斎加年</p> <p>○わかりやすい案内文を書く 例ウ</p> <p>○シカの「落ち穂拾い」 説 フィールドノートの記録から 辻 大和 例イ</p> <p>○調べたことを報告しよう レポートにまとめる 例ウ</p> <p>○漢字2 漢字の音訓</p> <p>○言葉2 指示する語句と接続する語句</p> <p>○季節のしおり 秋</p> <p>5 いにしへの心に触れる</p> <p>○音読を楽しもう 例ア 文 いろは歌</p> <p>○月に思う 文</p> <p>○蓬萊の玉の枝 文 ―「竹取物語」から―</p> <p>○今に生きる言葉 文</p> <p>6 論点を捉えて</p> <p>○幻の魚は生きていた 中坊徹二 例イ 説</p>	<p>○流れを踏まえて話し合おう 例イ</p> <p>○話題や方向を捉えて話し合おう グループディスカッションをする 例イ</p> <p>○感じたことを整理する 例ア</p> <p>○根拠を明確にして魅力を伝えよう 鑑賞文を書く 例ア</p> <p>○竹 例ア 文 萩原朔太郎</p> <p>○文法への扉2 言葉の関係を考えよう</p> <p>○季節のしおり 冬</p> <p>7 自分を見つめて</p> <p>○少年の日の思い出 例ア 文 ヘルマン・ヘッセ/高橋健二</p> <p>○言葉3 ささまざまな表現技法</p> <p>○漢字3 漢字の成り立ち</p> <p>○印象深く思いを伝えよう 例ウ 新入生へメッセージを書く</p> <p>○文法への扉3 単語の性質を見つけよう</p> <p>○一年間の学びを振り返ろう ポスターセッションをする 例ア</p> <p>○ぼくがここに 例ア 文 まど・みちお</p> <p>学習を広げる 文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1 言葉の単位 ●2 文の組み立て ●3 単語の分類 <p>【参考】口語動詞活用表 【参考】口語形容詞活用表 【参考】口語形容動詞活用表 【参考】口語助動詞活用表</p> <p>漢字に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の練習 小学校六年生で学習した漢字 ●小学校六年生で学習した漢字一覧資料 ●坊っちゃん 夏目漱石 ●流水と私たちの暮らし 青田昌秋 ●読書感想文の書き方 ●言葉としぐさの伝統芸能 ―古典落語 ●発想を広げる―表現テーマ例集 ●いろいろな発想方法 ●情報を集める インタビュー・アンケート ●資料の工夫 ●いろいろな通信文 ●文章の推敲・原稿用紙の使い方 ●敬語を使う ●書体の特徴 ●感想を表す言葉 ●文学的な文章を読むために ●説明的な文章を読むために 付録 ●一年生で学習した漢字 ●一年生で学習した音訓 ●常用漢字表 ●常用漢字表 付表 <p>索引</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習のための用語一覧 	<p>1 広がる学びへ</p> <p>○見えないだけ 例ア 文 牟礼慶子</p> <p>○アイスプラネット 例ア 文 椎名 誠</p> <p>○要点を整理して聞き取る 例ア</p> <p>○季節のしおり 春</p> <p>○枕草子 文 清少納言</p> <p>○多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る 例イ</p> <p>○漢字1 熟語の構成</p> <p>2 多様な視点から</p> <p>○生物が記録する科学 例イ 説 ―バイオロギングの可能性 佐藤克文</p> <p>○説明の仕方を工夫する 例イ</p> <p>○魅力的な提案をしよう 例ア プレゼンテーションをする</p> <p>○メディアと上手に付き合うために 池上 彰 例イ 説</p> <p>○言葉1 類義語・対義語・多義語</p> <p>3 言葉と向き合う</p> <p>○新しい短歌のために 例ア 文 馬場あき子</p> <p>○短歌を味わう 例ア 文</p> <p>○言葉比べよう 例ア もっと「伝える」表現を日ざして</p> <p>○言葉の力 例ア 文 大岡信</p> <p>○文法への扉1 単語をどう分ける? 読書生活を豊かに―外国文学を味わう</p> <p>○世界で一番の贈り物 例ア 文 マイケル・モーバーゴ/佐藤見果夢 ○二年一組のお薦め三十五冊 読書案内をつくらう (読) ■読書案内 (読)</p> <p>○読書コラム (読) たまには、少し変わった本を 柴田元幸</p> <p>○季節のしおり 夏</p> <p>4 闊わりの中で</p> <p>○盆土産 例ア 文 三浦哲郎</p> <p>○字のない葉書 例ア 文 向田邦子</p> <p>○推敲して適切な文章に直す 例ウ</p> <p>○気持ちを込めて書こう 例ウ 手紙を書く</p> <p>○モアイは語る―地球の未来 安田喜憲 例イ 説</p> <p>○言葉2 敬語</p> <p>○漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</p> <p>○季節のしおり 秋</p> <p>5 いにしへの心を訪ねる</p> <p>○音読を楽しもう 例ア 文 平家物語</p> <p>○扇的 文 ―「平家物語」から</p> <p>○仁和寺にある法師 文 ―「徒然草」から</p> <p>○漢詩の風景 文 石川忠久</p> <p>6 論理を捉えて</p> <p>○君は「最後の晚餐」を知っているか 布施英利 例イ 説</p>	<p>○相手の考えを踏まえて発言する</p> <p>○話し合って考えを広げよう 例イ パネルディスカッションをする 例イ</p> <p>○意見文の説得力を考える 例イ</p> <p>○根拠を明確にして意見を書こう 意見文を書く 例イ</p> <p>○落葉松 例ア 文 萩原朔太郎</p> <p>○文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 読書に親しむ―地域と共に</p> <p>○小さな町のラジオ発 (読) ―臨時災害放送局「りんごラジオ」 高橋 厚</p> <p>■読書案内</p> <p>○季節のしおり 冬</p> <p>7 表現を見つめて</p> <p>○走れモロス 例ア 文 太宰 治</p> <p>○文法への扉3 一字違いで大違い</p> <p>○表現のしかたを工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 例ア</p> <p>○言葉3 方言と共通語</p> <p>○科学はあなたの中にある 最相葉月 例ア 説</p> <p>○漢字3 送り仮名</p> <p>○一年間の学びを振り返ろう 国語の学習の報告書をまとめる 例ア</p> <p>○鍵 例ア 文 茨木の子子</p> <p>文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一年生の復習 ●1 自立語 ●2 用言の活用 口語動詞活用表 口語形容詞活用表 口語形容動詞活用表 ●3 付属語 口語助動詞活用表 <p>漢字に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の練習 小学校六年生で学習した漢字 ●小学校六年生で学習した漢字一覧 ●漢字の練習 ●常用漢字表に追加された漢字 学習を広げる 資料 ●ゼブラ ハイム・ポトク/金原瑞人 ●五重塔はなぜ倒れないか 上田 篤 ●古典の世界を広げる ●古典芸能の世界―能・狂言 ●郷土ゆかりの作家・作品 ●新聞記事を比べる ●発想を広げる―表現テーマ例集 ●手紙の書き方 ●感情を表す言葉 ●文学的な文章を読むために ●説明的な文章を読むために 付録 ●二年生で学習した漢字 ●二年生で学習した音訓 ●常用漢字表 ●常用漢字表 付表 <p>索引</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習のための用語一覧

3 学年

- 〇生命は 例 文
吉野 弘
- 1 読む[言語感覚]
 〇二つのアザミ 文
堀江敏幸
 〇俳句の読み方、味わい方
片山 由美子 例 文
 B 〇俳句を作って句会を開こう 例ア
- 〇日本語探検-1
和語・漢語・外来語
 〇文法の窓-1
間違えやすい敬語
- 2 読む[文学一]
 〇形 文
菊池 寛
 〇百科事典少女 例ア 文
小川洋子
 A 〇評価しながら聞こう 例ア
 〇日本語探検-2
連語・慣用句
 〇漢字道場-1
熟語の構成・熟字訓
- 3 読む[構成・展開]
 〇絶滅の意味 例イ 説
中静 透
 B 〇編集して伝えよう 例イ
「環境」のミニ雑誌
 〇漢字道場-2
四字熟語
 C ■ 落語の秘密 説 (読)
大友 浩
■ 〇本で世界を広げよう 例ウ (読)
＜日本文化＞
■ 〇本の世界を楽しもう (読)
- 4 読む[吟味・判断]
 〇黄金の扇風機 例イ 説
田中真知
 〇サハラ砂漠の茶会 例イ 説
千住 博
 B 〇観察・分析して論じよう 例
批評文
 A 〇場面に応じて話そう 例ア
条件スピーチ
 〇文法の窓-2
曖昧な文・分かりづらい文
 〇漢字道場-3
送り仮名
 〇初恋 文
島崎藤村
- 5 古典
 〇万葉・古今・新古今 例 文
 〇おくのほそ道 例 文
松尾芭蕉
 〇論語 例 文
 〇日本語探検-3
言葉の移り変わり
 〇文法の窓-3
文法のまとめ

- 6 読む[文学二]
 〇故郷 文
魯迅/竹内 好訳
 〇漢字道場-4
紛らわしい漢字
 〇何のために「働く」のか 説
姜 尚中
■ 〇本で世界を広げよう 例ウ (読)
＜現代社会＞
- 7 読む[言葉とメディア]
 〇いつものように新聞が届いた
メディアと東日本大震災
今野俊宏 例 説
 A 〇話し合いで問題を解決しよう
チャート式討論 例イ
 B 〇今の思いをまとめよう 例
時を超える手紙
 〇漢字道場-5
間違えやすい言葉
 〇レモン哀歌 例 文
高村 光太郎
 〇生ましめんかな 例 文
栗原貞子
 〇最後の一句 文 (読)
森 鷗外
■ 〇日本の名作を読もう (読)

基礎編

- 学びを支える言葉の力
実用的な言葉の力
論理的な言葉の力
創造的な言葉の力
- 文法解説
一・二年生の復習
間違えやすい敬語
曖昧な文・分かりづらい文
文法のまとめ
用言活用表
助詞一覧表
助動詞活用表

資料編

- 風の唄
あさのあつこ
- 知床一流水を巡る循環
立松和平
- 書評に親しもう
- 恋の歌
鈴木健一
- 「おくのほそ道」の旅
深沢了子
- 古典の文法
- 日本の文学史年表
- 話すこと・書くこと題材例
- 話し合いの方法
- 手紙の書き方
- 原稿用紙の使い方
・推敲の観点(自己紹介文)
- 言葉を広げよう
- 学習用語一覧
- 新出漢字一覧
- 本文で学ばなかった漢字
- 新出音訓一覧
- 常用漢字表

3 学年

- 最初の質問 例ア 文
長田弘
1 絆 - 社会に向けて
- 林と思想 例ア 文
宮沢賢治
- 言葉の共有 例ア 文
岡本夏木
- ケナリも花、サクラも花
鷺沢萌 例ア 文
- Water 例ア 文
吉田修一
- 発見する読み1
問いのある読みへ - 「プロット」
を考える 例
- A 活動を考える1
話し言葉で伝えるために
- A 話す・聞く1 例ア
世界に届ける言葉
パブリックスピーキング
- A 活動を考える2 心を動かす言葉
- 伝 文字を見抜く1
表意文字と表音文字
2 生命 - 命の共鳴
- 地獄の季節 例ア 文
ランボオ
- 握手 例ア 文
井上ひさし
- 輝ける闇 例ア 文
開高健
- 俳句『俳句という愉しみ』と
解説 説
小林恭二
- 俳句十五句 例ア 文
- 存在 例ア 文
山之内漢
- 黒い雨 例ア 文
井伏鱒二
- B 活動を考える3 考えを深める
- B 書く1 批評する言葉
批評文を書く 例ア
- 伝 文字を見抜く2
常用漢字表の話
- C ■ 情報と表現1
情報を自分のものとするた
めに言葉の工夫を知る 例イ
- 読書1
- 少年一海一 (読) 例ア 文
芥川龍之介
3 未来への問い
- セブりを採りに行く 例ア 文
新川和江
- 『イズニラント』という聖地
例 説
能登路雅子
- 運動会 例イ 説
玉木正之
- 武蔵野の風景 - 二次的な自
然環境について - 例イ 説
内山節
- 発見する読み2
○ 「ふっくらと」 例ア 小
北村薫
- A 活動を考える4
いろいろな立場で考える
- A 話す・聞く2 多様な意見の交
差 グループ・パネディスカッション 例イ

- 伝 文字を見抜く3 文字と拍
- 伝 文法の学習1
文章の構造・段落どうしの関係
- C 表現に向かう読み
○ 寂しいお魚 例ア 小
別役実
- 4 伝統 - 今に向かって
- 消えゆく虫 例ア 文
室生犀星
- 伝 古典解説 言葉との出会 説
- 伝 ○ 歌の源流へ 文
万葉・古今・新古今
- 伝 古典和歌の表現法
- 伝 発見する言葉 - 枕草子 文
清少納言
- 伝 ○ 漢詩 文
- 言葉が見た風景 - おくのほそ
道 - 文 松尾芭蕉
- 伝 ○ 異界を捉える言葉 文
一遠野物語 (抄) - 柳田国男
- 伝 ■ 古典読書 先人の達成と共
に - 本歌取りなど 説
- B 活動を考える5
記憶を掘り起こす
- B 書く2
あのときかもしれない
エッセイを書く 例イ
- 伝 文字を見抜く4
平仮名と片仮名
- 伝 言葉と生活・言葉と文化
日本語の由来
- 5 世界 - 世代を超えて
- 言葉のない世界 例ア 文
田村隆一
- 灯台 例ア 文
アトキョウロウキョウインテ
- 故郷 例ア 文
魯迅
- 夕空晴れて 例ア 文
伊集院静
- 発見する読み3
○ 「白い闇のほうへ」 例 小
岬多可子
- 伝 文字を見抜く5 指文字・手話
- 伝 文法の学習2
指示語・接続語のまとめ
- C 情報と表現2
言葉による発見 比喻という力
例 説
- 読書2
- パールハーバーの授業 例ウ 文
猪口邦子
- 顔の見える国際協力 (読)
例ウ 説 内橋克人
- C ■ 読書案内 例ウ
言語の学習
- 三年生の文法の学習
- 活用コラム 文法を考える
- 一・二年生の文法のまとめ
- 三年生の語句・語彙の学習
- 古典に親しむために
- 今に伝わる注意したい古語
- 注意すべき筆順
- 常用漢字表・常用漢字表の付表
- 日本文学の流れ
- 口語・文語活用対照表
- ■ 自分だけの羅針盤・道

3 学年

学びの扉を開く
 水のようなひと 文
 おーなり由子
 問の文化 読
 長谷川耀

1 かかわりを捉える
 握手 例ア 文
 井上ひさし
 ことは発見1
 和語・漢語・外来語
 論理の展開を工夫して、説得力を
 もたせる (小論文)

2 ことばを磨く
 俳句の世界 文
 A 表現プラザ1
 句会をひらこう
 文法のまど
 表現につながる文法
 状況に応じて話す力を養う (ブッ
 クトーク) 例ア
 花や咲く咲く 例ウ 文 (読)
 あさのあつこ

3 多角的に考える
 フロン規制の物語 読
 神里達博
 合意を形成し、課題を解決する (企
 画会議) 例イ

古典に学ぶ
 和歌の世界
 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集
 おくのほそ道
 松尾芭蕉
 論語
 漢字のしくみ
 慣用句・ことわざ

4 情報を読み解く
 情報社会を生きる一メディアリテ
 ラシー 例イ 読
 菅谷明子
 ことは発見2
 敬語の機能と敬意表現
 観察や分析をとおして、判断する
 (批評文) 例ア

5 読みを深め合う
 初恋 文
 島崎藤村
 故郷 例ア 文
 魯迅
 竹内好 訳
 ことは発見3
 言葉の現在：過去・未来
 表現プラザ2
 漢字一字で表現すると

6 広がる世界へ
 「文殊の知恵」の時代 例イ 読
 北川隆夫
 問をもとに語り合う (ワールド・
 カフェ)
 坊っちゃん 例ア 文
 夏目漱石
 中学校生活を振り返って (名言
 集) 例イ
 文法のまとめ
 3年間の文法の総まとめ

資料編
 ①読書の広場
 ●読書ガイドンス 小さな図書館
 ●読書ガイドンス 情報探しのヒント
 ●読書ガイドンス 情報活用のヒント
 ●見て楽しむ 能・狂言の世界
 ●声に出して読む 狂言 柿山伏
 ●古典を楽しむ 近世の短詩 俳句・
 川柳・狂歌
 ●読書 武器なき「出陣」舟戸政一
 ②考える広場
 ●読書力を伸ばそう
 「 」大崎友芳
 ●学ぶ力を高めよう 方法1
 さまざまな思考方法を使う
 ●学ぶ力を高めよう 方法2
 メモを活用する
 ●学ぶ力を高めよう 方法3
 インタビューをする
 ●学ぶ力を高めよう 方法4
 アンケートをとる
 ●学ぶ力を高めよう 方法5
 話し合いの方法を選ぶ
 ●学ぶ力を高めよう 方法6
 図表 (表やグラフ) を使う
 ●学ぶ力を高めよう 方法7
 辞典を活用する
 ③参考資料
 ●数字の書き表し方
 ●手紙・葉書の書き方
 ●原稿用紙の使い方
 ●推敲の仕方と観点
 ●日本文学の名作集
 ●学習用語辞典
 ●三年生で学ぶ漢字辞典
 ●都道府県名の一覧
 ●小学校六年生で学習した漢字
 ●常用漢字表音訓一覧
 ●常用漢字表付表
 ●アルバムディクショナリー
 折り込み
 ●「読み方を学ぼう」一覧

3 学年

1 言葉を探る

- 春に 例ア 文
谷川俊太郎
- 対話への扉 例ア
一言でまとめ一言から広げ
る
- 立ってくる春 例ア 文
川上弘美
- 広告を批評する 例ア
- 漢字の広場 1
呉音・漢音・唐音
- 四季のたより 喜

2 関係を生きる

- 「新しい博物学」の時代
池内了 例イ 説
- 話を聞いて自分の表現に生
かす 例イ
- 漢字の広場 2
熟字訓
- 言葉の小窓 1
和語・漢語・外来語

3 歴史をひらく

- 無言館の青春 例ウ (説)
窪島誠一郎
- 情報を編集するしかけ
—メディアにひそむ意図—
 例イ (情)
- 言葉の小窓 2
慣用句・ことわざ
- 文法の小窓 1
活用のない付属語
- 四季のたより 涼

4 論理を問う

- 歴史は失われた過去か
内山節 例イ 説
- 文化としての科学技術
毛利衛 例イ 説
- 図表などの資料から文章を
書く 例ア
- 言葉の小窓 3
敬語
- 文法の小窓 2
活用のある付属語

5 文化をつなぐ

- 旅への思い
—芭蕉と『おくのほそ道』—
 文
- 和歌の調べ
—万葉集・古今和歌集・
新古今和歌集— 文
- 和歌の鑑賞文を書く 例
- 風景と心情
—漢詩を味わう— 文
- 最後の一句 例ウ 文 (説)
森鷗外
- 漢字の広場 3
異字同訓
- 四季のたより 深

6 語りと向き合おう

- 近代の俳句 例ア 文
高浜虚子ほか
- 初恋 例 文
島崎藤村
- 故郷 例ア 文
魯迅
- 自己PR文を読み合う 例
- スピーチで学びを振り返る
 例ア
- 漢字の広場 4
四字熟語

7 対話をひらく

- 課題を解決するために話し
合う 例イ
- 「対話力」とは何か 例イ
多田孝志
- 自分の作品集をつくる 例イ
- パースデイ・ガール 例ウ 文
村上春樹
- 花を贈る 例ウ 文
鷺田清一
- 自分自身に 例ア 文
吉野弘
- 言葉と仕事
言葉でつかんだ世界(説)
国枝慎吾

伝 言葉と文法 解説編

- 言葉
- 和語・漢語・外来語
- 慣用句・ことわざ
- 敬語

文法

- 活用のない付属語
- 活用のある付属語
- 文の組み立て
- 文法的に考える

伝 漢字

- 3年で学習した漢字
- 小学校6年で学習した漢字
- 常用漢字表
- 3年で読みを学習した漢字・語
- 練習問題

言葉の自習室

- 素顔同盟 すやまたけし
- それはトンボの頭だった 徳村弘
- 語り継ぐもの 吉永小百合
- 古典の歌、現代の歌 佐佐木幸綱
- 言葉の力 池田晶子
- 無名の人 司馬遼太郎
- 3年生のための読書案内
- 十干と千支
- 季節を表す言葉
- アイデアの出し方
- ディベートの仕方
- 引用の仕方
- 原稿用紙の使い方と推敲
- さまざまな文章
- 見つめる新聞広告
- 江戸時代のメディア戦略

- 領域別教材目標 一覧
- 学びのチャレンジ
- 理解や表現に役立つ言葉
- 学習に必要な用語

- 古典文学史年表 (折込)
- 古典作品へのいざない (折込)
- 伝統芸能へのいざない (折込)
- 社会・自然に向き合う
—受け継ぎ、伝える言葉— (折込)

3 学年

- 1 深まる学びへ
A ○春に **例ア** **文**
 谷川俊太郎
C ○握手 **例ア** **文**
 井上ひさし
伝 季節のしおり 春
○学びて時にこれを習ふ
 - 「論語」から **文**
A 評価しながら聞く **例ア**
A ○社会との関わりを伝えよう **例ア**
 相手や目的に応じたスピーチをする
伝 漢字 1 熟語の読み方
 2 多様な視点から
C ○月の起源を探る **例イ** **説**
 小久保英一郎
B 文章の形態を選んで書く **例イ**
B ○魅力的な紙面を作ろう
 修学旅行記を編集する **例イ**
C ○思いのリレーに加わる (読)
 藤代裕之
伝 言葉 1 和語・漢語・外来語
 3 言葉を見つめる
C ○俳句の可能性 **例ア** **文**
 宇多喜代子
C ○俳句を味わう **例ア** **文**
B ○言葉を選ぼう **例ア**
 もっと「伝わる」表現を旨として
C ○「批評」の言葉をためる **例イ** **説**
 竹田青嗣
伝 文法への扉 1
 すいかは幾つ必要?
 読書生活を豊かに一名作を味わう
C ○高瀬舟 **例ア** **文**
 森 鷗外
C ■○未来のわたしにお薦めの本
 読書生活をデザインしよう (読)
 ■読書案内 (読)
C ■○読書コラム (読)
 ためになるってどんなこと?
 森 絵都
伝 季節のしおり 夏
 4 状況の中で
C ○挨拶-原爆の写真によせて
 石垣りん **例ア** **文**
C ○故郷 **例ア** **文**
 魯迅/竹内 好
B 推敲して文章を整える **例ア**
C ○新聞の社説を比較して読もう
例イ **説**
伝 言葉 2 慣用句・ことわざ・故事成語
伝 漢字 2 漢字の造語力
伝 季節のしおり 秋
 5 いにしえの心と語らう
○音読を楽しもう **文**
 古今和歌集 仮名序
○君待つと **文**
 - 万葉・古今・新古今
○夏草 **文**
 - 「おくのほそ道」から
 松尾芭蕉
○古典を心の中に **文**
 竹内正彦
 6 論旨を捉えて
C ○作られた「物語」を超えて
 山極寿一 **例イ** **説**

- A ○話し合いを効果的に進める **例イ**
A ○話し合って提案をまとめよう
 課題解決に向けて会議を開く **例イ**
B 観点を立てて分析する **例ア**
B 説得力のある文章を書こう
 批評文を書く **例ア**
C ○初恋 **例ア** **文**
 島崎藤村
伝 文法の扉 2
 「ない」の違いがわからない?
 読書に親しむ-世界の中で
C ○エルサルバドルの少女ヘスース
 長倉洋海 **例イ** **説**
C ■○読書コラム (読)
 読書記録をつける
 大江健三郎
 ■読書案内
伝 季節のしおり 冬
 7 未来へ向かって
C ○誰かの代わりに **例イ** **説**
 鷲田清一
C ○わたしを束ねないで **例ア** **文**
 新川和江
伝 漢字 3 漢字のまとめ
A B ○三年間の歩みを振り返ろう
 学びについて語り合う **例イ**
 文法
 ●一、二年生の復習
 ●1 文法を生かす
 ●2 文法のまとめ
 □語動詞活用表
 □語形容詞活用表
 □語形容動詞活用表
 □語助動詞活用表
 漢字に親しもう
 ●小学校六年生で学習した漢字一覧
 学習を広げる
 資料
 ●三年間の言葉の力を確かめよう
 ●温かいスープ
 今道友信
 ●蝉の声
 浅田次郎
 ●アラスカとの出会い
 星野道夫
 ●古典芸能の世界
 - 歌舞伎・浄瑠璃
 ●古典・近代文学の名作
 ●日本文学の流れ
 ●発想を広げる-表現テーマ例集
 ●いろいろな文章形態
 ●話し合いの方法
 ●いろいろな文章形態
 ●抽象的な言葉
 ●常用漢字表について
 ●[発展] 文語の活用
 ●文学的な文章を読むために
 ●説明的な文章を読むために
 付録
 ●三年生で学習した漢字
 ●三年生で学習した音訓
 ●常用漢字表
 ●常用漢字表 付表
 索引
 ●学習のための用語一覧

令和2年度使用

中学校教科用図書採択参考資料

書 写

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	書写 731
11 学 図	書写 732
15 三省堂	書写 733
17 教 出	書写 734
38 光 村	書写 735

書 写

I 教科用図書の調査研究にあたって

1 調査教科書

2 東書 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村

2 調査の観点

- (1) 我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会生活に役立つ様々な文字文化に関する認識及び、それらに親しむ態度を育成するような内容となっているか。
- (2) 内容の程度が、各学年における生徒の発達段階や経験を踏まえたものとなっているか。
- (3) 各学年における「書写に関する事項」が系統的に構成、配列されているか。毛筆の指導が、硬筆による書写の能力の基礎を養うものとして取り上げられていることを受け、どのような関連をもたせているか。
- (4) 学習場面や社会生活における、話す、聞く、書く、読むといった言語活動に役立つよう配慮されているか。
- (5) 文字や表記が適切で、学習に必要な図表や写真などの資料への配慮が適切になされているか。

3 調査に当たっての基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、公正な立場で、審議会から示された調査の観点に基づいて調査に当たった。
- (2) 事実を正確にとらえ、調査員の主観を交えないよう、調査研究した内容について、調査員で協議のうえ記述した。
- (3) 調査研究資料の作成に当たっては、観点を焦点化した項目を設定し、その項目に沿って各教科用図書の内容を簡略かつ具体的に記述し、各教科用図書の特徴が比較対照できるようにした。

II 調査研究資料の見方について

1 各教科用図書の会社名の記載順序は、発行者の番号順とした。

2 調査研究資料は、調査票Ⅰ（概要）、調査票Ⅱ（各学年）の2つの調査票ごと、記載順序に従って配列してある。

3 調査票Ⅰ「概要」の調査項目は、調査の観点(1)～(5)についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究（数値データ）

① 頁、単元 ② 毛筆、硬筆、硬筆と毛筆の関連 ③ 伝統と文化 ④ 日常生活とのつながり

(2) 具体的な指導事項等について

① 姿勢・用具の持ち方 ② 用具 ③ 筆順・点画 ④ 字形 ⑤ 配列・配置

⑥ 漢字と仮名の調和 ⑦ 硬筆・毛筆との関連

(3) 社会生活や学習活動とのつながり（言語活動例など）

(4) 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

(5) その他の特色について

4 調査票Ⅰ「概要」の調査項目の内容については、学習する学年を示した。学年の記述がないものは共通で学習する内容とした。

5 調査票Ⅱの調査項目は、調査の観点(3)、(5)について検討する際の参考とするためのものである。

6 調査票Ⅰ及び調査票Ⅱの記号について

毛筆は[毛]、小筆は[小]、硬筆は[硬]、フェルトペンは[フ]、サインペンは[サ]、ボールペンは[ボ]、鉛筆は[鉛]、チョークは[チ]、万年筆は[万]、写真は[写]、図版は[図]、表は[表]、学年を超える内容の場合は[超]、として示した。

【調査票Ⅰ】 【2 東書】 (中学校 書写)

概 要

1 概括的な調査研究

○3年間の学習内容が1冊になっている。

	頁数	単元数
巻頭	9	0
1年	40	3
2年	34	4
3年	18	3
資料編	47	8
総頁数	148	18

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
巻頭	0	0	0	1	1	0
1年	3	4	4	2	4	4
2年	0	7	4	2	5	6
3年	3	4	4	1	2	5
資料編	1	3	3	0	4	2
全体	7	18	15	6	16	17

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 毛・図の正しい姿勢(真横)の写と解説, 毛の構え方の写と解説, 毛・図・字の持ち方の図・写と解説がある。(巻頭)
- 机で書く際の望ましくない姿勢の図と解説, 図の悪い持ち方の写と解説がある。(巻頭)
- 「書き初めをしよう」という題材の中で, 図の持ち方, 床の上で書く姿勢, 立って書く姿勢を写で示している。(資料編)

(2) 用具

- 毛の各部の名称の図, 構え方と用具の置き方, 墨のすり方, 後片付けの写・図と解説がある。(巻頭)
- 図の使い方の図と解説がある。(2年)
- 各教材で使用している筆記具の種類をそれぞれの記号で示している。
- 墨・硯・和紙・筆・図・消しゴムが作られる工程を写で示している。(1年)

(3) 筆順・点画

- 毛における楷書の基本的な点画を, 穂先を朱色にした図で示し説明している。(1年)
- 毛の手本の縮小手本を穂先を朱色にした図で示し, 筆使い, 点画のつながりなどを補助線, 記号で示したり, ポイントを書き込んだりする構成になっている。
- 楷書の筆順の決まりと点画のつながり, 誤りやすい筆順の文字(筆順を赤数字で付す)を図で示し説明している。(1年)
- 楷書と行書の図を比較し, 行書の点画の丸み, 点画の連続, 点画の変化, 点画の省略, 筆順の変化について考える課題がある。(1・2年)
- 4つの「行書の動きのパターン」で, 4つのパターンの組み合わせでいろいろな字が行書で書けることを図で示し, 説明している。(1・2年)

(4) 字形

- 毛の手本の縮小手本を穂先を朱色にした図で示し, 字形の整え方を補助線で示している。
- 楷書の字形の整え方について, よい例と悪い例の図を比較し, 違いを考える課題がある。(1年)
- 「字形の仕組み」を, 「文字の外形」「画の長短」「画の方向」「文字の中心」「画の間隔」「点画の接し方・交わり方」「へん・つくり」「たれ」「かまえ」「かんわり・あし」「によう」にポイントを置いて図で示している。
- 手書きの文字と印刷文字の違いについて図で示して説明している。(1年)

(5) 配列・配置

- 毛の手本の上下に記号付し中心を示している。また, 縮小手本を図で示し, 中心線, 余白, 字間, 行間, 文字の大きさなどを示している。
- 硬における行の整え方について, よい例と悪い例の図を比較し, 違いを考える課題がある。(1年)
- 硬における縦書き・横書きそれぞれについて, 行の整え方のポイントを図で示している。(1年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 楷書に調和する仮名を五十音図で示し, 筆使いや字形について考える課題がある。(1年)
- 行書に調和する仮名を五十音図で示し, 筆脈について考える課題がある。(2年)
- 楷書に調和する仮名と行書に調和する仮名の図を比較し筆使いや字形の違いを考える課題がある。(2年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 毛で学んだことを硬で生かすために, 毛の文字を硬でも書くように課題が設定してある。(1・2年)
- 掲示物などを題材に, 毛や各種筆記具それぞれにあふさわしい伝え方があることを図で示している。

3 社会生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

- 日常生活や社会生活に生かせる内容, 身の回りにあるいろいろな文字を取り上げている。
 - ・目標・ポスター・年賀状・はがき・依頼状・封筒・礼状・物語の一節(1年)
 - ・好きな言葉・俳句や短歌・掲示物・メモ・ファクシミリの記事・看板やポスター, しおり・レポート・荷物の送り状・手紙・のし袋・物語の一節(2年)
 - ・看板・文庫・ノート・石碑・道路標識・絵はがきや電子メール・ポスター・文化祭や卒業に向けた制作物・入学願書・物語の一節(3年)
 - ・封筒やはがき・原稿用紙・新聞・資料・書写テスト・書き初め(資料編)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 古典を扱った教材
 - 「竹取物語」「いろは歌」(1年), 「平家物語」「枕草子」(2年), 「おくのほそ道」(3年), 「万葉集」「新古今和歌集」「古今和歌集」(資料編)
- 仮名の成立についてコラムで説明している。(1年)
- 漢字や片仮名, 平仮名の歴史を写・図で示し説明している。(資料編)

5 その他の特色について

- 毛の手本を左ページに, それに対する説明を右ページに配置している(4点)。また, 横幅が広い教科書で, 見開きで半紙大の手本を3点載せている(1年2点, 2年1点)。また, 折り込みで書き初めの手本を載せている。(各学年1点)
- 学習の進め方として, 「目標」を示し, 「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階で設定している。
- 各単元の最後に自己評価をする「振り返ろう」の欄を設定している。
- 学習関連のあるページを示して, 系統的な学習になるようにしている。
- 発展学習として巻末に美術作品に描かれている書を写で紹介し, 高等学校芸術科書道の学習につなげている。(資料編)

〔調査票Ⅰ〕 【11 学図】 (中学校 書写)

概 要

1 概括的な調査研究

○3年間の学習内容が1冊になっている

	頁数	単元数
巻頭	5	0
1年	44	3
2年	32	3
3年	30	1
資料編	11	0
総頁数	122	7

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
巻頭	0	0	0	1	0	1
1年	4	3	5	3	5	2
2年	3	4	5	3	2	4
3年	3	7	11	2	3	13
資料編	1	1	3	0	0	0
全体	11	15	24	9	10	20

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 毛・図の正しい姿勢(斜め前)の図と解説, 毛の構え方, 毛の持ち方の図と解説がある。(巻頭)
- 書き初めの手本の横に, 立って書く姿勢と座って書く姿勢の図がある。(1年)

(2) 用具

- 毛の各部の名称・働き, 墨のすり方の図と解説がある。(巻頭)
- 毛ができるまでの図と解説がある。(3年)
- さまざまな筆記具とそれぞれの書き文字を図で示している。(3年)

(3) 筆順・点画

- 毛における楷書と行書の基本的な点画を, 穂先を朱色にした図で示し説明している。(1年)
- 毛の手本の縮小手本を図で示し, 穂先の通る位置, 筆使い, 点画のつながりなどをかご文字, 補助線で示している。また, 文字には全て赤字で筆順を示している。
- 点画と部分の組み立て, 筆順に気をつけること, 誤りやすい筆順の漢字(筆順を赤字で付す)を図で示し説明している。(1年)
- 楷書と行書の図を比較し, 行書の点画の連続, 点画の変化, 点画の省略, 筆順の変化について示し説明している(1・2年)
- 楷書の許容の書体を図で示している。(資料編)

(4) 字形

- 毛の手本の縮小手本を図で示し, 字形の整え方を補助線, 解説で示している。
- 字形を整え方を, 「文字の中心」「文字の外形」「上下の組み立て」「中と外を組み立て」「左右の組み立て」「接し方・交わり方」「点画の方向」「横画の長短」「画と画の間」にポイントを置いて図で示している。(1年)
- 手書きの文字と印刷文字の違いについて図で示して説明している。(資料編)

(5) 配列・配置

- 毛の手本の上下に記号を付し中心を示している。また, 縮小手本を図で示し, 中心線(縦横), 字間, 行間, 文字の大きさなどを示している。
- 図は, 手本も書き込み欄もマス目になっている。(1・2年)
- 毛の縮小手本には, マス目が示されている。また, 各字の中心や外形, 間隔を赤で示している。(1・2年)
- 罫線やはがき, のし袋に書く時の余白や中心線を赤で示している。(3年)
- 毛で書いた漢字を, マス目のある手本の下に鉛筆で書き込む欄を設けている。(1年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 楷書に調和する仮名の筆圧や筆脈について, 補助線を付した図で説明している。また中心線を付した「いろは歌」の図を示している。(1年)
- 行書に調和する仮名と楷書に調和する仮名の図とを比較し, 筆圧や筆脈について考える課題がある。また, 中心線を付した「いろは歌」の図を示している。(2年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 毛で学んだことを, 図で活用する構成になっている。
- 毛の作品に含まれる漢字を図で書き込む欄が設けられている。(1年)

3 社会生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

- 日常生活や社会生活に生かせる内容, 身の回りにあるいろいろな文字を取り上げている。
 - ・ことわざ・「少年の日の思い出」の一節・書き初め(1年)
 - ・話し合いのメモ・依頼状・聞き取りメモを・お知らせのポスター・書き初め(2年)
 - ・修学旅行の新聞・職業体験に向けての手紙・職業体験のお礼の手紙・年賀状・物の送り状・エアメールの封筒・のし袋・文化祭の横看板
 - ・レポート用紙にメモ・文化祭の横看板・委員会のお知らせポスター・書き初め(3年)
 - ・石碑・記念碑・看板・文化財等(巻頭)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 古典を扱った教材
 - ことわざ(1年), 「竹取物語」(1年), 「枕草子」(2年)
- 和歌を小で短冊に書く, 俳句を小で色紙に書く課題がある。(3年)
- 古典を小で臨書する課題がある。(発展)

5 その他の特色について

- 毛の手本を左ページに, それに対する説明を右ページに配置している(4点)。横幅が広い教科書で, 見開きで半紙大の手本を8点載せている(1年5点, 2年3点)。また, 折り込みで書き初めの手本を載せている。(各学年2点)
- 図は手本の近くに書き込んで練習する欄が設けられている。(1・2年)
- 発展として「古典の臨書」「篆刻」という題材が取り上げられ, 高校書道で扱うことを紹介している。(3年)
- 各単元の最後に「振り返って…」欄があり, 評価の観点を明確に示している。(1年)

概要

1 概括的な調査研究

○3年間の学習内容が一冊になっている。

	頁数	単元数
巻頭	7	0
1年	36	4
2年	26	4
3年	8	2
資料編	41	4
総頁数	118	14

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
巻頭	0	0	1	0	0	0
1年	4	3	2	5	1	2
2年	1	5	0	1	1	3
3年	0	0	0	0	0	3
資料編	1	1	0	0	2	5
全体	6	9	3	6	4	13

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 毛 の正しい姿勢(斜め前)の 写 と解説、 毛・小・鉛 の持ち方の 写 と解説がある。(巻頭)
- 鉛 望ましくない持ち方の 写 がある。(巻頭)
- 書き初めの手本の横に、立って書く姿勢と座って書く姿勢の 写 がある。(資料編)

(2) 用具

- 毛・紙・墨・硯の材料や製造工程の一場面の 写 がある。(資料編)
- 毛筆用の用具の名称と置き方を 図 で示している。(巻頭)
- 墨のすり方、用具の片づけ方の 図 と解説がある。(巻頭)

(3) 筆順・点画

- 毛 における楷書と行書の基本的な点画を、穂先を朱色にした 図 で示し説明している。(1年)
- 毛 の手本の縮小手本を 図 で示し、筆使い、点画のつながり、注意する筆順などを補助線、解説、穂先を朱色にした 図 で示している。
- 点画の組み立て方について、点画をどのように直せば整った文字になるか話し合う課題がある。(1年)
- 筆順の原則と意義について 図 で示し(筆順を赤数字・青数字で付す)説明している。(1年)
- 楷書と行書の 図 を比較し、行書の点画の丸み、点画の連続、点画の変化、点画の省略、筆順の変化について話し合う課題がある。(1・2年)

(4) 字形

- 毛 の手本の縮小手本を 図 で示し、字形の整え方を補助線、記号で示している。
- 文字の整え方について考え、話し合う課題がある。(1年)
- 読みやすい仮名の字形と筆使いについて話し合う課題がある。(1年)
- 字形の整え方を、「中心」「間隔」「方向」「長短」「接し方」「交わり方」「左右」「内外」「外形」にポイントを置いて 図 で示している。(1年)
- 手書きの文字と印刷文字の違いについて 図 で示して説明している。(1年)

(5) 配列・配置

- 毛 の手本の上下に記号を付し中心を示している。また、縮小手本を 図 で示し、中心線、字間、行間、文字の大きさなどを示している。
- 図 における縦書き・横書きそれぞれについて、行の整え方のポイントを 図 で示している。(1年)
- 本を紹介するためのポップのレイアウトを考えて書く課題がある。(1年)
- 文や文章の整え方について考え、話し合う課題がある。(1年)
- 行書を使って文や文章の整え方を考えて、話し合う課題がある。(2年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 読みやすい平仮名の字形や筆使いについて、話し合う課題がある。また、字形と筆使いを確かめるために「いろは歌」の 図 を示している。(1年)
- 楷書で書いた文と行書で書いた文を比較して、行書に調和する仮名の特徴について話し合う課題がある。また、行書に調和する仮名の特徴について確かめるために五十音 図 を示している。(2年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 図 教材を起点にして 毛 教材へとつながり、最後に再び 図 による日常化を図るような展開で各教材を構成している。(1・2年)
- 書く場面・内容などに応じて 図・ 毛 のどちらがふさわしいか考えて書く課題がある。(3年)

3 社会生活や学習活動とのつながり (言語活動例など)

- 日常生活や社会生活に生かせる内容、身の回りにあるいろいろな文字を取り上げている。
 - ・行事目標・ポップ・新聞・本の帯(1年)
 - ・手紙・封筒・メモ・解答欄・立て看板・歌碑・感謝状・色紙・しおり(2年)
 - ・ポスター・ワークシート・プログラム・案内状・冊子(3年)
 - ・ちらし・本の表紙・メモ・ポスター・プレート・電子メール・書作品・ワークシート・プログラム・案内状・色紙・便箋・封筒・はがき・荷物の送り状・のし袋・願書・掲示物・ノート・原稿用紙(資料編)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 古典を扱った教材「いろは歌」
- 「平仮名の字源」「寸松庵色紙」を掲載し、歴史的仮名遣いや平仮名の成立について触れている。(1年)
- 「書の名手たち」として「風信帖」「九成宮醜泉銘」「雑色紙」を紹介している。(2年)
- 「漢字の成り立ち」として「象形」「指事」「会意」「形声」を 図・ 絵を使って解説し、「文字の変遷」として「甲骨文」「金文」「小篆」「隸書」「楷書」「行書」「草書」「平仮名」を 図・ 写 を使って解説している。(資料編)

5 その他の特色について

- 毛 の手本を左ページに、それに対する説明を右ページに配置している(7点)。見開きで半紙大の手本(1点)を載せている(1年)。また、折り込みで書き初めの手本を載せている。(各学年1点)
- 各教材は、「考えよう・話し合おう」→「書いて確かめよう」→「振り返ろう」→「学習のまとめ」→「生活に生かそう」という学習の流れで各教材を構成している。
- 「書き込み欄」を多く設けてあり、課題に気づいたり、考えを確かめたりして、その場で学習に生かすことができるようになっている。
- 資料編として、補助的・発展的に活用できる 図・ 写 を中心とした資料を掲載している。

概 要

1 概括的な調査研究

○3年間の学習内容が1冊になっている。

	頁数	単元数
巻頭	13	0
1年	53	3
2年	35	3
3年	13	3
資料編	28	3
総頁数	142	12

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
巻頭	0	0	0	1	0	1
1年	7	7	9	5	7	9
2年	0	5	9	4	6	8
3年	0	2	4	1	3	4
資料編	4	5	14	0	0	12
全体	11	19	36	11	16	34

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 毛の正しい姿勢(真横)の写と解説, 毛・小・鉛・本の持ち方の写と解説がある。(巻頭)
- 墨の持ち方とすり方の写と解説がある。(巻頭)
- 書き初めの手本の横に, 小の持ち方や構え方, 立って書く姿勢と座って書く姿勢の写がある

(2) 用具

- 毛・硯・墨・紙の材料・作り方・主な産地について写と解説がある。(1年)
- 毛筆用の用具の名称と置き方の写, 用具の片付け方の写と解説, 墨のすり方の写と解説, 毛の各部分名称の写がある。(巻頭)
- 毛・筆ペン・写・伊・本の写と, それぞれで書いた字の写と解説がある。(2年)

(3) 筆順・点画

- 毛における楷書の基本的な点画を, 穂先を朱色にした写で示し説明している。(1年)
- 毛の手本の縮小手本を穂先を朱色にした写で示し, 筆使い, 点画のつながりなどを補助線, 記号, 解説, 写で示したり, ポイントを書き込んだりする構成になっている。また, 文字には数字で筆順を示している。
- 点画の整え方, 筆順の決まり, 筆順に気をつける漢字(筆順を青数字で付す)を写で示し説明している。(1年)
- 楷書と行書の写を比較し, 点画の連続, 点画の変化, 点画の省略, 筆順の変化について考える課題がある。(1・2年)

(4) 字形

- 毛の手本の縮小手本を穂先を朱色にした写で示し, 字形の整え方を補助線, 記号, 解説で示している。
- 字形の整え方を, 「点画の長短」「点画の方向」「画と画の間」「接し方・交わり方」「文字の中心」「文字の外形」「『左右』の組み立て方」「『上下』の組み立て方」「『内外』の組み立て方」にポイントを置いて写で示している。(1年)
- 手書きの文字と印刷文字の違いについて写で示している。(1年)

(5) 配列・配置

- 毛の手本の上下に記号を付し中心を示している。また, 縮小手本を写で示し, 中心線, 余白, 字間, 文字の大きさなどを示している。
- 長い文章を写で書くための枠には, 枠の上下に記号を付し行の中心を示している。

(6) 漢字と仮名の調和

- 楷書に調和する仮名の筆使いを確かめるために「いろは歌」の写を示している。(1年)
- 行書に調和する仮名の筆使いを確かめるために「いろは歌」の写を示している。(2年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 写による「試し書き」からはじまり, 毛の学習のあとに写による「まとめ書き」をして, 両者を比較することで学習の成果を確かめるような展開で各教材を構成している。
- 書く場面・内容などに応じて写・毛を効果的に選択して書く学習を設定している。(3年)

3 社会生活や学習活動とのつながり (言語活動例など)

- 日常生活や社会生活に生かせる内容, 身の回りにあるいろいろな文字を取り上げている。
 - ・原稿用紙・レポート形式・手紙・掲示物(ポスター)・合唱発表会の新聞・案内表示・めくり・短冊・色紙(1年)
 - ・色紙・短冊・書く速さを意識して書く活動・たて看板・黒板・校内掲示物・クラス旗・クラス目標・うちわ・クラスTシャツ・新聞・掲示物
 - ・案内状(2年)
 - ・短冊・卒業カレンダー・メッセージカード(3年)
 - ・手紙・封筒・一筆箋・はがき・往復はがき・包み紙・エメール・原稿用紙・国語のノート・メモ・志願理由書・小包伝票(資料編)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 古典を扱った教材
 - 「竹取物語」(1年), 「枕草子」(2年), 「おくのほそ道」(3年)
- 「いろは歌」で平仮名と片仮名の字源を示している。(1・2年)
- 甲骨文字から続く文字の変遷を写・写で示し説明している。(1年)

5 その他の特色について

- 毛の手本を右ページに, それに対する説明を左ページに配置されている(10点)。見開きで半紙大の手本(1点)を載せている(1年)。また, 折り込みで書き初めの手本を載せている。(各学年1点)
- 単元が「目標」→「考えよう」→「生かそう」→「振り返ろう」という展開で学習が進められるようになっている。「生かそう」では, 毛筆で学んだことを写で書く課題を設定し, 教科書に直接書き込めるようになっている。「振り返ろう」では目標について自己評価できるようになっている。
- 学年で定められた学習内容の他に, さらに学習したいときに対応ができるように「発展」教材を掲載している。
- 各単元に「学習を生かして書く」という課題を複数設定している。
- 資料編は, 「書式の教室」「補充教材集」「小学校で学習した漢字一覧表(行書)」「中学校で学習した漢字一覧表(行書)」から成り, 日常の様々な書字活動の参考になるように構成している。(資料編)

概要

1 概括的な調査研究

○3年間の学習内容が1冊になっている。

	頁数	単元数
巻頭	10	0
1年	24	3
2年	16	3
3年	9	2
資料編	61	0
総頁数	120	8

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
巻頭	1	1	1	0	0	0
1年	3	3	6	6	3	2
2年	0	4	6	4	6	1
3年	0	1	0	0	0	1
資料編	7	8	3	0	0	11
全体	11	17	16	10	9	15

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- の正しい姿勢(真横と真正面)のと解説(8つのチェック項目にレ点を書き込む形)、・の持ち方のと解説がある。(巻頭)
- 書き初めの手本の横に、・持ち方の、立って書く姿勢と座って書く姿勢のがある。(資料編)

(2) 用具

- 墨のすり方のと解説がある。(1年)
- 毛筆用の用具の名称、置き方、筆の各部位の名称、片付け方のと解説がある。(巻頭)
- ・紙・墨・硯ができる工程のと解説がある。(資料編)

(3) 筆順・点画

- の楷書の基本的な点画について、穂先を朱色、筆圧を3段階の数字(2年生は強弱)で示している。(1・2年)
- の手本の縮小手本を穂先を朱色にしたで示し、筆使い、点画のつながりなどを補助線、解説で示したり、ポイントを書き込んだりする構成になっている。
- 点画のつながり、点画の組み立て方、間違えやすい筆順(筆順を青数字で付す)をで示し説明している。(1年)
- 楷書と行書のを比較し、点画の連続、点画の変化、点画の省略、筆順の変化について考える課題がある。(1・2年)
- 3年間のまとめとして、筆順や画数、作品の整え方を問う選択形式の問題を載せている。(3年)

(4) 字形

- 小学校での既習事項として、文字の外形と中心、点画の組み立て方、部分の組み立て方を示している。(巻頭)
- の手本の縮小手本をで示し、字形の整え方を、補助線、記号、解説で示したり、ポイントを書き込んだりする構成になっている。
- 字形の整え方を、「文字の外形と中心」「点画の方向」「画の長さ」「点や画の間」「画の接し方」「左右」「上下」「内外」にポイントを置いてで示している。(1年)
- で部分別行書一覧を示している。(資料編)

(5) 配列・配置

- の手本の上下に記号で中心を示している。また、縮小手本をで示し、中心線、余白、字間、行間、文字の大きさなどを示したり、ポイントを書き込んだりする構成になっている。
- における縦書き・横書きそれぞれについて、行の整え方のポイントをで示している。(1年)
- 長い文章をで書くための枠には、枠の上下に記号を付し行の中心を示している。

(6) 漢字と仮名の調和

- 楷書に調和する仮名の筆使い、字形を確かめるために、補助線、記号、解説を付した「いろは歌」のを示している。(1年)
- 楷書に調和する仮名の特徴を確かめるために、補助線、記号、解説を付した「いろは歌」のを示している。(2年)
- 楷書との調和は、で手本を見ずに書かせてから、手本と比較させ、自分の課題を自分でとらえさせる構成になっている。(1年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- の手本の隅に、その字をで書く欄を設けている。さらに同じ部首・点画を持つ他の字をなぞる欄も設けている。(1・2年)
- 同じ文字または同じ要素をもつ文字をとで書く課題を設定している。(1・2年)
- で取り上げた行書の特徴を、なぞり書きによりでも確認できるようにしている。(1・2年)

3 社会生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

- 日常生活や社会生活に生かせる内容、身の回りにあるいろいろな文字を取り上げている。
 - ・職業体験に関する手紙(縦書き・横書き)・封筒(縦書き・横書き・エアメール)・はがき・往復はがき・荷物の送り状・入学願書・のし袋・原稿用紙・ポスター・レポート・新聞・リーフレット・フリップ・本の紹介カード・本の帯・しおり・ポップ・読書記録・応援旗・鉢巻き・うちわ・立て看板・ポスター・備品・黒板メッセージ・色紙・感謝状・プロフィールカード(資料編)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 古典を扱った教材
 - 「いろはうた」「四字熟語(含む・故事成語)」「目には青葉山ほととぎす初がつを」「さくらさくら」「与謝野晶子の短歌」(1年)
 - 「中村汀女の名句」「持統天皇の短歌」「与謝蕪村の名句」「大江千里の和歌」「正岡子規の俳句」「坂上是則の短歌」「平家物語 扇の的」「枕草子」(2年)
- コラム「文字の歴史を探る」で、漢字の始まりや、文字が何に書かれてきたかなどを、で例を挙げて示している。

5 その他の特色について

- の手本を左ページに、それに対する説明を右ページに配置している(8点)。見開きで半紙大の手本を載せている(1年1点)。また、折り込みで書き初めの手本を載せている(各学年1点)。
- 書き込こんだり、問題に答えたりなど、ワークシートとしての機能を併せ持つ。
- 巻末に「毛筆補充教材」が12点載っている。(資料編)
- 課題に対する評価の観点が表示され、振り返りができるようになっている。
- 発展として、中国や日本の優れた先人の手書き文字を紹介し、その筆跡に触れる学習を取り入れている。

【調査票Ⅱ】 【11 学図】 (中学校 書写)

1 年	2 年	3 年
<p>【巻頭】 ◇身のまわりの書き文字を探そう ①(碑、看板など) ②(毛筆で書くとき) ③(姿勢・構え・持ち方・用具の名称・墨のすり方) ④(筆の名称と動き・筆の種類) ⑤(硬筆で書くとき) ⑥(姿勢・持ち方)</p> <p>◇学習の進め方 ⑦(書字の様子) ⑧(書字の面に確認しよう) ⑨(毛筆で書くとき) ⑩(姿勢・構え・持ち方・用具の名称・墨のすり方) ⑪(筆の名称と動き・筆の種類) ⑫(硬筆で書くとき) ⑬(姿勢・持ち方)</p> <p>一 楷書を書く ○(字の形を整えて書こう) ①(文字の形と部分)「天地」 ②(筆順や字形)「登頂成功」 ③(基本的な点画の復習) ○(硬筆で書いてみよう) ④(毛筆の学習を生かして、字形を整えて書こう) ⑤(毛筆の学習を生かして、筆順に気をつけて書こう) ⑥(線の学習を生かして、筆順に気をつけて書こう) (書写の意) 鑑賞 丸成宮體泉銘 ⑦</p> <p>二 楷書と仮名を書く ○(仮名)「いろは歌」 ○(楷書に調和する仮名) ①(楷書と仮名を調和させる)「ぶなの森」 ②(楷書と仮名を調和させる)「ぶなの森」 ○(硬筆で書いてみよう) ③(毛筆の学習を生かして、楷書と仮名を調和させる)「ぶなの森」 (書写の意) 時代と文字 ④</p> <p>三 行書を書く ○(行書の特徴を理解して書こう) ①(行書の連続と変化)「栄光」 ②(点画の連続と変化)「草原」 ③(省略 筆順の変化)「草原」 ④(行書の基本的な点画) ○(硬筆で書いてみよう) ⑤(毛筆の学習を生かして、点画の連続や変化に注意して書こう) ⑥(毛筆の学習を生かして、点画の省略と筆順の変化に注意して書こう)</p> <p>⑦(細かいよう)一年間で学習したことを意識して活用しよう ⑧(文字の形と部分) ⑨(筆順) ⑩(楷書に調和する仮名(竹取物語)) ⑪(点画の連続と変化) ⑫(点画の省略と筆順の変化) ⑬(点画の省略と筆順の変化) (書写の意) 書き文字と活字 ⑭ (書写の意) 蘭亭序 ⑮ ○(書き初めをしよう) ⑯(輝け未来) (字形を整える) 楷書と仮名の調和 ⑰(自主独立) (点画の連続 変化 省略 筆順の変化) 見開き教材</p>	<p>四 楷書を復習しよう ○(字形を整えよう)「山紫水明」 ①(字形を整える) ②(文字の形 点画と部分の組み立て) 筆順 配位 ③(文字のつながり) 筆圧 漢字と仮名の大きさ) 理想は高く! ○(硬筆で書いてみよう) ④(毛筆の学習を生かして、文学作品を書こう)「少年の日の思い」より</p> <p>五 行書を探めよう ○(行書の特徴を理解する) ①(点画の連続 変化)「雲海」 ②(点画の省略 筆順の変化)「紅葉林道」 ○(硬筆で書いてみよう) ③(毛筆の学習を生かして、様々な行書体を硬筆で書いてみよう)</p> <p>六 行書と仮名を書く ○(楷書に調和する仮名との違いに注意して書こう) ①(行書と仮名の調和)「親しい友」 ②(筆順 終筆の変化) ③(行書に調和する仮名)「いろはうた」 ○(硬筆で書いてみよう) ④(毛筆の学習を生かして、行書と楷書を書こう)「枕草子」より ⑤(行書・楷書を選んで書こう) 話し合いのメモ・依頼状 ⑥(点画の連続) (点画の変化) (筆順) ⑦(細かいよう) 一年間で学習したことを意識して活用しよう ⑧(楷書に調和する仮名) 行書と仮名を調和させよう ⑨(行書・楷書を選んで書こう) 話し合いのメモ・依頼状 ⑩(書き取りメモ) ⑪(お知らせのポスター) ⑫(書き初めをしよう) ⑬(目標達成) (楷書 字形を整える) ⑭(宇宙の神秘) (行書 点画の連続 変化 省略 筆順の変化 行書と仮名の調和) 見開き教材</p>	<p>七 書写を生かそう ○(毛) (今までに学習したことを振り返ろう) ①(楷書 配位)「心のふれ合い」 ②(行書 配位)「全力を尽くす」 ○(毛) (いろいろな筆具)「修学旅行新聞」「卒業の色紙」「職業体験の依頼書」「お礼状」「封筒」「はがき(年賀状)」「送り状」「エアメール」 ③(毛) (作品を作ろう) ④(毛) (短歌) (与謝野晶子の短歌)「色紙」(小林一茶の俳句) ⑤(毛) (書き初めをしよう) ⑥(毛) (書き初めをしよう) ⑦(毛) (書き初めをしよう) ⑧(毛) (書き初めをしよう) ⑨(毛) (書き初めをしよう) ⑩(毛) (書き初めをしよう) ⑪(毛) (書き初めをしよう) ⑫(毛) (書き初めをしよう) ⑬(毛) (書き初めをしよう) ⑭(毛) (書き初めをしよう) ⑮(毛) (書き初めをしよう) ⑯(毛) (書き初めをしよう) ⑰(毛) (書き初めをしよう) ⑱(毛) (書き初めをしよう) ⑲(毛) (書き初めをしよう) ⑳(毛) (書き初めをしよう) ㉑(毛) (書き初めをしよう) ㉒(毛) (書き初めをしよう) ㉓(毛) (書き初めをしよう) ㉔(毛) (書き初めをしよう) ㉕(毛) (書き初めをしよう) ㉖(毛) (書き初めをしよう) ㉗(毛) (書き初めをしよう) ㉘(毛) (書き初めをしよう) ㉙(毛) (書き初めをしよう) ㉚(毛) (書き初めをしよう) ㉛(毛) (書き初めをしよう) ㉜(毛) (書き初めをしよう) ㉝(毛) (書き初めをしよう) ㉞(毛) (書き初めをしよう) ㉟(毛) (書き初めをしよう) ㊱(毛) (書き初めをしよう) ㊲(毛) (書き初めをしよう) ㊳(毛) (書き初めをしよう) ㊴(毛) (書き初めをしよう) ㊵(毛) (書き初めをしよう) ㊶(毛) (書き初めをしよう) ㊷(毛) (書き初めをしよう) ㊸(毛) (書き初めをしよう) ㊹(毛) (書き初めをしよう) ㊺(毛) (書き初めをしよう) ㊻(毛) (書き初めをしよう) ㊼(毛) (書き初めをしよう) ㊽(毛) (書き初めをしよう) ㊾(毛) (書き初めをしよう) ㊿(毛) (書き初めをしよう)</p> <p>(書写の意) 発展 ①(毛) (書き初めをしよう) ②(毛) (書き初めをしよう) ③(毛) (書き初めをしよう) ④(毛) (書き初めをしよう) ⑤(毛) (書き初めをしよう) ⑥(毛) (書き初めをしよう) ⑦(毛) (書き初めをしよう) ⑧(毛) (書き初めをしよう) ⑨(毛) (書き初めをしよう) ⑩(毛) (書き初めをしよう) ⑪(毛) (書き初めをしよう) ⑫(毛) (書き初めをしよう) ⑬(毛) (書き初めをしよう) ⑭(毛) (書き初めをしよう) ⑮(毛) (書き初めをしよう) ⑯(毛) (書き初めをしよう) ⑰(毛) (書き初めをしよう) ⑱(毛) (書き初めをしよう) ⑲(毛) (書き初めをしよう) ⑳(毛) (書き初めをしよう) ㉑(毛) (書き初めをしよう) ㉒(毛) (書き初めをしよう) ㉓(毛) (書き初めをしよう) ㉔(毛) (書き初めをしよう) ㉕(毛) (書き初めをしよう) ㉖(毛) (書き初めをしよう) ㉗(毛) (書き初めをしよう) ㉘(毛) (書き初めをしよう) ㉙(毛) (書き初めをしよう) ㉚(毛) (書き初めをしよう) ㉛(毛) (書き初めをしよう) ㉜(毛) (書き初めをしよう) ㉝(毛) (書き初めをしよう) ㉞(毛) (書き初めをしよう) ㉟(毛) (書き初めをしよう) ㊱(毛) (書き初めをしよう) ㊲(毛) (書き初めをしよう) ㊳(毛) (書き初めをしよう) ㊴(毛) (書き初めをしよう) ㊵(毛) (書き初めをしよう) ㊶(毛) (書き初めをしよう) ㊷(毛) (書き初めをしよう) ㊸(毛) (書き初めをしよう) ㊹(毛) (書き初めをしよう) ㊺(毛) (書き初めをしよう) ㊻(毛) (書き初めをしよう) ㊼(毛) (書き初めをしよう) ㊽(毛) (書き初めをしよう) ㊾(毛) (書き初めをしよう) ㊿(毛) (書き初めをしよう)</p> <p>【資料】 ①(楷書のいろいろな書き方) (点画の長短 点画の方向 点画をつける・離す 点画を止める・はねる 点画を止める・はなす) ②(楷書の比較) ③(楷書の比較) ④(楷書の比較) ⑤(楷書の比較) ⑥(楷書の比較) ⑦(楷書の比較) ⑧(楷書の比較) ⑨(楷書の比較) ⑩(楷書の比較) ⑪(楷書の比較) ⑫(楷書の比較) ⑬(楷書の比較) ⑭(楷書の比較) ⑮(楷書の比較) ⑯(楷書の比較) ⑰(楷書の比較) ⑱(楷書の比較) ⑲(楷書の比較) ⑳(楷書の比較) ㉑(楷書の比較) ㉒(楷書の比較) ㉓(楷書の比較) ㉔(楷書の比較) ㉕(楷書の比較) ㉖(楷書の比較) ㉗(楷書の比較) ㉘(楷書の比較) ㉙(楷書の比較) ㉚(楷書の比較) ㉛(楷書の比較) ㉜(楷書の比較) ㉝(楷書の比較) ㉞(楷書の比較) ㉟(楷書の比較) ㊱(楷書の比較) ㊲(楷書の比較) ㊳(楷書の比較) ㊴(楷書の比較) ㊵(楷書の比較) ㊶(楷書の比較) ㊷(楷書の比較) ㊸(楷書の比較) ㊹(楷書の比較) ㊺(楷書の比較) ㊻(楷書の比較) ㊼(楷書の比較) ㊽(楷書の比較) ㊾(楷書の比較) ㊿(楷書の比較)</p>

【調査票Ⅱ】 【15 三省堂】 (中学生 書写)

1 年	2 年	3 年
<p>【巻頭】</p> <p>○目次</p> <p>○自分の文字や書き方をよりよくするために</p> <p>○望ましい姿勢と筆記具の持ち方</p> <p>一 楷書の書き方を確かめよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(文字の整え方を確かめよう)「泉」 2 図(筆使いを確かめよう) 3 図(楷書の筆使い、毛筆のポイント)「春光」 4 図(文字の中心、画の間隔、画の方向)「若枝」 5 図(比較) 6 図(学習のまとめ)「朗月」「新緑」 7 図(学習のまとめ)「竹取物語」 8 図(文字形・横書き) <p>二 生活に生かそう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(楷書) 2 図(特徴) 3 図(連続・丸みを確かめながら書こう)「名作」 4 図(筆順の連続・直接連続) 5 図(終筆の変化・方向の変化) 6 図(学習のまとめ)「文化としての「書く」」 7 図(行書の特徴)「書き初め」 <p>四 生活に生かそう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(楷書) 2 図(行書) 3 図(楷書) 4 図(行書) 5 図(楷書) 6 図(行書) 7 図(楷書) 8 図(行書) 9 図(楷書) 10 図(行書) 	<p>五 行書を使いこなそう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(行書の特徴と筆使いを確かめよう)「再会」 2 図(行書の特徴・筆使い) 3 図(省略・筆順の変化を確かめながら書こう)「雪花」 4 図(省略・筆順の変化) 5 図(学習のまとめ) 6 図(行書のポイント) 7 図(行書に調和する仮名の特徵を見つげよう) 8 図(短歌(石川啄木))「五十音図(片仮名・平仮名)」 9 図(行書に調和する仮名) 10 図(毛筆)「文や文章の整え方を確かめよう」 11 図(自然を楽しむ) 12 図(整え方) 13 図(毛筆)「学習のまとめ」 14 図(渡部潤一)「人間は他の星に住むことができるのか」 15 図(内海隆一郎)「小さな手袋」の一篇 16 図(課題) <p>六 生活に生かそう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(手紙を書こう) 2 図(手紙文・封筒) <p>七 書体を使い分けよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(生活の場面と書体について考えよう) 2 図(楷書と行書の使い分け・メモ・テスト) 3 図(学習のまとめ) 4 図(歌碑) 5 図(身の回りの調査) <p>八 生活に生かそう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(座右の銘を書こう) 2 図(座右の銘) 3 図(風信帖)「空海」 4 図(王羲之)「蘭亭序」 	<p>九 効果的に書こう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(身のまわりの文字の工夫を見つげよう) 2 図(身のまわりの文字) 3 図(学習のまとめ) 4 図(ポスター・ワークシート・プログラム・案内状) 5 図(身のまわりの文字) <p>十 生活に生かそう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図(卒業記念冊子を作ろう) 2 図(書写学習の活用・書写技能) <p>【資料編】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日常の書式①(便箋と封筒の書き方・事項の挨拶など) 2 日常の書式②(荷物の送り状・のし袋・願書の書き方) 3 日常の書式③(荷物の送り状・のし袋・願書) 4 日常の書式④(掲示物の書き方) 5 日常の書式⑤(掲示物のレイアウト・フェルトペンの使い方) 6 日常の書式⑥(ノート・原稿用紙の書き方) 7 書き初め1年(行書・楷書)「輝く生命」「日進月歩」 8 文字の整理(漢字の主な成り立ち・文房四宝) 9 折り返し資料 図(書き初めの概略・姿勢・書き初めのルール) 10 折り返し資料 図(成り立ち・書体・筆・紙・硯・硯・硯・硯) 11 楷書・行書一覽表(小学校で学習した漢字・中学校で学習する漢字) 12 楷書・行書一覽表(小学校で学習した漢字・中学校で学習する漢字) 13 書き初め2年(行書・楷書)「悠る思い」「大望を抱く」「温故知新」「平和の鐘」 14 折り返し資料 図(書き初めの概略・書き初めのルール) 15 書き初め2年(行書・楷書)「旅立ちの時」「三山遊我心」 16 折り返し資料 図(姿勢・作文) 17 折り返し資料 図(ケーキ・手紙・スティープ・ジョブズ・カリグラフィアー・フォント)

【調査票Ⅱ】 【17 教出】 (中学校 書写)

1 年	2 年	3 年
<p>【巻頭】</p> <p>○目的に合わせさせて書く ①色 ②図 ③表 ④図 ⑤図 ⑥表 ⑦図 ⑧表 ⑨図 ⑩表 ⑪図 ⑫表 ⑬図 ⑭表 ⑮図 ⑯表 ⑰図 ⑱表 ⑲図 ⑳表 ㉑図 ㉒表 ㉓図 ㉔表 ㉕図 ㉖表 ㉗図 ㉘表 ㉙図 ㉚表 ㉛図 ㉜表 ㉝図 ㉞表 ㉟図 ㊱表 ㊲図 ㊳表 ㊴図 ㊵表 ㊶図 ㊷表 ㊸図 ㊹表 ㊺図 ㊻表 ㊼図 ㊽表 ㊾図 ㊿表</p> <p>○姿勢と用具の使い方の ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>○「ふしぎ」 ①金 ②金 ③金 ④金 ⑤金 ⑥金 ⑦金 ⑧金 ⑨金 ⑩金 ⑪金 ⑫金 ⑬金 ⑭金 ⑮金 ⑯金 ⑰金 ⑱金 ⑲金 ⑳金 ㉑金 ㉒金 ㉓金 ㉔金 ㉕金 ㉖金 ㉗金 ㉘金 ㉙金 ㉚金 ㉛金 ㉜金 ㉝金 ㉞金 ㉟金 ㊱金 ㊲金 ㊳金 ㊴金 ㊵金 ㊶金 ㊷金 ㊸金 ㊹金 ㊺金 ㊻金 ㊼金 ㊽金 ㊾金 ㊿金</p> <p>一 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>二 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>三 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p>	<p>○目次</p> <p>一 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>二 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>三 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p>	<p>○目次</p> <p>一 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>二 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p> <p>三 ①毛 ②毛 ③毛 ④毛 ⑤毛 ⑥毛 ⑦毛 ⑧毛 ⑨毛 ⑩毛 ⑪毛 ⑫毛 ⑬毛 ⑭毛 ⑮毛 ⑯毛 ⑰毛 ⑱毛 ⑲毛 ⑳毛 ㉑毛 ㉒毛 ㉓毛 ㉔毛 ㉕毛 ㉖毛 ㉗毛 ㉘毛 ㉙毛 ㉚毛 ㉛毛 ㉜毛 ㉝毛 ㉞毛 ㉟毛 ㊱毛 ㊲毛 ㊳毛 ㊴毛 ㊵毛 ㊶毛 ㊷毛 ㊸毛 ㊹毛 ㊺毛 ㊻毛 ㊼毛 ㊽毛 ㊾毛 ㊿毛</p>

【調査票Ⅱ】 【38 光村】 (中学校 書写)

1 年	2 年	3 年
<p>【巻頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文字と出会う ○中学校三年間の見通しをもちょう 三年間の目標 目次 学習の流れ ○国・図(書くときの姿勢)(筆記用具の持ち方)(用具の扱い)(方)(国)(書くときの姿勢)(大筆・小筆・鉛筆の持ち方)(用具や筆の各部の名称)(用具の配置)(片付け方) ○国(点画の種類と筆使い)(小学校の学習の確認) 国(点画の種類と筆使い)(筆先の向き・筆圧・線の本数) ○(字形の覚え方)(小学校の学習の確認) 国(文字の外形と中心)(点画の組み立て方)(部分の組み立て方) ○(読みやすくと配列のために) 国(文字の大きさと配列)(用紙の大きさと対する文字の大きさと配列)(情報による文字の大きさと配列)(筆記用具の選択) <p>1 楷書の書き方を確かめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国(楷書の筆使い) ○国(漢字の筆使い) ○国(漢字の字形) 国(字形を整えて書くポイント) 書き込み式「青葉」 国(文字の外形と中心)(点画の組み立て)(部分の組み立て)(間違えやすい筆順) <p>2 楷書に仮名を交えて書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国(平仮名の筆使いと字形) 国(平仮名の筆使いと字形)(平仮名の字源)「いろはうた」 国(黒のすり方) ○国(簡易やすく書くポイント) 書き込み式「目」には青葉山ほことぎす初がっお(山口素直の俳句) 国(楷書と仮名のまとも) 国(形みきご「あ」の仮名の扱い)より(金折りて手本を臨む教材) 国(楷書の書き方)(速く書くとき)(片仮名の筆使い) <p>コラム(文字の歴史を探る)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国(篆書・隸書・草書・行書・楷書・平仮名・片仮名と文字の時代のよる変遷) <p>3 行書の書き方を学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国(行書の特徴) 国(行書の「緑」・楷書の「緑」の比較による違い) 国(行書の特徴) 国(でなぞり書き) 緑「折り込み教材」 国(点画の方向や形の变化) 国(行書の「木立」・楷書の「木立」の比較による違い)(点画の方向や形の变化)(国)でも書く) 国(行書の練習1) 国(点画の方向や形の变化のしかた) なぞり書き(点画の連続のしかた) なぞり書き) <p>コラム(季節のしおり 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国(「さくらさくら」)と(高野畠子の短歌)「高野原之「紅葉」」「高村光太郎「冬が来た」」 <p>国(書き初め)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国(不慣れた「将来の夢」折り込み教材) 	<p>1 行書の書き方を学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国(点画の省略) 国(省略箇所の指し指簡) 書き込み式「調和」 ○国(筆順の変化) 国(筆順の確認) 書き込み式「紅花」 国(行書の練習) 国(行書の部分の書き方) なぞり書き 書き込み式「無我夢中・起承転結・温故知新・晴雨詩話」 <p>2 行書に仮名を交えて書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国(行書と仮名の調和) 国(楷書と行書に調和する仮名の筆派と筆圧の変化)「砂山に雨の消えゆく音」 ○国(筆派の確認) なぞり書き) 国(夕映えの空) ○国(行書に調和する仮名) 国(始筆・終筆の変化) 点画のつながり)「いろは歌」 ○国(行書と仮名のまとも) 国(行書に調和する仮名の筆派)「いろはうた」 国(行書と仮名の調和)「調和的」 ○国(目的と相手) 筆記具「ボスターの見出し」 ○国(筆跡のしおり 2) <p>コラム(季節のしおり 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国(春はあけぼの)。やうやう白くなくゆく山ぎは、すこしあかりて、祭だちたる雲のほそくたなびきたる(薄少納言 枕草子)「外にも出よ触るばかりに春の月(中村行文)「春過ぎて夏来るらし白たへの衣干したり天の香具山(持統天皇)「夏河を越すうしろに草履(与謝蕪村)「月見ればちがに物こそ悲しけれわが身にひとつの秋にはあらねど(大江千里)「赤穂給前波に雲もなかりけり(正岡子規)「国境の長いトンネルを抜けると赤国であつた。夜の底が白くなった。」「(川端康成「雪国)」「あさぼらけ有明けの月と見るまでに吉野の里に降れる白雪(坂上忠則)」 <p>国(書き初め)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国(新たな目標)「大志を抱く」折り込み教材 	<p>1 目的に応じて効果的に書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文字を効果的に使うために(ゴシック体 明朝体 手書き文字の特徴と効果) 国(国)文字の特徴と使用効果」(コラム) デザインと文字) 国・国・国 <p>2 学習したことを生かして書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三年間のまとめ(既習事項を確認する) 書き込み式 国(点画の変化) 筆順の変化) 点画の省略) ひらがなと元になった漢字の配置に関する問い) ○国(未来に向かおう) (篆刻) CDのラベル) 成長日記) 展示用作品) 国(国) 輝ける未来へ) <p>国(発展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国(先人の文字に学ぶ) 国(「意風」)「蘭字序」「ひと」「高野切第三種」 国(書き手による違い)「道」「風」 ○国(書き初め) 国(無限の可能性)「初富士を望む」折り込み教材 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目録の書き方 「手紙」 国(縦・横) 手紙の構成・頭語と結語・時候のあいさつ)「封筒」 国(縦・横) エアメール・国(名前)前の書き方・英文の住所・一筆箋)「はがき」 国(表) 往復 年賀状・都道府県行書一覽)「送り状」 国(国) 願書」 国(のし袋) 国(原稿用紙の使い方) ○活用のヒント 「情報を集めて、整理する」 国(マッピング・アンケート・インタビュー・ゲーム・付箋・横断ノート・郵便のないう用紙の結書きメモ)「情報を活用する」 国(ボスター)レポポスター・表・グラフ・新聞・リーフレット・フリップ)「読書記録を豊かにする」 国(国) (紹介カード・本の帯・しおり・ポップ・読書記録)「学校行事を盛り上げる」 国(国) (体育祭・卒業式・文化祭) 国(国) (辞書)「筆・紙・墨・硯」が利用できるまで) ○国(国) (常用漢字一覽表) 国(楷書と行書)「平仮名(楷書に調和する仮名)と行書に調和する仮名)・片仮名(楷書に調和する仮名)と行書に調和する仮名)」 国(国) (部分別行書一覽) (楷書・行書三種類) <p>コラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 手書きの力 国(谷川俊太郎 明日)「毛筆補充教材」 国(探求・花鳥風月・愛わらぬ友情・いろはうた)楷書・いろはうた)行書・拙・銀河・静かな海・流れる雲)

令和2年度使用

中学校教科用図書採択参考資料

社 会

地理的分野

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	地理 725
17 教 出	地理 726
46 帝 国	地理 727
116 日 文	地理 728

歴史的分野

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	歴史 729
17 教 出	歴史 730
35 清 水	歴史 731
46 帝 国	歴史 732
116 日 文	歴史 733
225 自由社	歴史 737
227 育鵬社	歴史 735
229 学び舎	歴史 738

公民的分野

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	公民 929
17 教 出	公民 930
35 清 水	公民 931
46 帝 国	公民 932
116 日 文	公民 933
225 自由社	公民 927
227 育鵬社	公民 934

社 会 (地理的分野・歴史的分野・公民的分野)

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査教科用図書

(1) 地理的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 116 日文

(2) 歴史的分野

2 東書 17 教出 35 清水 46 帝国 116 日文 225 自由社 227 育鵬社
229 学び舎

(3) 公民的分野

2 東書 17 教出 35 清水 46 帝国 116 日文 225 自由社 227 育鵬社

2 調査研究の観点

- (1) 内容が、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得、言語活動や社会参画の視点や伝統や文化に関する教育の充実など、公民的資質の基礎を養ううえで、適切なものであるか。
- (2) 内容の程度が、生徒の発達段階や生活や経験及び興味や関心に応じているものであり、課題を解決する能力を培うような探究的な学習内容が適切に取り上げられているか。
- (3) 内容の構成・配列が、各分野の単元における事実・事象及び資料を系統的、発展的に構成したものであり、その組織及び相互の関連は適切であるか。
- (4) 内容が、生徒の住む地域の実態を生かしつつ、多面的・多角的な学習が進められるように配慮がなされているか。
- (5) 文字や記号の表記や表現が適切で分かりやすく、写真、統計、地図、読み物その他の資料などが信頼性のある適切なものであるか。

3 調査研究の基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公正な立場で調査研究を行った。
- (2) 調査研究は教科用図書全体を対象として行うが、各社の共通した単元等を取り上げて、各教科用図書の特徴がとらえやすいように配慮した。
- (3) 記述に当たっては、調査員の主観に陥らないように、教科用図書の記述に即し具体的に取り上げ、調査員で協議しながら調査研究を行った。
- (4) 採択関係者が分かりやすいように、各社の教科用図書を比較して見ることができるよう配慮した。
- (5) 調査研究資料の作成に当たっては、学習指導要領の社会科改定の趣旨や要点等を踏まえ、項目を設定し、この項目にそって各教科用図書の内容等を簡略に記述した。また、各分野における調査する単元に偏りが生じないように配慮した。

II 調査研究資料の見方について

- 1 各教科用図書の会社名の記載の順序は、発行者の番号順とした。
- 2 調査研究資料は、「地理的分野」調査票 I、「歴史的分野」調査票 I、「公民的分野」調査票 I からなっている。
- 3 調査票 I の調査項目は、各分野とも学習指導要領に基づき、観点を焦点化した項目を設定した。
 - (1) 教科書の配列に従って、ページ数や人物、地図やグラフ、課題解決学習やコラムの扱いを数で示し、教科書全体の概要をとらえられるように配慮した。
 - (2) 3つの分野に共通の項目として、「言語活動」「課題解決的な学習」「文字や記号の表記や表現について」と「身近な地域に関わる学習」について、「山梨県の社会的事象」を設定した。
 - (3) 地理的分野は、「作業的な学習」を、歴史的分野は、「我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習」を、公民的分野は、「対立と合意、効率と公正」の項目を設定し、各分野の学習の特色がわかるようにした。
 - (4) 各分野の「内容とその扱いについて」は、各学習内容を焦点化した項目を設定した。
- 4 記述は、原則として原文の通りである。

【調査票 I】 【2 東書】 (中学校 社会・地理的分野)

概 要

1 概括的な調査研究

		頁	割合	技能 習得	課題 学習	コラム	説明・注	新聞 記事	統計・ グラフ	写実 物資料	地図	図表等
世 界	地域構成	16	6%	4	7	7	1	0	2	22	16	6
	生活環境	22	8%	3	9	8	7	0	6	71	4	1
	諸地域	72	26%	4	23	13	66	0	45	166	59	2
	地域調査	12	4%	10	0	10	0	0	7	11	6	8
日 本	地域構成	14	5%	2	5	6	4	0	1	22	31	1
	地域特色	36	13%	2	14	9	39	0	33	65	33	6
	諸地域	87	32%	0	35	22	46	0	54	200	71	12
	地域調査	18	6%	11	0	9	0	2	4	17	8	5
合 計		277	100%	36	93	84	163	2	152	574	228	41

2 作業的な学習(課題解決的な学習)の扱いについて

- 「地理スキルアップ」や「調査の達人」で、学習に必要な基礎的・基本的な技能を系統的に学ぶための課題が設定されている。
- 「学習課題」が小単元の始めに示されている。○「ためてみよう」で、その時間の導入的な学習に主体的に取り組める課題が設定されている。
- 「えんぴつマーク」で、授業中に学習を深めるのに適した作業や活動が設定されている。
- 各節の終わりの「深めよう」の中の「トライ」で、その節の学習内容を基礎として、学習をさらに掘り下げる課題が設定されている。

3 言語活動(地図を活用して説明する力等)の扱いについて

- 各小単元の終わりの「確認」で、授業で学んだ知識や技能を活用しながら言語活動によって学習内容をまとめる課題が多く設定されている。
- 各章末の「この章の学習を確認しよう」で、その章で学習した用語や学習内容を説明する設問が設定されている。
- 調査学習の単元(第1編第4章、第2編第4章)において、調査結果を発表し合い、意見を述べ合う場面が設定されている。

4 文字や記号の表記や表現について

- AB判で、多くの内容が表記できるように工夫してある。ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。偶数ページの最下段に、各章のタイトルが記載されている。また、世界遺産や国宝、重要文化財の紹介には統一した記号表記がなされている。
- 注での語句説明を用いず、「地理にアクセス」などのコラムで説明をしている。巻末にも用語解説のページがある。

5 内容とその扱いについて

(1) 「世界各地の人々の生活と環境」の生活と宗教の扱い

- 第1編2章の「現代に生きる古くからの町並み」で、キリスト教の大聖堂について記述がある。コラム「サヘルと宗教」で、イスラム教について扱う。「人々の生活に根付く宗教」で三大宗教とヒンドゥー教について扱う。コラム「日本人の生活と宗教の関わり」で、日本人と宗教の関わりについての記述がある。章末の読み物「イスラム教と人々の暮らし」で、イスラム教について扱う。○第1編3章「2ヨーロッパ州」で、キリスト教の宗派について扱う。

(2) 「世界の諸地域」の世界の6州のそれぞれの「主題例(テーマ)」

アジア	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	オセアニア
急速に進む成長と変化(民族と産業)	国どうしの統合による変化(結びつきと課題)	特定の生産品にたよる生活からの変化(歴史と産業)	盛んな農業や工業の特色(自然と文化)	開発の進展と環境問題(自然と環境問題)	強まるアジアとの結びつき(産業と結びつき)

- 各州の特色として、自然・歴史・文化・民族・産業などを取り上げ、設定されている「主題」以外の学習内容についても扱われている。

(3) 「世界の様々な地域の調査」の扱い

- 韓国を例にしている。テーマは「韓国の食文化の背景」

- ・情報を集めて調査テーマを決めよう(コラム:視点を持って地域を調べよう・ウェブマッピングを作ろう) ・調査の準備をしよう(コラム:インターネットを活用しよう・「なぜ」という疑問に対する理由を考えよう・調査計画を立てる) ・調査をしよう(コラム:統計資料を活用してグラフを作ろう・いくつかの調べ方を組み合わせよう) ・調査のまとめをしよう(コラム:主題図を作ろう・調査結果をレポートにまとめよう) ・調査の発表をしよう(コラム:発表の準備をしよう・効果的な発表をしよう)

(4) 「日本の地域構成」での北方領土など我が国の領域をめぐる問題の扱いについて

- 「北方領土は、かつては多くの日本人が暮らしていた日本固有の領土です。」「第二次世界大戦の終結の直後にソ連が占領し、ソ連解体後もロシア連邦が不法に占拠しています。」「現在、日本とロシア連邦の間では、石油などの資源開発に関する話し合いも進んでいます。北方領土の返還はまだ実現していません。」「○「日本海上の竹島も日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。日本はこれに抗議する一方で、国際機関を利用した解決を呼びかけるなど、外交的な努力を続けています。」「○「東シナ海上の尖閣諸島は、日本が固有の領土として実効的な支配を続けています。中国がその領有権を主張していますが、広く国際社会からも日本の領土として認められています。」「○「日本の領土返還の歴史と北方領土(地図)」「竹島(写真)」「尖閣諸島(写真)」が取り上げられている。

(5) 「日本の諸地域」の7つの考察の仕方を取り上げる「地域区分」例

環境問題	人口の変化	歴史的背景	産業	結びつき	生活・文化	自然環境
九州	中国・四国	近畿	中部	関東	東北	北海道

- 各節のはじめに、各地方の特色として自然・人口・産業・歴史などを取り上げ、「考察の仕方」以外の学習内容についても扱われている。

(6) 「身近な地域の調査」での社会参画の視点を取り入れた探究型学習の扱いについて

- 静岡市を例にしている。テーマは「この地域で地震の被害を減らすためには、どうしたらよいのだろうか」「駅前再開発で、呉服町名店街はどう変わるのだろうか」「静岡茶をさらに広めるためには、どうしたらよいのだろうか」
- ・身近な地域の情報を集めよう(コラム:身近な地域の情報を集めよう・地形図を使って地域調査をしよう) ・テーマを決めて調査計画を立てよう(コラム:グループ調査をしよう・視点を持って調査テーマを決めよう) ・野外観察や聞き取り調査をしよう(コラム:野外観察をしよう・聞き取り調査をしよう) ・資料を調べて調査を深めよう(コラム:資料を活用して調査しよう) ・調査結果をまとめ、地域を見直そう(コラム:調査結果を地図でまとめよう) ・発表会をして地域の将来像を考えよう(コラム:GISを活用しよう)

(7) 山梨県の地理的事象について ※県名のみ場合は除く

- 第2編2章「3日本の川と平地」で、甲州市・笛吹市の扇状地の航空写真と地形図が扱われている。○第2編3章「4中部地方の1中部地方の生活の舞台」で、富士山と芝桜(写真:山梨県富士河口湖町)が扱われている。「4自然環境を生かした各地の農業」の「盆地と高原の農業」で、ぶどうの収穫(写真:山梨県甲州市)が扱われている。

(8) 巻頭・巻末の資料

- 巻頭には、小学校での社会科学学習の継続として、写真から国名を考えるページがある。○巻末には、世界の統計資料・日本の統計資料のほか、用語解説、さくいんが掲載されている。○巻末には、写真資料として「世界の主な家畜」と「世界の主な農産物」が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

		頁	割合	技能 習得	課題 学習	コラム	説明・注	新聞 記事	統計・ グラフ	写実 物資料	地図	図表等
世 界	地域構成	16	6%	4	5	2	8	0	4	44	14	3
	生活環境	18	7%	1	8	1	14	0	11	36	9	0
	諸地域	71	28%	0	23	15	68	0	39	102	64	0
	地域調査	9	4%	8	2	9	9	0	3	17	3	1
日 本	地域構成	12	5%	2	5	3	3	0	1	18	15	2
	地域特色	24	9%	2	11	4	33	0	19	32	22	3
	諸地域	90	35%	0	33	16	66	0	48	174	71	4
	地域調査	15	6%	10	0	10	0	0	4	17	8	4
合 計	255	100%	27	87	60	201	0	129	440	206	17	

2 作業的な学習(課題解決的な学習)の扱いについて

○「学習課題」が小単元の始めに示されている。 ○「地理にアプローチ」で、学習に必要な地図や資料の活用の仕方についての説明がある。
○「読み解こう」で、地図や資料の活用技能を確認する課題が設定されている。 ○小単元の最初のイラストの吹き出しで、その時間の導入的な学習に主体的に取り組める課題が設定されている。 ○各小単元の終わりの「ふりかえる」の「ステップ1」で、授業で学んだ知識や技能を確認する課題が設定されている。 ○各節の終わりの「学習のまとめと表現」の「地図を使って確かめよう」で、地図や表を使って学習内容を確認する課題が設定されている。

3 言語活動(地図を活用して説明する力等)の扱いについて

○各小単元の終わりの「ふりかえる」の「ステップ2」で、授業で学んだ知識や技能をもとに、言葉でまとめる課題が設定されている。 ○各節の終わりの「学習のまとめと表現」の「表現しよう」で、グラフで読み取ったことや課題についてまとめたことを、文章や表にまとめる課題が設定されている。
○調査学習の単元(第1編第4章、第2編第4章)において、調査結果を発表しあったり、地域に向けて発信したりする課題が設定されている。

4 文字や記号の表記や表現について

○A判で、多くの内容が表記できるように工夫してある。ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。偶数ページの最下段に、各章のタイトルが記載されている。 ○注の語句説明を少なくし、巻末に「用語解説」としてまとめている。

5 内容とその扱いについて

(1) 「世界各地の人々の生活と環境」の生活と宗教の扱い

○第1編第2章「8様々な宗教と人々の暮らし」で、三大宗教やヒンドゥー教、ユダヤ教について記述がある。 ○第1編第3章の「1アジアの多様性と経済発展」の「5変化する産業と貿易」で、宗教の多様性についての記述がある。コラム「宗教をめぐる共存と対立」で、エルサレムの問題についての記述がある。 ○第1編第3章の「3統合を強めるヨーロッパの国々」で、キリスト教の宗派について扱う。

(2) 「世界の諸地域」の世界の6州のそれぞれの「主題例」

アジア	アフリカ	ヨーロッパ	北アメリカ	南アメリカ	オセアニア
多様性と経済発展 (民族と産業)	人々の暮らしとその 変化(歴史と課題)	統合を強める国々 (結びつきと産業)	世界に及ぼす影響力 (資源と産業)	開発と環境 (産業と環境問題)	他地域との結びつき (文化と結びつき)

○各州の特色として、自然・歴史・文化・民族・産業などを取り上げ、設定されている「主題」以外の学習内容についても扱われている。

(3) 「世界の様々な地域の調査」の扱い

○インドを中心とした「南アジア」を例にしている。テーマは「地域の多様な姿」「人口と都市の暮らし」「地域の課題」
・調べる地域とテーマを決めよう(コラム:地図帳を活用する・風景写真を読み取る・基本的な情報を整理する) ・地域の多様なすがたを調べよう(コラム:生活や文化を調べる) ・人口と都市の暮らしについて調べよう(コラム:主題図を読み取る・都市と農村を調べる) ・地域や国の課題を調べよう(コラム:調査活動を振り返る)

(4) 「日本の地域構成」での北方領土など我が国の領域をめぐる問題の扱いについて

○「北方領土は、1945年の第二次世界大戦終結後にソ連に占領されました。終戦時には北方領土にはおよそ17000人の人々が生活していましたが、日本人は強制退去させられました。ソ連の解体後も現在に至るまでロシア連邦によって不法に占拠されています。」「日本政府はロシア連邦政府に対して、日本固有の領土である北方領土の返還を求め続けていますが、いまだに実現されていません。一方で、1992年に始まった北方領土へのビザなし訪問など、民間での友好的な結びつきは続いています。」

○「1905年に政府は、竹島を国際法に基づき島根県に編入し、日本固有の領土としました。1952年以降、韓国が竹島を自国の領土として主張し、現在まで不法に占拠し続けています。日本はこれに抗議を重ねるとともに、国際社会の場での話し合いを提案していますが、韓国は受け入れていません。」
○「尖閣諸島は、1895年に沖縄県に編入された日本固有の領土です。」「1970年代から、周辺海域に埋蔵されているとされる資源をめぐり、中国が領有を主張し始めました。近年、中国船が尖閣諸島周辺の日本の領海や接続水域にたびたび侵入する事態が生じ、2012年、日本は島々の大半を国有化しました。」

○「北方領土とその周辺(地図)」「竹島、尖閣諸島の位置(地図)」「北方領土問題に関する主なできごと(年表)」「領土問題などを話し合う『日ロ首脳会談』の様子(写真)」「日本とロシアの中学生による意見交換会(写真)」「竹島(写真)」「尖閣諸島(写真)」が取り上げられている。

(5) 「日本の諸地域」の7つの考察の仕方を取り上げる「地域区分」例

環境問題	人口の変化	歴史的背景	産業	結びつき	生活・文化	自然環境
九州	中国・四国	近畿	中部	関東	東北	北海道

○各節のはじめに、各地方の特色として自然・人口・産業・歴史などを取り上げ、設定されている「考察の仕方」以外の学習内容についても扱われている。

(6) 「身近な地域の調査」での社会参画の視点を取り入れた探究型学習の扱いについて

○名古屋市を例にしている。テーマ例は、「人口の変化からみた名古屋市の特色」
・地域をながめて(コラム:野外観察の主な視点・調査全体の見通しを立てる) ・地形図の見方を知ろう(コラム:地形図を読み取ろう) ・調査テーマを決めて計画を立てよう(コラム:気づいたことや疑問を分類する・調査テーマを決める・調査計画書にまとめる) ・地域の工業を調べよう(コラム:統計資料からグラフを作り、わかったことを表現する・聞き取り調査の進め方) ・地域の商店街を調べよう(コラム:新旧の住宅地図を比較する・風景の変化を説く) ・発表会を開こう ・地域に向けて発信しよう ・レポートにまとめよう

(7) 山梨県の地理的事象について ※県名のみの場合を除く

○第2編第2章「2変化に富む日本列島の地形」で、甲州市・笛吹市の扇状地の航空写真が扱われている。「3地形図を使って地形をみていこう」で、2万5千分の1地形図「石和」が扱われている。

○第2編第3章「4中部地方」の「4自然環境を生かした産業」で、多くの登山客で混雑する富士山山頂(写真:山梨県・静岡県)が扱われている。

(8) 巻頭・巻末の資料

○巻頭には世界各地の世界遺産が掲載されている。 ○巻末には、世界の統計資料・日本の統計資料のほか、用語解説、さくいが掲載されている。
○巻末には、写真資料として「世界の主な家畜」と「主な鉱産物」、「世界の主な農産物」が掲載されている。

概要

1 概括的な調査研究

		頁	割合	技能 習得	課題 学習	コラム	説明・注	新聞 記事	統計・ グラフ	写真実物 資料	地図	図表等
世 界	地域構成	12	4%	4	3	1	2	0	1	15	17	6
	生活環境	20	7%	6	8	0	2	0	11	54	9	3
	諸地域	77	28%	0	26	13	18	0	48	150	43	5
	地域調査	9	3%	5	0	1	0	0	8	21	1	0
日 本	地域構成	12	4%	2	4	4	1	0	1	28	19	2
	地域特色	35	13%	4	14	4	16	0	25	19	19	13
	諸地域	97	37%	0	35	26	18	0	46	213	53	3
	地域調査	10	4%	4	0	0	0	0	3	17	3	0
合 計		273	100%	25	90	49	57	0	143	517	164	32

2 作業的な学習（課題解決的な学習）の扱いについて

- 「学習課題」が小単元の始めに示されている。 ○資料館にある「資料活用」で、資料から情報を読みとるポイントや作業活動などが示されている。
- 「やってみよう」で、資料情報、地図やグラフの作成（作業）と読み取り（思考判断）、統計資料を活用した設問がある。
- 「技能をみがく」で、地理の基本的な技能が身に付けられるようになっている。
- 「学習をふりかえろう」で、学習内容を振り返るためのポイントや設問がある。
- 「地域を探ろう」で、環境保全や人口問題、防災についてのテーマが設定され、課題の発見や解決方法などが紹介されている。

3 言語活動（地図を活用して説明する力等）の扱いについて

- 「確認しよう」や「説明しよう」で、課題を文章にまとめたり、他人に説明したりする場面がある。
- 共生や環境、防災をテーマにした世界や日本の取組を、「コラム」として掲載している。
- 「学習をふりかえろう」の中に学習した内容を文章や表にまとめる課題が設定されている。

4 文字や記号の表記や表現について

- A B判で多くの内容が掲載できるように工夫してある。奇数ページには各章のタイトルが色分けされて記載されている。 ○ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。内容の種類毎に記号や色が使われている。

5 内容とその扱いについて

(1) 「世界各地の人々の生活と環境」の生活と宗教の扱い

- 「宗教と生活のかかわり」で、三大宗教について扱う。ヒンドゥー教やユダヤ教、神道の用語が記述されている。世界の宗教分布図が掲載されている。
- アジア州の「地域によって異なるアジアの農業や文化」で、三大宗教について扱う。
- ヨーロッパ州の「ヨーロッパ文化の共通性と多様性」で、キリスト教について扱う。
- アメリカ州の「アフリカの文化と歴史」で、イスラム教について扱う。 ○南北アメリカ州の民族や文化について学習する中で、キリスト教を扱う。

(2) 「世界の諸地域」の世界の6州のそれぞれの「主題例（追求課題）」

アジア	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	オセアニア
経済発展を急速にと げた中国 (人口と経済成長)	ヨーロッパ統合と 人々の生活の変化 (EUの結びつき)	アフリカの文化と歴 史 (歴史的背景)	世界をリードする工 業 (産業)	ブラジルにみる環境 問題 (環境問題)	移民の歴史と他文化 社会 (文化)

- 各州の特色として、自然・歴史・文化・民族・産業などを取り上げ、設定されている「主題」以外の学習内容についても扱われている。

(3) 「世界の様々な地域の調査」の扱い

- 韓国を例にしている。テーマは「韓国の食文化」「韓国の工業の発展」
- ・調査テーマを決めよう ・資料を集めて調べよう (コラム：文献資料やインターネットの活用・統計資料のグラフ化) ・調査結果をまとめよう (コラム：主題図のつくり方・レポートのつくり方)
- ・調査結果を発表しよう (コラム：展示発表の仕方)

(4) 「日本の地域構成」での北方領土など我が国の領域をめぐる問題の扱いについて

- 「国後島・択捉島・色丹島・歯舞群島は日本固有の領土で、北方領土とよばれています。」「現在までロシアが不法に占拠した状態になっています。」
- 「日本はロシアに対して北方領土の返還を求め続けていますが、いまだに実現されていません。」
- 「1905年に明治政府が国際法に従って島根県に編入し、日本固有の領土として再確認されました。」「1952年から、韓国が一方的に竹島を自国の領土と主張し、海洋警察隊をおいたり、灯台や埠頭などを建設したりして、不当に占拠しています。」
- 「東シナ海にある尖閣諸島は、1895年に沖縄県に編入された日本固有の領土です。」「尖閣諸島には、そもそも領有権の問題が存在しません。」
- 「1970年代から、中国が一方的に領有権を主張するようになりました。」
- 「北海道から見える北方領土の島々」や「竹島」「尖閣諸島」「日本の領海に侵入する中国の船」の写真や「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」などの地図が掲載されている。

(5) 「日本の諸地域」の7つの考察の仕方を取り上げる「地域区分」例

環境問題	人口の変化	歴史的背景	産業	結びつき	生活・文化	自然環境
近畿	関東	北海道	中部	中国・四国	東北	九州

- 各節の学習のはじめに、各地方の特色として自然・人口・産業・歴史などを取り上げ、設定している。「考察の仕方」以外の学習内容についても扱われている。

(6) 「身近な地域の調査」での社会参画の視点を取り入れた探究型学習の扱いについて

- 東京都練馬区を例にしている。(それまでに学習した7つの視点の確認がある。) テーマは「なぜ練馬区では住宅地が増えているのだろう」
- ・調査テーマを決めよう ・調べる方法を考えよう (コラム：ルートマップのつくり方) ・実際に調査をしてみよう (コラム：聞き取り調査の方法・調査ノートを取り方) ・資料を集めてさらに深めよう (コラム：新旧の地形図の比較) ・調査結果をまとめて発表しよう

(7) 山梨県の地理的事象について ※県名のみ場合は除く

- 第2部第2章1節「自然環境の特色」で、扇状地の例として甲州市、笛吹市の写真や図が掲載されている。自然災害の一例として大雪で混乱した山梨の様子(写真)が掲載されている。
- 第2部第3章4節「中部地方」で、中央高地の産業の移り変わりで、山梨の農業や工業の移り変わりが扱われている。(産業用ロボット、ミネラルウォーターの生産ライン、ワイン売場の写真、農作物の作付面積のグラフ)

(8) 巻頭・巻末の資料

- 巻頭に世界に広がる日本の文化と技術、日本国内で進む国際化の様子が掲載されている。 ○巻末に世界の家畜や国産物、農産物が掲載されている。

概要

1 概括的な調査研究

		頁	割合	技能 習得	課題 学習	コラム	説明・注	新聞 記事	統計・ グラフ	写真実物 資料	地図	図表等
世 界	地域構成	12	4%	3	5	1	2	0	2	13	13	2
	生活環境	18	7%	6	8	0	2	0	8	9	9	7
	諸地域	70	26%	2	27	13	18	1	44	52	52	2
	地域調査	12	4%	7	0	1	0	0	3	1	1	4
日 本	地域構成	18	7%	4	7	4	1	0	1	29	29	5
	地域特色	38	14%	1	15	4	16	0	26	19	19	5
	諸地域	86	32%	2	35	26	18	0	52	52	52	3
	地域調査	14	5%	8	0	0	0	2	7	6	6	3
合 計		268	100%	33	97	49	57	3	143	181	181	31

2 作業的な学習(課題解決的な学習)の扱いについて

- 導入ページの「ナビ」に、その章で学習する内容の説明と簡単な設問がある。
- 「トライ」で、資料情報、地図やグラフの作成(作業)と読み取り(思考判断)、統計資料を活用した設問がある。
- 「学習課題」が小単元の始めに示されており、最後に「学習の活用と確認」で、学習内容をまとめたり、考えさせたりする課題が設定されている。
- 章末の「学習の活用」で、学習内容を振り返るためのポイントや設問がある。
- 「スキルアップ」で、地理の基本的な技能が身に付けられる。 ○「学習の課題と活用」で、学習課題をとらえることができたか確認する設問がある。
- 「地理+α」や「自由研究」「地域からのメッセージ」で、発展的な課題を提示し、解説している。

3 言語活動(地図を活用して説明する力等)の扱いについて

- 「読みとろう」や「考えよう」で資料の内容を読みとったり、そこから思考・判断・表現したりする活動を取り入れている。
- 章末の「学習の活用」で、学習した内容を図や文章にまとめ、発表する場面が設定されている。

4 文字や記号の表記や表現について

- A判で多くの内容が掲載できるように工夫してある。偶数ページには各章のタイトルが色分けして記載されている。 ○ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。内容の種類毎に記号や色が使われている。 ○小学校社会科での学習との、連携コーナーが設定されている。

5 内容とその扱いについて

(1) 「世界各地の人々の生活と環境」の生活と宗教の扱い

- 「さまざまな宗教と人々の生活」で、三大宗教とヒンドゥー教について扱う。世界の宗教分布図を掲載している。「地理+α」で日本人の生活と宗教として神道を取り上げている。
- アジア州の「アジア州の人口、文化、産業」で、東アジアの仏教と西アジア等のイスラム教について扱う。「発展するインド」でヒンドゥー教について、「鉱産資源による経済成長」でイスラム教について扱う。
- ヨーロッパ州の「ヨーロッパ州の民族、文化、産業」でキリスト教について扱う。
- アフリカ州の「アフリカ州の民族、文化、産業」でイスラム教、キリスト教について扱う。
- 南アメリカ州の「南アメリカ州の民族、文化、産業」でキリスト教について扱う。

(2) 「世界の諸地域」の世界の6州のそれぞれの「主題例(テーマ)」

アジア	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	オセアニア
国によって異なる経済成長(経済成長と変化)	EUの成立と人々の生活の変化(EUのつながり)	アフリカ州の歴史、文化、産業(歴史と産業)	世界をリードする北アメリカ州の工業(産業)	人々の動きから見た環境問題(環境問題)	強まるアジア州との結びつき(他地域との結びつき)

- 各州の特色として、自然・歴史・文化・民族・産業などを取り上げ、設定されている「主題」以外の学習内容についても扱われている。
- (3) 「世界の様々な地域の調査」の扱い
 - ロシアを例にしている。テーマは「シベリア鉄道が調べたロシアの様子」
 - ・調査テーマを決め、調査の準備をしよう(コラム:調査テーマの例・さまざまな調査方法) ・調査をすすめよう(コラム:棒グラフ・円グラフのつくり方) ・調査を進めよう(コラム:聞き取り調査の方法) ・調査結果をまとめよう(コラム:地図のつくり方・調査結果のまとめ方)
- (4) 「日本の地域構成」での北方領土など我が国の領域をめぐる問題の扱いについて
 - 「北方領土は、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島からなる日本固有の領土です。」「1855年の日露通好条約で、日本の領土であることが確認されました。」「1945年にソ連に占領され、ソ連解体後もロシアが不当に占拠しています。」「竹島は、本州からおよそ200kmはなれた日本海にある、日本固有の領土です。」「1952年から、韓国が、一方的に自国の領土であると主張して竹島を取りこみ、警備担任を常駐させたり、施設をつくったりして、不法に占拠しています。」「1951年のサンフランシスコ平和条約でも、北方領土と竹島が日本固有の領土であることが確認されています。」「1895年に日本が領有を宣言して、沖縄県に編入されました。また、サンフランシスコ平和条約でも日本の領土とされ、このことに周辺の国々からの反対はありませんでした。その後も、日本固有の領土として管理されてきており、尖閣諸島には領土問題は存在しません。」
- (5) 「日本の諸地域」の7つの考察の仕方を取り上げる「地域区分」例

環境問題	人口の変化	歴史的背景	産業	結びつき	生活・文化	自然環境
九州	中国・四国	近畿	中部	関東	東北	北海道

- 各節のはじめに、各地方の特色として自然・人口・産業・歴史などを取り上げ、設定されている「考察の仕方」以外の学習内容についても扱われている。各都道府県の県庁所在地・人口・面積・産業などのデータが掲載されている。
- (6) 「身近な地域の調査」での社会参画の視点を取り入れた探究型学習の扱いについて
 - 愛知県小牧市を例にしている。テーマは「農業コース」「ニュータウンコース」
 - ・調査テーマを決め、調査の準備をしよう(コラム:調査テーマの例・関係図のつくり方) ・調査を進めよう(コラム:野外調査の方法・聞き取り調査の方法・野外観察のポイント・地形図を身近な地域の調査に役立てる・文献資料や統計数値の集め方) ・調査結果をまとめて、地域の課題をとらえよう(コラム:地域の課題をとらえる視点・調査結果のまとめ方)
- (7) 山梨県の地理的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 第2部第2章1節「自然環境や災害・防災からみた日本」で、扇状地の例として甲州市、笛吹市の写真が掲載されている。第3章4節「中部地方」の「地理+α」でリニアモーターカーを取り上げ、他地域との結びつきについて触れている。中央高地の産業で、山梨の農業が扱われている。
- (8) 巻頭・巻末の資料
 - 巻頭では「世界の仲間」として世界の学生の様子が掲載されている。
 - 巻末では日本の主要なユネスコ無形文化遺産と日本国内にある世界遺産が掲載されている。

【調査票 I】 【2 東書】 (中学校 社会・歴史的分野)

概要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	14	5%	48	5	0	2	7	0	10	0	1	0	6	0
古代までの日本	44	16%	38	25	24	8	22	10	126	2	5	16	11	18
中世の日本	34	13%	47	13	8	7	16	12	94	2	4	6	9	8
近世の日本	44	16%	70	15	25	9	25	11	142	4	1	15	11	20
近代日本と世界	54	21%	63	15	39	10	33	30	134	4	0	18	24	23
	44	16%	43	8	32	8	24	12	155	3	0	9	13	13
現代日本と世界	36	13%	25	4	17	10	15	7	84	6	0	8	15	13
合計	270	100%	334	85	145	54	142	82	745	21	11	72	89	95

※全体を7章(※以下「各章」と表現)の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分け、二章の扱いとしている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

○第1章では、小学校での学習内容(人物や文化財のイラスト)を扱い、日本の歴史を大きくとらえる取組が設定されている。

○各章のはじめには年表(写真・イラスト)でその時代を大まかにとらえ、終わりには「この時代の歴史の学習を確認しよう」という内容で、語句の説明、時代ごとの特徴的な図表や地図の説明、本章から次章につながる年表の作成などを、様々な視点から、その時代の特色をとらえるような活動が設定されている。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

○各章の学習の終わりには「この時代の歴史の学習を確認しよう」で、各章共通に「用語を自分の言葉でそれぞれ説明してみよう」「模式図を完成させよう」「図について説明してみよう」「年表から特定の人物を抜き出し、共通点を説明しよう」などの課題が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

○各小単元のはじめに課題が示され、欄外(項末)に、決められた語句や文字数で説明したりする学習が設定されている。

○「歴史スキルアップ」「調査の達人」という項が設定されており、「時代や年代のあらし方」「図書室・図書館の利用方法」「グループ学習の方法」「発表の方法」「身近な地域の将来について提案してみよう」など、課題解決学習を進める上で必要な技能習得の学習が設定されている。

○各章の終わりに、「私たち歴史探検隊」というテーマで、「古代の玄関口・福岡」「戦国時代の城下町・一乗谷」「浮世絵にえがかれた風景から」「街の中に残る歴史・神戸」「原爆ドームの保存と平和への願い」「町の歴史から将来を考える」として、地域の歴史について調べ、レポートにまとめ、プレゼンテーションを行う学習が設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

○AB判で、本文を補足する写真や資料が豊富に掲載されている。ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすくなっている。大単元ごとに背景の色分けがされている。記述・内容掲載の種類ごとにそれを示す記号が使われている。学習をサポートする架空の人物がイラストで描かれている。歴史上の人物および文化財がマークで示されている。地理や公民と関連深い事項についてマークで示されている。

6 内容とその扱いについて

(1)「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い

○西暦と世紀について、図を用いて説明している。十干十二支の説明と一覧表が掲載されている。

○「歴史の流れ」で小学校での学習内容(人物や文化財)がイラスト化されており、時代の流れに沿って並べられている。

○「歴史の流れ」をもとに、単元のまとめ方、調査の仕方、考察の視点、発表方法について手順が示されている。

(2)「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い

○出土した遺物の写真が、35点掲載されている。○コラム「考古学のとびら」において考古学の学問的な特徴、放射性炭素年代測定法について扱う。○「私たち歴史探検隊」で遺跡の見学について扱う。

(3)「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い

○小単元「武士の政権の成立」「モンゴルの襲来と日本」「東アジアとの交流」で扱う。○コラム「東アジア世界の朝貢体制と琉球王国」で「朝貢って何?」「東アジア世界の形成」「朝貢体制と室町幕府」「琉球王国と朝貢体制」で扱う。

(4)「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い

○小単元「キリスト教世界とルネサンス」「ヨーロッパと外の世界」「ヨーロッパ人との出会い」「兵農分離と朝鮮侵略」「桃山文化」「貿易の振興から鎖国へ」「鎖国下の対外政策」「田沼の政治と寛政の改革」「外国船の出現と天保の改革」で扱う。○コラム「歴史にアクセス」の「有田焼のルーツ」「朝鮮通信使が訪れた対潮樓」で扱う。

(5)「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い

○小単元「第一次世界大戦」の「総力戦とその結果」の項で扱う。○小単元「欧米の情勢とファシズム」の「ドイツのファシズム」の項で扱う。

○小単元「日中戦争と戦時体制」の「独まる戦時体制」の項で扱う。○小単元「第二次世界大戦の始まり」の「ドイツの占領政策」の項で扱う。

○小単元「戦時下の人々」「戦争の終結」で扱う。○コラム「命のビザ」、地域学習「原爆ドームの保存と平和への願い」で扱う。

(6)「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い

○小単元「国境と領土の確定」の「国境と領土の確定」「沖縄県の設置と琉球の人々」の項で扱う。

○小単元「占領下の日本」の「敗戦後の日本」の項で扱う。○小単元「独立の回復と55年体制」の「平和条約と安保条約」で扱う。

○小単元「緊張緩和と日本外交」の「広がる日本の外交関係」の項で扱う。○コラム「日本の領土をめぐる問題とその歴史」で扱う。

(7)「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い

○小単元「占領下の日本」の「占領の始まりと非軍事化」の項で扱う。○小単元「民主化と日本国憲法」で扱う。○小単元「独立の回復と55年体制」の「平和条約と安保条約」の項で扱う。○小単元「日本の高度経済成長」の「高度経済成長」の項で扱う。

(8)「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い

○小単元「緊張緩和と日本外交」の「広がる日本の外交関係」の項で扱う。○小単元「変化の中の日本」の「冷戦後の日本」の項で扱う。

○小単元「持続可能な社会に向けて」の「日本社会の課題」「グローバル化の進展」の項で扱う。○コラム「日本の漫画とアニメ」「歴史の中の大震災」で扱う。

(9) 巻頭・巻末での資料

○巻頭に「日本の国宝・重要文化財(写真)」「日本の世界遺産(地図・写真)」「歴史学習の初めに」が掲載されている。

○巻末に「用語解説」「さくいん」「歴史の中の植物」「各地の主な史跡」が掲載されている。

7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く

○巻頭の「日本の世界遺産」に「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として山梨県側の富士山が写真とともに掲載されている。

○第3章「中世の日本」の小単元「応仁の乱と戦国大名」で、主な守護大名を表した地図に、「武田信玄」の肖像画と「甲州法度之次第」が掲載されている。

○第4章「近世の日本」の小単元「織田信長・豊臣秀吉による統一事業」に「長篠合戦図屏風」と解説が掲載されている。

【調査票Ⅰ】 【17 教出】 (中学校 社会・歴史的分野)

概 要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	9	3%	42	0	0	0	0	0	16	1	1	0	1	0
古代までの日本	38	15%	40	22	18	4	16	5	94	2	3	13	5	31
中世の日本	34	13%	47	10	10	4	14	10	83	2	3	10	5	25
近世の日本	44	17%	69	13	19	4	23	7	123	3	1	11	12	24
近代日本と世界	62	24%	98	3	42	9	27	14	143	8	0	24	27	51
	42	16%	45	6	37	4	33	5	106	4	0	14	14	21
現代日本と世界	32	12%	17	2	17	6	14	4	82	2	0	8	6	21
合 計	261	100%	358	56	143	31	127	45	647	22	8	80	70	173

※全体を7章（*以下「各章」と表現）の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

○第1章において「タイムトラベル・サミット2016」と題した、日本の歴史を大きくとらえる活動が設定されている。

○各章のはじめに、年表と資料（写真・イラスト）でその時代を大まかにとらえ、おわりには「○○の時代の移り変わりを確かめよう」「○○の舞台を地図で確かめよう」「○○のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう」「○○の時代の特色を考えよう！」「時代の変化に注目しよう！」など、様々な視点から、その時代の特色を捉えるような活動が設定されている。

3 言語活動（思考力・判断力・表現力の育成）の扱いについて

○各小単元の「ふりかえる」で、学習した内容を整理したり、図に表現したり、説明したりするなどの表現する課題が設定されている。

○各小単元の「読み解こう」で、年表や資料、地図を読み取り、学習した内容を整理したり、自分の言葉で説明したりする課題が設定されている。

○中単元ごとに、「資料から歴史を探ろう」「人物から歴史を探ろう」など、資料を読み取ったり、考えを深めたりするための手がかりが掲載されている。○各章の終わりには、「時代の変化に注目しよう！」で絵を見て予想したり、気付いたことを話し合ったりする課題が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

○各小単元のはじめに「学習課題」が示され、最後の「ふりかえる」で、学習したことをもとにして、さらに学習を広めたり、深めたりする課題が設定されている。○各小単元の「読み解こう」で、年表や資料、地図を読み取り、学習した内容を整理したり、自分の言葉で説明したりする課題が設定されている。○各章の終わりには、年表や地図の中に出来事や人物、地名などの語句を入れたりする課題が設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

○AB判で、本文を補足する写真や資料が豊富に掲載されている。ゴシックヤルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすくなっている。国宝、重要文化財、世界遺産の写真資料がマークで示されている。

6 内容とその扱いについて

(1) 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い

○西暦と世紀について、図を用いて説明している。

○「年代・時刻・方角の表し方と干支」「歴史のなかの単位」「絵画資料の見方」「系図の読み方」「歴史のなかの植物」が掲載されている。

○「タイムトラベル・サミット2016」を通して、歴史への関心を高めるような活動が設定されている。

(2) 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い

○出土した遺物の写真が、41点掲載されている。

○「地域の遺跡や古墳を訪ねて」「木簡が語る人々の暮らし」のコラムがあり、遺物からうかがえる当時の様子が掲載されている。

(3) 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い

○小単元「大陸をまたぐ大帝国」の「宋の中国統一」「モンゴル帝国の出現」「高麗の朝鮮統一」の項で扱う。○小単元「海から押し寄せる元軍」の「元軍との戦い」の項で扱う。○小単元「行き交う海賊船と貿易船」の「倭寇の出現」「明の成立」「朝鮮の成立」「明や朝鮮との貿易」の項で扱う。○小単元「北と南で開かれた交易」の「琉球王国の成立」「蝦夷地とアイヌ民族」の項、及びコラム「オホーツク文化と捺文文化」で扱う。

(4) 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い

○小単元「教会と『コーランの教え』」「中世からの脱却」「太陽の沈まない国」「戦国の世に現れた南蛮人」「開かれた窓」で扱う。○「銀で結び付く世界」「宣教師が見た日本」のコラムで扱う。○小単元「近世社会への幕開け」の「秀吉の外交と朝鮮侵略」の項で扱う。

○小単元「城と茶の湯」の「海外から流入する文化」の項で扱う。○小単元「東アジアに広がる日本町」で扱う。

(5) 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い

○小単元「クリスマスまでには帰るさ」の「新兵器と総力戦」の項で扱う。○小単元「パンと平和、民主主義を求めて」の「ロシア革命」「アメリカの参」の項で扱う。○小単元「独裁者の出現」の「ファシズムの台頭」の項で扱う。○小単元「『語せば分かる』」の「日中戦争の始まり」の項で扱う。○小単元「ぜいたくは敵だ」の「皇民化政策」の項で扱う。○小単元「枢軸国と連合国の戦い」の「ドイツの侵攻と抵抗運動」の項で扱う。○小単元「米・英への宣戦布告」の「日本の占領政策」の項で扱う。○小単元「欲しがりません勝つまでは」の「軍国主義の敗北」で扱う。○コラム「後藤新平と杉原千敏」で扱う。

(6) 「近代の日本と世界」と「現代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い

○小単元「智識を世界に求めて」の「領土の画定と沖縄県」の項で扱う。○小単元「敗戦からの再出発」の「連合軍の日本占領」の項で扱う。

○小単元「独立から復興へ」の「独立と国際社会への復帰」の項で扱う。○小単元「国際関係の変化」の「沖縄の本土復帰」の項で扱う。○コラム「隣国と向き合うために」で扱う。

(7) 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い

○小単元「敗戦からの再出発」「平和国家をめざして」「国際関係の変化」「高度経済成長の光とかげ」で扱う。

○小単元「独立から復興へ」の「独立と国際社会への復帰」「戦後の経済復興と政治体制」の項で扱う。

(8) 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い

○小単元「国際関係の変化」「未来をひらくために」で扱う。○小単元「高度経済成長の光とかげ」の「日本経済の行動成長」「石油危機と経済摩擦」の項で扱う。○小単元「変動する国際社会」の「地域紛争とテロ事件」の項で扱う。○コラム「隣国と向き合うために」「平和を願う人々と平和の祭典『オリンピック』」で扱う。

(9) 巻頭・巻末での資料の扱い

○巻頭に「歴史のなかの言葉」「歴史の学習を始めよう（地球の歴史、点字のれきし）」が掲載されている。

○巻末に「江戸時代の産業と交通」「昔の国と、都道府県の対照図」「歴史年表」「世界地図の歴史」が掲載されている。

7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く

○第3章の小単元「下剋上の世へ」で、「主な戦国大名と、その領地」の地図に、「武田信玄」ならびに「武田」が記述されている。

○第6章の小単元「学問は身を立てる財本」で、復元された明治時代の小学校「津金学校（山梨県北杜市）」の写真が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	8	3%	8	4	3	1	2	0	20	2	0	2	1	0
古代までの日本	51	17%	36	23	26	9	37	9	106	0	6	25	21	17
中世の日本	31	11%	38	14	10	2	25	10	41	0	6	12	3	8
近世の日本	55	19%	74	31	24	9	45	11	121	2	2	14	12	14
近代日本と世界	61	21%	60	18	49	6	57	7	125	2	1	18	13	32
	59	20%	21	12	44	5	35	8	88	0	0	9	8	18
現代日本と世界	27	9%	7	6	20	1	26	1	63	0	0	7	5	19
合 計	292	100%	244	108	176	33	227	47	564	6	15	87	63	108

※全体を7章(※以下「各章」と表現)の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

- 序章で5頁にわたり小学校での学習内容(人物や文化財の写真や肖像画)を扱い、日本の歴史を大きくとらえる活動が設定されている。
- 各章のはじめには代表的な文化財や人物を紹介し、その時代を大まかにとらえ、終わりには「まとめてみよう」で、年表の穴埋めや時代ごとの特徴的な事項の説明、その時代の特色を考えさせる活動が設定されている。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各章の学習の終わりには「～(単元名)をまとめてみよう」で、各章共通に「年表の完成」「地図を確認しよう」「特色について考えてみよう」などの課題が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各小単元のはじめに学習問題が示され、最後に、決められた語句や図表でまとめるなどの課題が設定されている。
- 「歴史のとびら」という項が設定されており、「遺跡から原始の時代を探ろう」「資料を読み取ろう」「絵画資料に見る人々の生活」「人物を調べてみよう」「身近な地域を調べてみよう」「証言・体験記録から見えてくる戦争」と、章ごと課題解決学習を進める上で必要な技能習得の学習が設定されている。
- 巻末に、「歴史学習のまとめ」の頁があり、原始・古代から現代までの学習内容を表にまとめさせたり、歴史学習から何を学んだか、現代社会の一員として大事にしていかなければならないことは何か、を書かせる課題が設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

- B判で作られている。ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすくなっている。大単元ごとに背景の色分けがされている。大単元を代表する歴史上の人物および文化財の資料が各章の最初にまとめられている。

6 内容とその扱いについて

- (1) 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い
 - 西暦と世紀について、図を用いて説明している。
 - 「キャッチコピーづくりをはじめよう」で、小学校での学習内容(人物や文化財)がまとめられており、時代の流れに沿って並べられている。
- (2) 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い
 - 出土した遺物の写真が、31点掲載されている。 ○「歴史のとびら① 遺跡から原始の時代を探ろう」において、考古学の学問的な特徴や考古学の成果が記述され、「身近な縄文時代の遺跡をみてみよう」という課題が設定されている。
 - 「歴史のとびら② 資料を読み取ろう」で出土した木簡とその読み取りについて扱う。
- (3) 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い
 - 小単元「宋王朝とモンゴル帝国」で扱う。 ○小単元「平氏政権と日宋貿易」の「清盛と日宋貿易」の項で扱う、「元寇と鎌倉幕府の滅亡」「東アジア世界とのかかわり」で扱う。 ○コラム「アジアの船と海上交通」で扱う。
- (4) 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い
 - 小単元「ヨーロッパ世界の形成」「航路開拓とヨーロッパの拡大」「アジアの交易」「鉄砲とキリスト教の伝来」で扱う。
 - 小単元「秀吉の政策」の「秀吉の対外政策」の項で扱う。
 - 小単元「南蛮文化と桃山文化」「貿易奨励から鎖国へ」「外国や周辺地域との関係」「欧米諸国の接近と対応」で扱う。
 - 小単元「新しい学問と思想」「海外の情報と蘭学の発達」の項で扱う。
- (5) 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い
 - 小単元「第一次世界大戦と日本」の「総力戦」の項で扱う。 ○小単元「民主主義と国際協調のゆらぎ」の「ナチスの政権掌握」の項で扱う。
 - 小単元「日中戦争と戦時体制」「占領地と植民地のうごき」「戦時下の民衆生活」「第二次世界大戦の終結」で扱う。
 - 小単元「第二次世界大戦の終結」の「戦争の終結」の項で扱う。 ○コラム「歴史のとびら③ 証言・体験記録から見えてくる戦争」で扱う。
- (6) 「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い
 - 小単元「領土の確定と北海道・沖縄」で扱う。
 - 小単元「民主化をめざして」の「連合国軍の占領」の項で扱う。 ○小単元「国際社会への復帰」の「日本の独立回復」の項で扱う。
 - 小単元「沖縄の復帰、中国・韓国との関係」の「沖縄の復帰」の項で扱う。
- (7) 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い
 - 小単元「民主化をめざして」で扱う。 ○小単元「日本国憲法の制定と教育の民主化」で扱う。
 - 小単元「国際社会への復帰」の「日本の独立回復」の項で扱う。 ○小単元「高度経済成長とその後の日本」で扱う。
 - コラム「高度経済成長期の社会変化」で扱う。
- (8) 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い
 - 小単元「沖縄の復帰、中国・韓国との関係」で扱う。 ○小単元「冷戦後の世界」の「不安定さを増す国際社会」の項で扱う。
 - 小単元「現代の日本」の「日本の国際貢献と外交」の項で扱う。 ○小単元「今後の課題」の「日本の課題」の項で扱う。
- (9) 巻頭・巻末での資料
 - 巻頭に「歴史のとらえ方」として「キャッチコピー作りを始めよう」「歴史の流れを知ろう」「世界地図」が掲載されている。
 - 巻末に「人名さくいん」「事項さくいん」「歴史年表」「日本地図と旧地名」「日本の歴史的遺産」が掲載されている。

7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く

- 第2章「中世の日本と世界」の小単元「鎌倉幕府の成立と執権政治」で、甲斐善光寺の「源頼朝像」が掲載されている。
- 第3章「近世の日本と世界」の小単元「戦国大名の登場」で、主な守護大名を表した地図に、「武田信玄」の肖像画と「甲州法度之次第」が掲載されている。
- コラム「武田信玄の領国支配～信玄堤(山梨県)～」で信玄堤について掲載されている。
- 小単元「織田信長・豊臣秀吉による全国の統一」に「長篠合戦図屏風」と解説が掲載されている。

【調査票Ⅰ】 【46 帝国】 (中学校 社会・歴史的分野)

概 要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	11	4%	32	3	0	1	12	0	7	1	0	0	1	0
古代までの日本	38	14%	32	27	12	11	17	6	92	7	2	19	10	14
中世の日本	36	14%	43	7	4	18	15	10	91	5	3	14	8	8
近世の日本	52	20%	57	11	13	22	21	11	151	5	1	21	10	14
近代日本と世界	56	21%	86	5	14	32	24	15	156	4	0	25	17	24
	42	16%	44	4	29	27	17	8	118	6	0	13	20	12
現代日本と世界	28	11%	35	2	16	17	13	4	70	2	0	12	8	16
合 計	263	100%	329	59	88	128	119	54	685	30	6	104	74	88

※全体を7部（*以下「各部」と表現）の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

- 各時代の冒頭部分にイラスト表現した「タイムトラベル」を設定し、その時代の学習に対する興味を引き出している。
- 各部の終わりに「学習をふりかえろう」を設け、年表や確認問題、「新聞記事をつくろう」「話し合ってみよう」「説明してみよう」などの課題が設定されている。

3 言語活動（思考力・判断力・表現力の育成）の扱いについて

- 第1部の1章で、「歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方」が設定され、具体例として仙台市が紹介されている。
- 各部の終わりに、各時代の印象深かったことを「新聞記事をつくろう」「話し合ってみよう」「説明してみよう」などの表現活動が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各小単元のはじめに「学習課題」が示され、最後に学習内容について「確認しよう」「説明しよう」という課題が設定されている。
- コラム「トライアル歴史」「歴史をさぐる」が設定され、学習への興味を引き出し、課題を追求する学習例が紹介されている。
- コラム「技能をみがく」が設定され、資料の読み取り方を説明している。
- 第7部の終わりに、「150年後の未来に最も伝えたいことは何かを話し合い、タイムカプセルをつくってみよう」という課題が設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

- AB判で、本文を補足する写真や資料が豊富に掲載されている。ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。章ごとに背景が色分けされている。世界遺産、国宝、資料活用がマークで示されている。関連する内容が書いてあるページが示されている。

6 内容とその扱いについて

- 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い
 - 小学校で学んだおもしろいことや人物が道に沿ってならんだイラストが見開きで掲載されている。
 - 絵入りの年表を掲載し、西暦・元号・時代区分を説明している。西暦・世紀を図を用いて説明している。
 - 年代の表し方や時代区分についての用語解説と確認問題が掲載されている。
- 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い
 - 出土した遺物の写真が、42点掲載されている。○コラム「古墳からわかる当時の様子」で、遺物や時代の特色について説明している。
- 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い
 - 小単元「朝廷と結びつく武士」の「平氏の政治と日宋貿易」の項で扱う。○小単元「海をこえてせまる元軍」の「モンゴル帝国の拡大」「2度におわたる蒙古襲来」で扱う。○小単元「東アジア交易と倭寇」「琉球とアイヌの人々がつながる交易」で扱う。○コラム「東アジアに開かれた窓口 博多」「足利義満」「交流」「北海道の独自の文化」で扱う。
- 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い
 - 小単元「イスラムの拡大とヨーロッパ」「大航海時代の幕開け」「東アジアの貿易と南蛮人」で扱う。○小単元「秀吉が導いた近世社会」で扱う。
 - 小単元「戦国大名と豪商が担った安土桃山文化」の「海外から流入した文化の影響」の項で扱う。○小単元「朱印船貿易から貿易統制へ」の「東アジアと朱印船貿易」「キリスト教の禁止と貿易統制」の項で扱う。○小単元「四つにしばられた貿易の窓口」で扱う。○小単元「琉球王国とアイヌの人々への支配」「琉球への窓口」の項で扱う。○コラム「世界の銀を支えた石見銀山」「朝鮮半島から伝わった文化」「島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ」「琉球とアイヌの人々の暮らし」「世界にはほころ江戸時代の技術と浮世絵」で扱う。
- 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い
 - 小単元「欧米諸国が選択した道」の「ファシズムの台頭」の項で扱う。○小単元「戦争につき進む日本」で扱う。○小単元「太平洋戦争と植民地支配」で扱う。○小単元「戦局の悪化と戦時下の暮らし」で扱う。○小単元「ポツダム宣言と日本の敗戦」で扱う。○コラム「人種差別撤廃への道（新渡戸稲造）」「朝鮮の架け橋となった日本人（柳宗悦・浅川巧）」「インドの民族自決を進めた指導者（ガンジー）」「芸術に込めた反戦の意思」「ドイツ人のある少女の作文・ドイツ人のある職人の作文」「『早く仲よしに』奉天尋常小学校五年生の作文」「ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人（杉原千畝）」「軍と政府を批判した政治家」「インドネシアで使われている教科書では」「戦場となった沖縄」「それぞれの敗戦①②③」「ある少女の日記・少女の最後を看取った女性の記録」で扱う。
- 「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い
 - 小単元「近隣諸国との国境画定」の「北方の領土確定」「台湾出兵と琉球処分」の項で扱う。
 - 小単元「占領下の日本」の「領土の縮小と復興・引きあげ」の項で扱う。○小単元「独立の回復と米ソ冷戦」の「独立の回復」の項で扱う。
 - 小単元「21世紀の日本の進路」の「中国の台頭」「朝鮮半島と日本」の項で扱う。
- 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い
 - 小単元「占領下の日本」の「日本国憲法の制定」の項で扱う。○小単元「独立の回復と米ソ冷戦」の「独立の回復」の項で扱う。○小単元「世界の奇跡・高度経済成長」の「高度経済成長」「外交関係の進展」の項で扱う。○コラム「昭和天皇 国民とともに歩まれた生涯」で扱う。
- 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い
 - 小単元「世界の奇跡・高度経済成長」の「外交関係の進展」の項で扱う。○小単元「戦後の文化」の「世界に広がる日本の文化」の項で扱う。
 - 小単元「冷戦の終焉と冷戦の推移と日本の経済発展」で扱う。○小単元「21世紀の日本の進路」の「日本の進むべき道」の項で扱う。
 - コラム「勇気と友情の物語（エルトゥール号事件・台湾に巨大ダムをつくった八田與一）」「東日本大震災と日本人」で扱う。
- 巻頭・巻末での資料
 - 巻頭に「日本の伝統的工芸品（地図・写真）」「旧国名と都道府県名（地図）」「歴史を学ぶとは」「日本の歴史の舞台（地図・写真）」が掲載されている。○巻末に「歴史を学んで」「事項さくいん」「人名さくいん」「歴史年表」「年号→西暦早見表」が掲載されている。

7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く

- 第2章「中世の日本」のコラム「日本人の名字の由来」で、「武田信玄」が紹介されている。小単元「室町幕府と守護大名」で、主な守護大名を表した地図に、「武田」が記述されている。○第3章「近世の日本」の小単元「戦国大名」で、信玄塚の図、信玄の肖像画が掲載されている。
- 小単元「信長と秀吉の全国統一」で、「長篠合戦図屏風」と解説が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統文化	国際	コラム	課題学習	文献資料	実物資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	8	3%	27	0	0	0	0	0	27	3	0	0	0	36
古代までの日本	44	16%	38	24	14	8	15	2	109	5	2	19	15	14
中世の日本	38	14%	49	9	4	11	12	9	92	7	2	17	12	18
近世の日本	50	18%	57	14	9	11	17	4	28	6	1	25	38	19
近代日本と世界	58	21%	82	7	22	11	22	9	137	4	0	25	25	37
	40	15%	44	3	22	6	15	4	102	4	0	14	18	32
現代日本と世界	36	13%	14	0	13	10	12	6	82	5	0	8	15	17
合 計	274	100%	311	57	84	57	93	34	577	34	5	108	123	173

※全体を6編(※以下「各編」と表現)の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

- 各時代の冒頭に、写真や絵、年表を掲載して、その時代の学習に対する興味を引き出している。
- 各編のおわりに、「とらえよう!『○○』の特色」を設け、基本的・基本的な用語の確認や、時代の特色をまとめさせる課題が設定されている。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各編のおわりに「とらえよう!『○○』の特色」で、時代の特色を表にまとめたり、文章に書かせたりする課題が設定されている。
- コラム「スキルアップ」で、資料の読み取り方や、まとめ方などを解説している。

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各編に、コラム「でかけよう地域調べ」を設け、事例をあげて、調査の仕方や、表現の仕方を説明している。
- 各小単元のはじめに「学習課題」が示され、最後に「学習の確認と活用」が設定され、学習内容をまとめたり、さらに活用させたりしている。
- 第1編で、「時代を代表する人物などについて、調べて考えよう」「班で考えたことを整理して発表しよう」が設定され、課題解決の方法を説明している。○第6編の最後に、「私が考える『これから生きていきたい時代』」について書かせる課題が設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

- A/B判で、本文を補足する写真や資料が豊富に掲載されている。ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすくなっている。偶数頁の左端に時代区分の年表がある。○小単元ごとに、基本的・基本的な用語がまとめられている。○世界遺産と国章がマークで示されている。

6 内容とその扱いについて

- 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い
 - 冒頭に、小学校で学習した人物などを確認するためのイラストが掲載され、生徒の関心を引き出し、歴史の大きな流れを振り返る課題が設定されている。
 - 「歴史をはかるものさし」(年表)が示され、年代の表し方や時代区分などの基本的な事項を説明している。
 - 教科書に出てくる記号を紹介し、教科書の活用方法を説明している。
- 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い
 - 出土した遺物の写真が30点掲載されている。○相沢忠洋についての説明が記載されている。
 - コラム「日本の食生活のルーツを探る」「古墳と信仰」「いつから『日本』『天皇』が使われるようになったの?」で、出土品から考えられることが記載されている。
- 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い
 - 小単元「元の襲来と鎌倉幕府」の「強大なモンゴル帝国」「元の襲来」の項で扱う。○小単元「東アジアとの交流」で扱う。○コラム「海底から姿を現した元の軍艦」で扱う。
- 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い
 - 小単元「イスラム教の世界とキリスト教の世界」で扱う。○小単元「つながれてゆく世界」で扱う。○小単元「ヨーロッパ人の来航と信長」の「鉄砲とキリスト教の伝来」の項で扱う。○小単元「秀吉の外交政策」で扱う。○小単元「朱印船貿易から鎖国へ」で扱う。○小単元「隣接地域との関係」で扱う。○コラム「つながる世界と生活の変化」「天正少年使節」「石見銀山」「宣教師が記録した豊臣秀吉・豊臣秀吉の手紙」で扱う。
- 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い
 - 小単元「第一次世界大戦」の「長引く戦争と総力戦」の項で扱う。○小単元「世界恐慌と各国の対応」の「ファシズムの台頭」の項で扱う。
 - 小単元「日中全面戦争と戦時体制」で扱う。○小単元「第二次世界大戦の始まり」の「ドイツの占領政策」の項で扱う。○小単元「戦時下の国民生活」の「苦しくなった国民生活」「本土空襲」「戦場となった沖縄」の項で扱う。○小単元「平和への歩みと戦争の傷あと」の「ヒロシマとナガサキ」の項で扱う。○コラム「三・一運動を支持した日本人」「日本の満州支配に反対したジャーナリスト」「新渡戸稲造と杉原千畝」「日本人の海外移民」「大阪の空襲を調べる」で扱う。
- 「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」での「領土の固定」についての扱い
 - 小単元「領土の確定と隣接地域」の「領土の確定」「琉球から沖縄へ」の項で扱う。○コラム「近代的な国際秩序への参加」で扱う。
 - 小単元「日本をとりまく国際関係」の「返還運動の高まりと沖縄返還」の項で扱う。○コラム「韓国・中国との国交正常化と現在の課題」で扱う。
- 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い
 - 小単元「第二次世界大戦後の世界と日本」の「民主化をめざす国民の運動」で扱う。○小単元「平和国家をめざして」で扱う。○小単元「占領下の日本と国民の生活」の「生産の再開と経済の復興」の項で扱う。○小単元「国際社会への復帰」の「占領政策の変化」「主権と国交の回復」の項で扱う。○小単元「高度経済成長」で扱う。○コラム「戦後の教育制度の改革から近代から現代への転換を考えてみよう」「技術革新」「高度経済成長期のくらし」で扱う。
- 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い
 - 小単元「多極化する世界と日本」の「躍進するアジアと日本」で扱う。○小単元「21世紀の日本の役割」で扱う。○コラム「公害克服の歴史を調べる」の「公害をのりこえた経験を生かして」で扱う。
- 巻頭・巻末での資料
 - 巻頭に「歴史との出会い(写真)」「国県対照と五畿七道(地図)」「歴史をまなぶにあたって」が掲載されている。
 - 巻末に「歴史を学んで」「五教と四木三草(写真)」「仏像の種類(写真)」「絵画資料の見方(実物資料)」「文化財の種類(写真)」「干支」「江戸時代の時刻と二十四節気」「土地制度の移り変わり(年表)」「歴史との出会いQ&A」「さくいん(人名・事項・テーマ別)」「年表」「教科書に出てくる主なできごと・史跡・関係地(地図)」が掲載されている。
- 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 第3編「中世の日本」で、主な戦国大名の分布図に「武田信玄」の肖像画が掲載されている。○コラム「信玄堤」で扱う。○第4編「近世の日本」でコラム「図版特集一長篠の戦い」で「武田勝頼」が記述されている。○第5編第2章のコラムで石橋湛山の写真と解説が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	18	6%	16	3	2	0	6	0	26	4	0	5	2	0
古代までの日本	56	21%	66	33	19	11	21	5	85	1	5	17	13	0
中世の日本	28	10%	51	5	5	5	11	8	43	1	4	7	3	15
近世の日本	44	16%	128	18	15	9	17	2	80	3	1	11	5	28
近代日本と世界	58	22%	69	7	29	9	21	9	97	2	0	11	9	32
	41	15%	52	3	41	3	18	8	82	2	0	12	8	43
現代日本と世界	28	10%	75	4	17	7	9	2	51	3	0	4	7	11
合 計	273	100%	457	73	128	44	103	34	464	16	10	67	47	129

※全体を7章（*以下「各章」と表現）の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

○各章の始めには、その時代を代表する絵や写真を取り上げ、キャラクターを登場させ、絵や写真を説明したり、その章の学習に対する興味を引き出したりしている。

○章の終わりには、兄弟のキャラクターを登場させ、二人の会話から時代を振り返り、どのような時代かをまとめる課題が設定されている。

○章の終わりには、「歴史豆辞典」という基礎的・基本的な用語の解説が1頁設けられている。

3 言語活動（思考力・判断力・表現力の育成）の扱いについて

○序章で、「人物カードをつくろう」「800字の人物伝記」の課題が設定されている。

○各章の終わりに、各時代の学習で印象深かったことをまとめる「ひとこと作文」や「意見交換会」を行うなどの課題が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

○序章で、「〇〇の歴史を調べる」で、課題を設定し、調査し発表する手順を説明している。具体例として「野球の歴史」「渋谷区の歴史」が紹介されている。

○序章で、「人物カードをつくろう」「800字の人物伝記」「本格的な人物研究」の課題が設定され、それぞれ具体例が紹介されている。

○各小単元のはじめに学習問題が示され、おわりの「まとめにチャレンジ」で、学習内容を振り返らせるような課題が設定されている。

○第6章の終わりに、「日本の歴史の特色は何か」で、まとめたり、発表させたりするなどの課題を設定している。

5 文字や記号の表記や表現について

○B判でゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。章ごとに背景が色分けされている。国宝、重要文化財がマークで示されている。関連する内容が書いてあるページが示されている。

6 内容とその扱いについて

(1) 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い

○西暦と世紀について、図を用いて説明している。干支順位表が掲載されている。

○「歴史モノサシ」(図)で、時代区分を説明している。

○「野球の歴史」「小学校で学んだ主な人物42人」「日本のモノづくり先駆者」「一枚の絵画から地域の歴史を読み解く」など、歴史への関心を高めるような具体例が紹介されている。

(2) 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い

○出土した遺物の写真が、34点掲載されている。○コラム「岩宿遺跡を発見した相沢忠洋」「和の文化縄文」「国譲り神話と古代人」で扱う。

(3) 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い

○小単元「平氏の繁栄と滅亡」「元寇」「日明貿易と朝鮮・琉球」で扱う。○コラム「元寇と朝鮮半島」「日本国王になった足利義満」で扱う。

(4) 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い

○小単元「ヨーロッパ人の世界進出」「ヨーロッパ人の来航」「秀吉の政治と朝鮮出兵」「桃山文化」「朱印船貿易から鎖国へ」「鎖国日本の4つの窓口」「幕府政治の動揺」で扱う。○コラム「秀吉とフェリペ2世」「宣教師の見た日本人」「秀吉はなぜパレンを追放したか」「鎖国」「浮世絵とジャポニズム」で扱う。

(5) 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い

○小単元「ロシア革命と大戦の終結」の「総力戦」の項で扱う。○小単元「共産主義とファシズムの台頭」の「ファシズムの脅威」の項で扱う。

○小単元「日中戦争(支那事変)」の「中戦争の始まり」の項で扱う。○小単元「大東亜会議とアジア諸国」の「アジア諸国と日本」の項で扱う。

○小単元「戦時下の国民生活」で扱う。○コラム「迫害されたユダヤ人を助けた日本人」「日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々」「戦時国際法と戦争犯罪」で扱う。

(6) 「近代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い

○小単元「近隣諸国との国境画定」の「北方の領土確定」「台湾出兵と琉球処分」の項で扱う。

○小単元「占領下の日本」の「領土の縮小と復員・引きあげ」の項で扱う。○小単元「独立の回復と米ソ冷戦」の「独立の回復」の項で扱う。

○小単元「21世紀の日本の進路」の「中国の台頭」「朝鮮半島と日本」の項で扱う。

(7) 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い

○小単元「占領下の日本」の「日本国憲法の制定」の項で扱う。○小単元「独立の回復と米ソ冷戦」の「独立の回復」の項で扱う。

○小単元「世界の奇跡・高度経済成長」の「高度経済成長」「外交関係の進展」の項で扱う。○コラム「昭和天皇 国民とともに歩まれた生涯」で扱う。

(8) 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い

○小単元「世界の奇跡・高度経済成長」の「外交関係の進展」の項で扱う。○小単元「戦後の文化」の「世界に広がる日本の文化」の項で扱う。

○小単元「冷戦の終焉と冷戦の推移と日本の経済発展」の「共産主義の崩壊」「湾岸戦争とテロとの戦い」の項で扱う。○小単元「21世紀の日本の進路」の「日本の進むべき道」の項で扱う。○コラム「勇気と友情の物語(エルトゥール号事件・台湾に巨大ダムをつくった八田與一)」「東日本大震災と日本人」で扱う。

(9) 巻頭・巻末での資料

○巻頭に「日本の伝統的工芸品(地図・写真)」「旧国名と都道府県名(地図)」「歴史を学ぶとは」「日本の歴史の舞台(地図・写真)」が掲載されている。

○巻末に「歴史を学んで」「事項さくいん」「人名さくいん」「歴史年表」「年号→西暦早見表」が掲載されている。

7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く

○第2章「中世の日本」のコラム「日本人の名字の由来」で、「武田信玄」が紹介されている。

○小単元「室町幕府と守護大名」で、主な守護大名を表した地図に、「武田」が記述されている。

○第3章「近世の日本」の小単元「戦国大名」で、信玄塚の図、信玄の肖像画が掲載されている。

○小単元「信長と秀吉の全国統一」で、「長篠合戦図屏風」と解説が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	7	3%	21	0	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0
古代までの日本	52	19%	57	20	15	17	17	7	125	5	3	23	8	24
中世の日本	32	12%	52	5	5	8	10	5	74	3	5	9	3	24
近世の日本	54	20%	106	12	17	15	22	4	144	3	1	15	13	49
近代日本と世界	54	20%	105	4	20	16	21	9	132	4	0	20	21	50
	44	16%	63	2	28	10	15	5	112	4	0	17	16	34
現代日本と世界	27	10%	53	2	11	5	10	0	72	4	0	8	13	23
合 計	270	100%	457	45	96	71	96	30	663	24	9	92	74	204

※全体を7章（*以下「各章」と表現）の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

- 各章のはじめの年表や資料、「鳥の目で見える○○」「虫の目で見える○○」で、その時代を大観し特色をつかむ活動が設定されている。
- 各章の終わりの「学習のまとめ」で、その時代の特色を捉えるような活動が設定されている。

3 言語活動（思考力・判断力・表現力の育成）の扱いについて

- 各章のはじめの「虫の目で見える○○」で、一枚の絵からその時代の特色を読み取る課題が設定されている。
- 各小単元に、学習したことを活用して、自分の言葉で表現する活動が設定されている。
- 各章の終わりの「学習のまとめ」のなかで、各時代の歴史を大観し、その時代の「日本の変化」やその時代の特色について、自分の言葉で説明する課題が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各小単元のはじめに学習課題が示され、最後に学習課題をとらえることができたか確認するために、課題に対して自分の言葉で表現する活動が設定されている。
- 各章の終わりには、年表や地図の中に入来事や人物、地名などの語句を入れる課題や、歴史を大観し特色をつかむ課題が設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

- A B判で、本文を補足する写真や資料が豊富に掲載されている。重要語句・重要人物は太字のゴシックで分かりやすく表記している。国宝、重要文化財、世界遺産の写真資料がマークで示されている。

6 内容とその扱いについて

- 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い
 - 「年代の表し方」「時代区分の表し方」が掲載されている。
 - 「歴史人物Q&Aカードをつくってみよう」で、小学校で学んだ人物を例にして、歴史学習の楽しさについて掲載している。
 - 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い
 - 出土した遺物の写真が、30点掲載されている。
 - 「縄文時代探検!」「吉野ヶ里遺跡」「世界最大の墓・大仙古墳」「歴史を解明する考古学」「木簡が語る人々の暮らし」のコラムがあり、遺物からうかがえる当時の様子が掲載されている。
 - 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い
 - 小単元「元寇と鎌倉幕府のおとろえ」の「モンゴル帝国」「元の襲来」の項で扱う。 ○コラム「ユーラシアを一つにつないだモンゴル」で扱う。
 - 小単元「室町幕府と東アジア」の「明の建国と倭寇」「朝鮮国の建国」の項で扱う。
 - 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い
 - 小単元「ヨーロッパ人の世界進出」「ヨーロッパ人の来航」「鎖国への道」「鎖国」の時代に開かれていた窓口」「欧米諸国の接近」で扱う。
 - コラム「ルネサンスと宗教改革」「支倉常長一幻となったメキシコ貿易の夢」で扱う。 ○小単元「豊臣秀吉の政治と外交」の「対外政策と朝鮮出兵」の項で扱う。 ○小単元「雄大で豪華な桃山文化」の「南蛮文化」の項で扱う。
 - 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い
 - 小単元「ロシア革命と第一次世界大戦の終結」で扱う。 ○小単元「共産主義とファシズムの台頭」の「ファシズム」の項で扱う。 ○小単元「第二次世界大戦」の「ドイツの攻勢」の項で扱う。 ○小単元「戦時下の暮らし」「戦争の終結」で扱う。 ○コラム「杉原千蔵と樋口季一郎」「昭和20年、戦局の悪化と終戦」で扱う。
 - 「近代の日本と世界」と「現代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い
 - 小単元「明治初期の外交と国境の画定」の「北方の国境と守り」「清と沖縄」の項で扱う。 ○小単元「朝鮮戦争と日本の独立回復」の「朝鮮戦争と日本の独立」の項で扱う。 ○小単元「冷戦と昭和時代の終わり」の「アジア諸国との関係」の項で扱う。 ○小単元「日本の現状とこれから」の「世界のための日本の役割」の項で扱う。 ○コラム「我が国固有の領土である国境の島々」で扱う。
 - 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い
 - 小単元「占領下の日本と日本国憲法」「世界の奇跡・高度経済成長」「冷戦と昭和時代の終わり」「戦後と現代の日本文化」で扱う。
 - 小単元「朝鮮戦争と日本の独立回復」の「朝鮮戦争と日本の独立」の項で扱う。
 - 小単元「冷戦と日本」の「安保闘争と経済発展」の項で扱う。
 - 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い
 - 小単元「朝鮮戦争と日本の独立回復」の「朝鮮戦争と日本の独立」の項で扱う。
 - 小単元「冷戦と日本」の「安保闘争と経済発展」の項で扱う。
 - 小単元「世界の奇跡・高度経済成長」の「高度経済成長」の項で扱う。
 - 小単元「冷戦と昭和時代の終わり」の「アジア諸国との関係」の項で扱う。
 - 小単元「戦後と現代の日本文化」「日本の現状とこれから」で扱う。
 - 巻頭・巻末での資料の扱い
 - 巻頭に「日本の美の形」「～歴史の旅を始めよう～」「～歴史モノサシについて～」が掲載されている。
 - 巻末に「～歴史の旅の終わりに～」」「歴史新聞をつくろう」「歴史のロールプレイをしてみよう」「～日本の歴史を大観する～」」「インターネットを役立てよう」「歴史年表」「世界と日本の世界文化遺産」「各地のおもな遺跡・史跡」が掲載されている。
- 7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く
- 第3章の小単元「応仁の乱と戦国大名」で、「おもな戦国大名」の地図に、「武田信玄」ならびに「武田」が記述されている。
 - コラム「戦国大名の富国策」で、「信玄堤」について記述されている。
 - コラム「世界文化遺産・富士山と日本人」で「富士山」について記述されている。
 - 第7章の「虫の目で見える現代」で「超伝導リニア」について記述されている。

概要

1 概括的な調査研究

	頁	割合	人物 (人)	伝統 文化	国際	コラム	課題 学習	文献 資料	実物 資料	年表	系図	地図	図表	説明注
歴史のとらえ方	6	2%	3	1	0	1	10	0	5	2	0	0	0	0
古代までの日本	46	16%	35	35	30	20	1	4	115	1	2	28	17	18
中世の日本	32	11%	44	50	12	19	1	8	82	0	2	14	2	15
近世の日本	56	19%	68	26	24	23	0	7	161	0	0	16	16	21
近代日本と世界	48	17%	41	10	33	20	1	6	123	2	0	19	10	22
	64	22%	60	13	57	30	1	25	164	3	0	20	20	38
現代日本と世界	38	13%	22	2	25	19	1	13	90	4	0	14	5	12
合計	290	100%	273	137	181	132	15	63	740	12	4	111	70	126

※全体を6部の大単元の構成とし、近代は第一次世界大戦で前後半に分けている。

2 我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習の扱いについて

- 「歴史への案内」において、序章で小学校での人物を扱い、人物カードと年表を作ることで日本の歴史を大きくとらえる取り組みが設定されている。
- 各章のはじめには各章ごとにテーマを設定し、地図とともに資料が掲載されている。章の終わりには「第○章をふりかえる」という内容で、空欄を埋めて単元をまとめる形式となっている。
- 各部ごとの終わりに複数の章をまとめる形式の課題が設定されている。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各章の学習の終わりには、単元を語句でまとめる課題が設定されている。
- 各部ごとの終わりには、話し合い活動、文章による表現、資料説明を行う課題が設定されている。

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各部ごとのはじめに「学習課題」という項が設定されている。
- 「歴史を体験する」という項で、「火と人類の歴史をさぐる」「インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る」「地域の歴史を歩く『綿から糸を紡ぐ』」「山本宣治の人物調べ」「一人一人の歴史・家族の歴史」というテーマが設定されている。

5 文字や記号の表記や表現について

- A判で作られているため文字が大きく資料も豊富である。大単元ごとに背景の色分けがされている。
- 文字は全て明朝体で記述されている。

6 内容とその扱いについて

- 「歴史のとらえ方」での「歴史を学ぶ意欲を高め、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる」についての扱い
 - 「歴史への案内」において、「歴史を楽しく学ぼう」が設定され、小学校で学んだ人物をカードにしてまとめる活動が紹介されている。
 - 西暦と世紀について、図を用いて説明している。十干十二支の説明と時代区分について説明している。
 - 「歴史への案内」で小学校での学習内容(人物)と年表との関わりについて課題が示されている。
 - 部ごとに「学習のまとめ」が設けられており、広い視野で大観できる工夫がされている。
 - 「古代までの日本」での「考古学などの成果の活用」についての扱い
 - 出土した遺物の写真が、40点掲載されている。
 - 小単元「湖にゾウを追う」で野尻湖遺跡と相沢忠洋の成果について示されている。
 - 「中世の日本」での「東アジア世界との密接なかかわり」についての扱い
 - 章の最初に「交通手段」をテーマに交易について説明している。
 - 小単元「交易で栄えた博多」「一つにつながるユーラシア」「境界に生きる人びと」「アジアの海をつなぐ王国」で扱う。
 - 「近世の日本」での「外国とのかかわり」についての扱い
 - 章の最初に「海でつながる世界」をテーマに交易や人びとの移動について説明している。
 - 小単元「大西洋の東と西」「インドに出現した船隊」で扱う。○小単元「銀と戦国大名」の「日本の銀と中国の絹織物」の項で扱う。○小単元「倭寇がもたらした火縄銃」「僧が見た朝鮮の民衆」「日本町が消える」「北の海から来た昆布」「江戸に行く朝鮮通信使」「毛皮を求めて東へ」「外に危機、内にも悩み」で扱う。
 - 「近代の日本と世界」での「大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと」についての扱い
 - 小単元「すべての力を戦争へ」で扱う。○小単元「パンを、平和を、土地を」の「戦争からの脱出」の項、及びコラム「パンを求めて」で扱う。
 - 第9章のはじめの「大戦の終わりを迎えた世界」で扱う。○小単元「ヒトラーの独裁がはじまる」の「水晶の夜」の項およびコラム「ピカソが描いたゲルニカ爆撃」で扱う。○小単元「戦火は上海、南京、重慶へ」「戦火に追われる人びと」「東南アジアの日本軍」で扱う。
 - 小単元「ぜいたくは敵だ」の「皇民化政策」の項で扱う。○小単元「枢軸国と連合国の戦い」の「ドイツの侵攻と抵抗運動」の項で扱う。
 - 小単元「戦争と二人の少女」で扱う。○小単元「赤紙が来た」のコラム「赤紙が来た村」で扱う。
 - 小単元「餓死、玉砕、特攻隊」「町は火の海」「荒れ狂う鉄の暴風」「にんげんをかえせ」で扱う。
 - 「近代の日本と世界」と「現代の日本と世界」での「領土の画定」についての扱い
 - 小単元「北・南を組み込み、国境を引く」で扱う。○小単元「戦場は中国だった」の「戦争の終結」の項の注釈で扱う。
 - 小単元「インドも中国も来なかった」の「日本が独立する」の項および注釈で扱う。○小単元「基地の中の沖縄」の「本土への復帰」の項で扱う。
 - 「現代の日本と世界」での我が国の民主化と再建の過程についての扱い
 - 小単元「焼け跡からの出発」「もう戦争はしない」「走れ、ぞう列車」「インドも中国も来なかった」「ゴジラの怒り、サダコの願い」「国会を包囲する人波」「豊かさとその代償」で扱う。○小単元「第三世界と東西陣営」のコラム「東京オリンピック」で扱う。
 - コラム「日本と朝鮮戦争」で扱う。
 - 「現代の日本と世界」での国際社会における我が国の役割についての扱い
 - 小単元「ゴジラの怒り、サダコの願い」「豊かさとその代償」「基地の中の沖縄」「問い直される戦後」「持続可能な未来を」で扱う。
 - 小単元「パレスチナの平和」の「中東戦争と石油危機」の項で扱う。○小単元「絶えない戦火」の「海を越える自衛隊」の項で扱う。
 - 巻頭・巻末での資料の扱い
 - 巻頭に「歴史地図(世界)」が掲載されている。
 - 巻末に「歴史地図(日本)(昔の国名と国境)」が掲載されている。
- 7 山梨県の歴史的事象について ※県名のみ場合は除く
- 第3章の小単元「東国に幕府をつくる」の注釈に、「甲斐善光寺」所蔵の源頼朝像が掲載されている。
 - 第4章の小単元「銀と戦国大名」で、「武田信玄」の肖像画が掲載されている。

概要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	28	14%	20	3	12	38	0	1	1	2	0	19	95
政治	38	19%	0	2	16	43	3	39	6	2	1	24	105
	46	23%	2	0	22	57	3	11	12	2	1	58	111
経済	50	25%	1	0	21	67	3	9	12	1	2	103	126
国際社会	38	19%	1	6	17	41	5	3	4	14	3	31	101
合計	200	100%	24	11	88	246	14	63	35	21	7	235	538

※政治上段は第2章個人の尊重と日本国憲法、下段は第3章現代の民主政治と社会。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

- 第1章3節で、8頁にわたって取り扱い、「学校でのトラブル」「マンションの駐輪場問題」をあげて考えさせている。
- 第2章以降にも「効率・公正」のマークを付した頁が随所に見られ、「対立と合意」「効率と公正」の見方や考え方について考えさせている。

3 言語活動（思考力・判断力・表現力の育成）の扱いについて

- 小単元末に、文章で説明させる問いが用意されている。
- 各章末に「学習の確認」として言語活動に関する問いが用意されている。
- 第1章 ・ 伝統文化の継承と私たち【調査活動、意見交換】 ・ 学校でのトラブル、マンションの駐輪場問題【討論・意見交換】
- 第2章 ・ ちがいのちがいの【討論・意見交換】 ・ 私の選ぶ順番は【意見交換・現状分析】 ・ 共生社会と私たち【討論・意見交換】
- ・ ちがいのちがいを追求しよう【討論、まとめ】
- 第3章 ・ だれを市長に選ぶべき【討論・意見交換、比較・分析】 ・ 新聞でメディアリテラシーを身につけよう【討論・意見交換、比較・分析】
- ・ 東日本大震災からの復興と防災【討論・意見交換、調査活動】
- 第4章 ・ 利潤の配分について考えよう【討論・意見交換】 ・ 働くことについて考えよう【討論・意見交換、比較・分析】
- ・ 貿易の自由化と日本【討論・意見交換、調査活動】 ・ コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう【表現活動、仮説・推論、比較・分析】
- 第5章 ・ パター戦争【討論・意見交換、現状分析】 ・ ノバレスチナ問題と中東和平【意見交換】 ・ アニマル大陸の危機を救おう【討論・意見交換】

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各章単元のはじめに学習問題が示され、最後に学習内容を説明させる課題が設定されている。
- 第1章 ・ スーパーマーケットから現代の社会を見よう【比較・分析、仮説・推論】 ・ 学習の確認③【仮説・推論】
- 第2章 ・ バリアフリーについて考えよう【図解・図示】 ・ 「公共の福祉」について考えよう【比較・分析、仮説・推論、討論】
- ・ プライバシーの権利と表現の自由について考えよう【比較・分析】 ・ アイヌ民族と先住民族の権利【比較・分析、調査活動】
- 第3章 ・ 多数決について考えよう【比較・分析、仮説・推論】 ・ 選挙シミュレーション【現状分析】 ・ 模擬裁判をやってみよう【表現活動】
- ・ 地方財政（歳出）の変化を調べよう【図解・図示、比較・分析】 ・ 私たちの政治参加【調査活動、仮説・推論】
- ・ X市の市長選挙に立候補しよう【仮説・推論、比較・分析】
- 第4章 ・ コンビニエンスストアの経営者になってみよう【比較・分析、仮説・推論】 ・ お金の使い方を考えよう【比較・分析】
- ・ 広告について考えよう【図解・図示】 ・ 需要量・供給量・価格の関係について考えよう【図解・図示】
- ・ 日本の社会保障と財政のあり方を考えよう【現状分析、仮説・推論】 ・ 円高・円安の影響について考えよう【比較・分析】
- ・ 公害のない社会へ【比較・分析、調査活動】
- 第5章 ・ 温室効果ガスの排出削減について考えよう【比較・分析、仮説・推論】 ・ 日本のエネルギー政策のこれから【現状分析、仮説・推論】
- ・ 貧困問題の解決について考えよう【現状分析、仮説・推論】 ・ 文化の多様性について考えよう【討論・意見交換】
- 終章 ・ 持続可能な社会の実現【調査活動、表現活動、仮説・推論、まとめ】

5 文字や記号の表記や表現について

- AB判で、ゴシックやルビ、資料の説明が分かりやすい。○大単元毎に背景が色分けされている。○課題やコラムが統一された形態で表されている。

6 内容とその扱いについて

- 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い
 - 小単元「グローバル化」の「グローバル化とは」「国際競争と国際分業」「国際問題と多文化社会」の項で扱う。
 - 小単元「情報化」の「情報化とは」の項で扱う。○小単元「少子高齢化」の「少子高齢化社会とは」「多様化する家族」の項で扱う。
 - 小単元「多文化社会を目指して」の「多文化共生と異文化理解」の項で扱う。
- 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い
 - 小単元「貨幣の役割と金融」の「お金の貸し借りと金融」「金融の方法と働き」の項で扱う。
 - 小単元「私たちの生活と金融機関」の「銀行の仕組みと働き」「預金通貨」「日本銀行の役割」の項で扱う。
 - 小単元「景気と金融政策」の「日本銀行の金融政策」の項で扱う。
- 「国民の生活と政府の役割」での租税の意義と役割についての扱い
 - 小単元「私たちの生活と財政」の「財政の仕組み」「税金の公平性」の項で扱う。
 - 小単元「政府の役割と財政の課題」の「市場経済と政府」「財政政策」の項で扱う。
- 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い
 - 小単元「人権の歴史」の「人権思想の成立」「人権思想の発展と広がり」の項で扱う。
 - 小単元「基本的人権と個人の尊重」の「人権を保障すること」「だれもが持っている権利」「子どもの人権」の項で扱う。
 - 小単元「参政権」「裁判を受ける権利」「その他の請求権」の項で扱う。
 - 小単元「グローバル社会と人権」の「人権保障の国際的な広がり」「これからの社会と人権保障」の項で扱う。
- 「民主政治と政治参加」での選挙の意義についての扱い
 - 小単元「民主主義と政治」の「多数決と少数意見の尊重」の項で扱う。
 - 小単元「政治参加と選挙」の「政治参加としての選挙」「日本の選挙制度」「選挙の課題①」「選挙の課題②」の項で扱う。
- 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土（領空、領海を含む）、国家主権、主権相互の扱い
 - 小単元「国際社会における国家」の「国家とは」の項で扱う。
 - 小単元「新興国の台頭と経済格差」の「グローバル化と相互依存」の項で扱う。
- 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学びについての扱い
 - 終章「持続可能な社会を実現するための探求の方法」「レポートの作成」の項で扱う。
- 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 第1章1節③少子高齢化「移動販売を行うコンビニエンスストア」を写真で紹介（上野原市）
 - 第1章2節①私たちの生活と文化の役割「山中湖に映る富士山」を写真で紹介
 - 第4章2節②株式会社の仕組みと企業の社会的責任「大手C社の社会貢献活動」を写真で紹介（身延町）

[調査票 I] 【17 教出】 (中学校 社会・公民的分野)

概 要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	22	11%	12	2	11	20	4	1	0	0	0	18	58
政 治	40	20%	2	3	26	37	26	34	3	2	1	55	76
	44	22%	0	0	30	43	40	2	7	2	2	67	64
経 済	60	32%	0	0	29	59	36	5	1	0	0	108	100
国際社会	30	15%	0	9	16	28	26	3	0	8	0	32	63
合 計	196	100%	14	14	112	187	132	45	11	12	3	280	361

※政治上段は第2章人間を尊重する日本国憲法、下段は第3章私たちの暮らしと民主政治。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

○第1章3節で、8頁にわたって取り扱い、「学校でおこなさまざまな問題」「マンションの駐車場問題」「プロ野球選手の契約交渉」を例にあげて考えさせている。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

○各章末に「学習のまとめと表現」として言語活動に関する問いが用意されている。

- 第1章 ・つなげたい、日本の伝統や文化【表現活動】 ・学校でおこなさまざまな問題、マンションの駐車場問題、プロ野球選手の契約交渉【討論・意見交換】
・「情報リテラシー」ってなんだろう【討論・意見交換】
- 第2章 ・犯罪の防止か、プライバシーの保護か【討論・意見交換、まとめ】
- 第3章 ・もしも私が裁判員裁判に参加したら【表現活動】 ・まちづくりのアイデアを提言しよう【表現活動、調査活動】
- 第4章 ・企業にこんな社会的責任(CSR)を行ってほしい【意見交換・表現活動】
- 第5章 ・社会保障関係費の推移と内訳【意見交換】 ・福祉の課題を追求しよう【討論・意見交換、表現活動】
- 第6章 ・地球環境問題のかかわり【討論・意見交換】

4 課題解決的な学習の扱いについて

○各章単元のはじめに学習問題が示され、最後に振り返りの課題が設定されている。

- 第1章 ・総人口と年齢別人口、高齢化の推移【図解・図示、仮説・推論】 ・日本の主な年中行事と季節に関する暦【調査活動】
- 第2章 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の比較【比較・分析】 ・「経済活動の事由」と「職業選択の自由」【比較・分析、仮説・推論】
・ともに生きる社会を目指す人たち【調査活動、表現活動】 ・介護の仕事に就いている人【図解・図示、現状分析】
・個人情報が出した主な理由【現状分析、仮説・推論】 ・世界の地域別の中等教育就学率【図解・図示、仮説・推論】
・国際社会の厳しい現実と平和主義【調査活動】
- 第3章 ・衆議院議員一人当たりの有権者数【図解・図示、仮説・推論】 ・議院内閣制と大統領制【現状分析、比較・分析】
・刑事裁判の仕組み【比較・分析、仮説・推論】 ・日本とアメリカの法曹の人数【図解・図示、比較・分析】
- 第4章 ・経済主体の結びつき【現状分析】 ・消費の内訳の推移【図解・図示、仮説・推論】 ・生産や販売サービスの集中度【仮説・推論】
・需要曲線と供給曲線ってなんだろう【比較・分析、仮説・推論】 ・製造業の事業所規模別の割合【現状分析】
・所得格差を表すジニ係数の推移【比較・分析】 ・国債残高と国債依存度の推移【図解・図示、仮説・推論】
- 第5章 ・年齢階層別失業率の推移【仮説・推論】 ・都道府県民所得の推移【図解・図示、仮説・推論】
・日本における相対的貧困率の推移【現状分析、仮説・推論】 ・貿易とはなんだろう【現状分析、仮説・推論】
- 第6章 ・日本の外交のいま【現状分析、仮説・推論】 ・世界の難民数の推移【図解・図示、比較・分析】 ・二酸化炭素の排出量【比較・分析】
- 終章 ・未来への約束【調査活動、表現活動、仮説・推論、まとめ】

5 文字や記号の表記や表現について

○A判でゴシックやマルビ、用語の説明が分かりやすい。 ○大単元毎に背景の色分けがされている。 ○コラムの形態が統一されており見やすい。

6 内容とその扱いについて

- (1) 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い
 - 小単元「いまを生きるということ」の「さまざまな『つながり』の持つ意味」「いまを一生懸命生きること」の項で扱う。
 - 小単元「つながる私たちと世界」の「世界とつながる私たち」「情報の広がりと活用」の項で扱う。
 - 小単元「世を超えたつながりへ」の「進む少子化と高齢化」「直面する課題」「世を超えてともに生きる」の項で扱う。
- (2) 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い
 - 小単元「間接金融の代表、銀行」の「金融とは」「銀行の役割」「中央銀行の役割」の項で扱う。
 - 小単元「直接金融の舞台」の「身近になった株式市場」「投資とはなんだろう」「株式市場のはたらき」「投資と投機」の項で扱う。
 - 小単元「市場経済のなかの社会的責任」の「金融機関の責任」の項で扱う。
 - 小単元「経済政策が目ざすもの」の「経済政策」の項で扱う。
- (3) 「国民の生活と政府の役割」での租税の意義と役割についての扱い
 - 小単元「財政が果たす三つの役割」の「所得の再分配」の項で扱う。
 - 小単元「税金を納めること」の「国税と地方税」「租税の効率性と公平性」の項で扱う。
 - 小単元「税金の行方と国の借金」の「歳入と歳出」「国と地方」の項で扱う。
- (4) 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い
 - 小単元「犯すことのできない永久の権利」の「人権思想の誕生」「人権思想の発展」の項で扱う。
 - 小単元「憲法はこうして生まれた」の「憲法の人権保障」の項で扱う。
 - 小単元「基本的人権を守るために」の「参政権」「請求権」「人権を守るためのしくみ」の項で扱う。
 - 小単元「人権侵害のない世界に」の「世界各国の共通基準」「人権問題への国境を越える取り組み」の項で扱う。
- (5) 「民主政治と政治参加」での選挙の意義についての扱い
 - 小単元「政治とはなんだろう」の「人々が参加する政治」の項で扱う。
 - 小単元「国民の代表を選ぶ選挙」の「選挙で議員を選ぶこと」「日本の選挙制度」「選挙の課題」の項で扱う。
- (6) 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土(領空、領海を含む)、国家主権、主権相互の扱い
 - 小単元「国際社会の『理想と現実』」の「緊張関係が存在する東アジア」の項で扱う。
 - 小単元「国際社会と国家」の「主権国家とは」「主権が及ぶ範囲」の項で扱う。
- (7) 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学習についての扱い
 - 小単元「『未来への私の約束』をつくらう」の「『未来への私の約束』の作成への主な流れ」の項で扱う。
 - 小単元「持続可能な未来への行動」の「『未来への私の約束』を持って」の項で扱う。
- (8) 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 第4章3節②税金を納めること「全国初の法定外目的税『遊漁税』の実施」を写真で紹介(河口湖)
 - 第5章1節⑤暮らしやすいまちづくりへ「笹子トンネルの崩落事故の補修工事」を写真で紹介している。

概 要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	18	10%	15	2	3	2	2	2	1	0	0	11	31
政治	42	23%	0	0	11	28	18	22	3	2	1	10	59
	31	17%	1	3	7	24	58	4	1	2	0	26	33
経済	64	34%	4	2	10	59	78	15	3	2	1	74	55
国際社会	29	16%	1	9	8	16	40	2	0	6	2	13	37
合計	184	100%	21	16	39	129	196	45	8	12	4	134	215

※政治上段は第1編第1章人間の尊重と日本国憲法および第3章平和主義、下段は第2章国民主権。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

- 序章 ・「ともに生きる社会をめざして」の「対立から合意へ」「決まりをつくる」「効率と公正」「ともに生きる社会」の項目で扱う。例として「新しい体育館が完成したことを想定して、バスケットとバレー部での体育館の使い方を話し合う」をあげている。
- 第1編 ・「死刑制度について考える」の資料「国別の死刑制度のある国・ない国」、内閣府世論調査「死刑制度についてのおもな意見」を掲載して、死刑制度の是非を扱う。
- 第2編 ・「TPPと日本」の資料「TPP参加で日本が受ける影響」「TPP参加国と日本の貿易」「日本の農業の実態」「日本のEPAの現状」より「対立と合意」「効率と公正」に沿った視点で取り上げている。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各章末に、学習のまとめとして、言語活動に関する問いが用意されている。
- 序章 ・序章「まとめ」のなかで、「〇〇な現代社会」「現代社会は〇〇だ!」とタイトルをつけて、理由を説明する【表現活動】
- 第1編 ・職場での男女平等、ハンセン病患者のたたかい、部落差別の撤廃、外国人についての平等権について考える【まとめ】
・「ユネスコ学習権宣言」をもとに、もし「学ぶ」権利がなかったら、世界の未来はどうかを考える【仮説・推測】
・「私たちの生活と政治」に関することばを説明し、図表に記入して完成させる【図解・図示】
- 第2編 ・「私たちの生活と経済」に関することばを説明し、図表に記入して完成させる【図解・図示】
- 第3編 ・「国際社会を生きる」に関することばを説明し、図表に記入して完成させる【図解・図示】

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各小単元のはじめに、学習問題が提示されている。
- 序章 ・「個人で」「班(グループで)」「クラスで」の視点で「〇〇なルール」をつくる【表現活動】
- 第1編 ・死刑制度について考える【調査活動】
・選挙をめぐる問題(インターネットによる選挙運動の解禁の課題とは)【調査活動、まとめ】
- 第2編 ・株価の変動、その原因を考える【調査活動】
・為替とクレジットカードのメリット・デメリットをカード会社・販売店・消費者の立場から考える【仮説・推測、まとめ】
・社会保障給付費とその財源の問題点を考える【調査活動】
・非正規社員について働く側と雇う側のそれぞれの視点でメリット・デメリットを考える【調査活動、まとめ】
- 第3編 ・核兵器廃絶に向けて、資料および中学生の体験談から私たちができることを考える【調査活動、まとめ】
・地球環境の危機について、写真や世界地図、年表を活用して考える【調査活動、まとめ】
・卒業論文を書いてみよう【資料の比較分析、調査活動、まとめ】

5 文字や記号の表記や表現について

○B判で、ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。○内容の種類毎に記号や色が使われている。○各偶数頁に章名、奇数頁に中単元が表記されている。

6 内容とその扱いについて

(1) 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い

- 小単元「私たちの生活と文化」で写真(2013年に登録されたユネスコ無形文化遺産の「食文化」、ジャパンエキスポに集まったフランスの若者)を扱う。
- 小単元「日本の文化を考えてみよう」で写真(海外に進出しているカラオケ・回転すし店・J-POP)を扱う。

(2) 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い

- 小単元「株式会社とは」の「株式会社のしくみ」「株式会社の経営」の項で扱う。
- 小単元「金融のしくみと役割」の「金融と銀行」「金融の新しいごき」の項で扱う。
- 深める公民⑩「この株、いくら?」「為替とクレジットカードのしくみ」の項で扱う。

(3) 「国民の生活と政府の役割」での租税の意義と役割についての扱い

- 小単元「租税」の「租税の種類」「租税のはたらきと課題」の項で扱う。○小単元「地方財政」の「地方公共団体の税金」の項で扱う。
- もっと知りたい公民⑦「社会保障のしくみ」の「社会保障給付費とその財源」の図表から私たち自身の生活と直接関わる問題として考える。

(4) 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い

- 小単元「民主政治の発達」の「憲法にもとづく政治」の項で扱う。○小単元「基本的人権の保障」で扱う。
- もっと知りたい公民⑧「日本国憲法に定められた基本的人権の分類例」の項で扱う。
- 深める公民②「冤罪と日本国憲法一憲法とは何か?」の項で扱う。
- 深める公民③「平等権について考える」の項で扱う。○深める公民④「社会権について考える」の項で扱う。
- 深める公民⑤「人権を守る心は国境をこえて」の項で扱う。

(5) 「民主政治と政治参加」での選挙の意義についての扱い

- 小単元「選挙のしくみ」の「選挙」「選挙のしくみ」「選挙をめぐる問題」の項で扱う。
- 小単元「政党の役割」の「現代政治の課題」の「2014年衆議院選挙の政党ごとのマニフェストをまとめてみよう」で扱う。
- 深める公民⑥「選挙をめぐる問題」から「低投票率」「選挙権年齢引き下げ」「1票の格差」の図表を活用して選挙問題を考えさせる。

(6) 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土(領空、領海を含む)、国家主権、主権相互の扱い

- 小単元「国際政治と法」の「独立国(主権国家)」「国際政治と国際法」の項で扱う。

(7) 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学びについての扱い

- 小単元「未来をつくる君たちへ」の「持続可能な社会のために」の項で扱う。○もっと知りたい公民⑩「卒業論文を書いてみよう」の「情報集め」「テーマの決定」「取材のしかた」「調査の結果のまとめ」「発表のしかた」で扱う。

(8) 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く

- 序章：小単元「持続可能な未来へ」の(図1)地球上の風景として「富士山」を扱う。

概 要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	28	14%	10	1	9	36	7	4	1	1	1	19	52
政 治	30	15%	2	3	12	39	17	25	2	0	1	23	59
	44	22%	2	2	22	48	33	20	14	1	1	58	82
経 済	60	32%	1	1	41	68	44	15	2	0	0	97	69
国際社会	34	17%	1	7	25	23	27	3	0	11	2	24	63
合 計	196	100%	16	14	109	214	128	67	19	13	5	221	325

※政治上段は第2部第1章民主主義および第2章日本国憲法、下段は第3章国の政治および第4章地方自治。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

- 第1部 ・「住み良いマンションにしていこう！」で「マンションで起こっている問題」を取り上げ、小単元「対立と合意へ」で、「スロープ設置の費用をだれがいくら負担する?」「ごみおき場の掃除規則は変えられる?」を例としてあげている。
 - ・トリアル公民「マンションの騒音問題を解決しよう」、「効率」と「公正」の観点でロールプレイングを行って解決策を検討する。
- 第2部 ・「死刑制度について考える」「監視カメラの設置について」「タレントのプライバシー保護について」では、対立軸を明確にして、「Yes No」で答える課題を設定している。
- 第3部 ・「外国人労働者の本格的な受け入れ」「国債の発行」では、対立軸を明確にして「Yes No」で答える課題を設定している。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各部の最後の「学習をふりかえろう」で、学習内容を説明させる課題が設定されている。
- 第1部 ・30年前と今の社会を比較してみよう【資料の比較分析】
- 第2部 ・暮らしを良くする政治を考えてみよう【仮説・推測】 ・裁判の判決を考えてみよう【仮説・推測, 表現活動】
 - ・まちづくりを考える【仮説・推測, 図解】
- 第3部 ・身のまわりの暮らしと経済について考えてみよう【資料の比較分析】 ・パン屋の経営者になってみよう【仮説・推測, 表現活動】
 - ・新幹線の建設費はだれが負担しているの?【仮説・推論, まとめ】 ・消費税をいくら負担しているの?【調査活動】
 - ・赤字バス路線に税金を使うべきか?ディスカッションを行う【表現活動】 ・日本の社会保障の選択は?【仮説・推測】
- 第4部 ・世界の子どもたちと協力できることを考えてみよう【資料の比較分析】
- 第5部 ・より良い社会をめざして(課題設定, 探究計画, 調査, レポート作成・発表の手順を示す)【表現活動】

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各部の冒頭、見開きで学習テーマが示され、テーマに関わるイラストが掲載されている。
- 小単元によっては、奇数頁右下の欄外に第5部につながる「テーマ例」が掲載されている。
- 各小単元の奇数頁右下に「確認しよう」「説明しよう」と、学習の内容を確認したり、自分の考えをまとめたりする問いが設定されている。
- 各章では「学習をふりかえろう」において、第5部への準備として、考えるポイントを設定している。
- 各章単元のはじめに学習問題が示され、最後に確認させたり、説明させたりする課題が設定されている。
- 第1部 ・マンションの騒音問題をロールプレイングで解決しよう【表現活動】
- 第2部 ・報道から事実と意見を区別してみよう!【調査活動】 ・防災とまちづくり【調査活動, まとめ】
- 第3部 ・おこづかいの使い方を考える【調査活動】 ・家計簿をみてみよう【調査活動】 ・どちらの企業を選ぶ【資料活用】
 - ・日本経済の発展に必要なこと【調査活動, まとめ】 ・企業の企画書を完成させよう(あなたがつくりたい企業を考える)【まとめ】
 - ・少子高齢化社会における日本の財政を地方公共団体と国の取り組みから考える【調査活動, まとめ】
- 第4部 ・地球環境問題の解決に向けて地方公共団体の環境への取り組みを考える【調査活動, まとめ】
- 第5部 ・より良い社会をめざして(課題設定, 探究計画, 調査, レポート作成・発表の手順を示す)【表現活動】

5 文字や記号の表記や表現について

- A/B判で、ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。内容の種類毎に記号や色が使われている。
- 地理、歴史的分野との関連として「地理・歴史をふりかえろ」ポイントが示されている。

6 内容とその扱いについて

- (1) 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い
 - 小単元「私たちの現代社会をみてみよう」の「人々の努力と日本の成長」の項で扱う。
 - 小単元「日本の伝統・文化」の「外来文化を受け入れてきた日本文化」の項で扱う。
- (2) 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い
 - 小単元「株式会社のしくみ」の「株式とは何か」の項で扱う。
 - 小単元「金融のしくみとはたらき」の「金融とは」「日本銀行の役割」の項で扱う。
 - 第3部第3章「企業を通して経済を考えよう」の各小単元にコラム「パン屋の経営者になってみよう」の「生産を増やすための資金をどうする?」で扱う。
- (3) 「国民の生活と政府の役割」での租税の意義と役割についての扱い
 - 小単元「私たちの生活と財政」の「財政とは」「財政の役割」の項で扱う。
 - 小単元「国の支出と収入」の「日本の歳入と特色」「日本の歳入と税金の種類」「税金の公平性・効率性」の項で扱う。
- (4) 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い
 - 小単元「民主主義と人権の歩み」の「人権の歩み」の項で扱う。 ○小単元「基本的人権の尊重と平等権」の「個人の尊重」の項で扱う。
 - 小単元「広がる人権の考え方」で扱う。 ○小単元「人権を守るために」の「人権を守るための権利」「社会の一員としてのあり方と公共の福祉」の項で扱う。 ○第3部第2章トリアル公民「青果店を営む男性はどうなる?」で「権利の保障と公共の福祉を考える」の項で扱う。
- (5) 「民主政治と政治参加」での選挙の意義についての扱い
 - 小単元「選挙制度とその課題」で扱う。 ○小単元「国会の役割としくみ」の「国会のおもな仕事」の項の「衆議院と参議院の比較する表」で扱う。
 - 小単元「地方公共団体のしくみと政治参加」の「地方議会・首長と私たち」の項で扱う。
 - 第2部の学習の前に「暮らしを良くする政治を考えてみよう」で市長選挙における候補者の対立から政治の役割を考える。
- (6) 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土(領空, 領海を含む)、国家主権, 主権相互の扱い
 - 小単元「国家と国際社会」の「主権国家とは何か」「国どうしのルール」の項で扱う。 ○小単元「領土をめぐる問題」で扱う。
- (7) 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学習についての扱い
 - 小単元「持続可能な社会をめざして」の「レポート作成の手順」で扱う。
- (8) 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 第5部第5章1「持続可能な社会をめざして」で、世界遺産に登録された「富士山」を紹介している。

概 要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	30	15%	18	2	6	34	3	1	5	3	0	38	78
政治	44	21%	2	1	8	54	15	36	12	3	4	35	77
	44	21%	0	0	10	64	7	3	7	2	0	61	74
経済	56	28%	0	2	15	90	10	10	21	0	1	109	64
国際社会	30	15%	2	21	13	44	6	6	7	7	2	29	59
合計	204	100%	22	26	52	286	41	56	52	15	7	272	352

※政治上段は第2編私たちの生活と政治第1章個人の尊重と日本国憲法、下段は第2編私たちの生活と政治第2章国民民主権と日本の政治。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

- 第1編 ・「社会における私たちが決まりの意義」「対立と合意～見方や考え方その1～」「効率と公正～見方や考え方その2～」「きまりを守る責任とその評価」の項目で扱う。実際に合唱コンクールの練習場所について意見や立場の対立を考え、学級委員の選考方法を例に合意の方法を考える。
- 第2編 ・アクティビティ「死刑制度」、チャレンジ公民「一票の格差の問題を考えよう」では、立場の考えを明確にあらわす資料を提示し、肯定か否定を問う課題を設定している。チャレンジ公民「表現の自由について考えよう」ではブレインストーミングを用いて意見の分類、図解化をして論理的に対立と合意の視点を考える。
- 第3編 ・チャレンジ公民「これからの消費税を考えよう」ではみんなが納得できる税金になっているかという公正の観点から、資料を提示し多面的・多角的に考察している。
- 第4編 ・チャレンジ公民「地球温暖化に対する政策を考えよう」では外交政策案を例示し、それぞれの影響や結果を予測させ合意をめざして考察している。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各編は、「導入ナビ」・「チャレンジ公民」・「ズームイン」・「情報スキルアップ」が設定されている。
- 各編のかわりに、「学習の整理と活用」が設定され、学習内容を説明させるなどの課題が設定されている。
- 第1編 ・現代社会はどんな社会だろうか?【表現活動】 ・統計とグラフを使いこなそう!【資料の比較分析】
- 第2編 ・くらしのなかから政治を考えよう【表現活動】 ・15歳は「子ども」?それとも「大人」?【仮説・推測】
・表現の自由について考えよう【表現活動】 ・情報の読み方と伝え方を学ぼう【資料の比較分析, 表現活動】
・裁判員裁判シミュレーション【仮説・推測, 表現活動】 ・一票の格差の問題を考えよう【仮説・推測, 表現活動】
- 第3編 ・ライフプランを考えよう【表現活動】 ・これからの消費税を考えよう【仮説・推測, 表現活動】 ・金融スキルアップ【表現活動】
- 第4編 ・まんがから国際社会を考えよう【表現活動】 ・地球温暖化に対する政策を考えよう【仮説・推測, 表現活動】
- 第5編 ・持続可能な社会をめざして(課題設定, 資料収集と読み取り, 考察, まとめ方の手順を示す)【表現活動】

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各小単元のはじめに、学習課題が示され、おわりには「学習の確認と活用」が設定されている。
- 第1編 ・「きまりをつくってみよう①, ②, ③」【表現活動】
- 第2編 ・バリアフリーの社会をめざして【調査活動】 ・環境保全への取り組み【調査活動】
- 第3編 ・年金シミュレーション【調査活動】
- 第4編 ・地球環境のためにできること【調査活動】
- 第5編 ・持続可能な社会をめざして(課題設定, 資料収集と読み取り, 考察, まとめ方の手順を示す)【調査活動, まとめ】

5 文字や記号の表記や表現について

- AB判で、ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。ページをめくる際に、編成ごとに色分けがされ、目次名が書かれている。
- 「バリアフリーの社会をめざして」の題材で、点字を採用している。 ○小単元によっては、地理、歴史的分野との関連が示されている。

6 内容とその扱いについて

- (1) 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い
 - 小単元「現代社会における文化」で写真(iPS細胞の説明をする山中伸弥さん、リニア中央新幹線)を扱う。
 - 小単元「受け継ぎ、想像する日本の文化」の「グローバル化と日本文化の創造」の項で扱う。
 - 公民ズームイン「四国八十八か所めぐりー今に生きる日本文化の例ー」の項で扱う。
- (2) 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い
 - 小単元「金融のしくみ」の「金融とは」「銀行のはたらき」の項で扱う。
 - 明日に向かって「金融スキルアップー社会へのお金の生かし方ー」で扱う。
- (3) 「国民の生活と政府の役割」での租税の意義と役割についての扱い
 - 小単元「財政のはたらき」の「政府の仕事」「財政の収入と支出」の項で扱う。
 - 小単元「国の収入を支える税と国税」の「公正な税とは」「国債の発行と負担」の項で扱う。
 - チャレンジ公民「これからの消費税を考えよう」の項で扱う。
- (4) 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い
 - 小単元「法に基づく政治と憲法」の「個人の尊重と人権の保障」「法の支配と権力分立」の項で扱う。
 - 小単元「日本国憲法の制定と三つの基本原則」の「世界とつながる三つの基本原則」の項で扱う。
 - 小単元「人権思想のあゆみと日本国憲法」の「人権思想の誕生」の項で扱う。
 - 公民プラスα「医薬品販売と経済活動の自由」「ハンセン病」「肖像権」「児童(子ども)の権利条約」「京都の景観とまちづくり」で写真や新聞記事を掲載している。
- (5) 「民主政治と政治参加」での選挙の意義についての扱い
 - 小単元「選挙の意義としくみ」の「民主政治と選挙」「選挙制度」「選挙制度の問題点」の項で扱う。
 - 小単元「政治参加と世論」の「政治参加」の項で扱う。
 - チャレンジ公民「一票の格差の問題を考えようーディベートー」の項で扱う。
- (6) 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土(領空, 領海を含む), 国家主権, 主権相互の扱い
 - 小単元「国際社会と主権国家, 日本の領土」の「国家と主権」「日本の領土をめぐる問題」の項で扱う。
- (7) 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学びについての扱い
 - 小単元「これからの社会をどんな社会にしたい?」のレポート作成の手引きの項で扱う。「レポート課題例」として「平和」「環境」「人権」「世代間の公正」「防災・減災」の観点をあげ、レポート作成の目安にしている。
- (8) 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 第1編「現代社会の文化と私たち」で、リニア中央新幹線の写真と説明を掲載している。

概 要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	36	20%	7	0	9	13	37	2	0	3	0	21	45
政 治	39	23%	1	0	12	14	43	26	0	0	0	7	66
	31	18%	0	0	9	13	55	5	0	0	0	28	44
経 済	36	20%	0	0	5	16	43	11	0	1	2	39	46
国際社会	34	19%	0	3	10	11	55	8	0	13	5	33	32
合 計	176	100%	8	3	45	67	233	52	0	17	7	128	233

※政治上段は第2章立憲政治と国民・第3章日本国憲法と立憲的民主政治の第1節、下段は第3章日本国憲法と立憲的民主政治の第2節・第3節。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

- 第1章・小単元「共同社会と利益社会」の「効率と公正」の項で扱う。
 - ・小単元「学校とルール」の「学校生活での対立と合意」のコラムで、「部活動の体育館利用」を具体例としてあげている。
- 第3章「政党と政党政治」の「対立と合意」の項で扱う。
- 第4章「市場経済の特色」のミニ知識「市場経済の公正と効率」のコラムで扱う。
- 第5章「人口爆発と地球規模の福祉」の「地球規模の福祉」の項でわが国などの援助のあり方について「公正と効率」の視点で触れている。
- 終章「持続可能な日本と世界」の「良い公民になるために」の項で「公正と効率のバランスは、対立と合意に向かう議論の過程において大切である。」と記述している。
 - ・課題の探求「ディベートをやってみよう」の「ディベートとは？」の項で「対立と合意」を扱う。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 各章とも、章末の「学習のまとめ」で最重要語句について語句の意味・理解した内容についてまとめさせる課題が設定されている。
- 巻頭に「各章の学習のまとめと発展」の項で、学習の方法について説明がされている。「3つの問題」では、○、△を記入した後に、その章の学習の定着を確実にするために、3つの問題が用意されている。
 - ・問題1 最重要語句から最もよく理解している語句を3つ選び、その語句の意味について約100字でノートに書き出しなさい。【まとめ】
 - ・問題2 ()に○をした単元について、あなたが理解した内容を約200字でノートにまとめなさい。【まとめ】
 - ・問題3 ()に△をした思い出すのが最も難しかった単元については、そのページを開き、「ここがポイント」を読み、本文をもう一度読んで、理解した内容を200字でまとめなさい。【まとめ】
- 終章「課題の探求」の「ディベートをやってみよう」の「ディベートとは?」「ディベートの進め方」「試合の準備」「審判の役割」の項で扱う。
 - 【仮説・推論】
 - ・ディベートの論題は「日本は、現在の温室効果ガスの排出量の3分の1を削減すべきである。」この温室効果ガス排出削減政策は、本当に実行されるべき正しい政策だろうか。【討論・意見交換、表現活動】

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各小単元のはじめに、学習問題が示され、最後に「ここがポイント」で重要点をまとめている。
- 各章とも、章末の「学習の発展」で設定されている課題があり、それを自分で詳しく調べ、ノートに400字でまとめる。【調査分析、表現活動】
- 序章「人類はなぜ家族をつくってきたのか」「日本はなぜ独立国であり続けることができたのか」など。【仮説・推論】
- 第1章「大家族の良いところ悪いところについて考えてみよう」「家族での男女の役割と協力としてどのようなことがあるだろうか」など。【現状分析】
- 第2章「直接民主主義が実現不可能である理由について、改めて考えてみよう」など。【仮説・推論】
- 第3章「普通教育、勤労、納税が義務ではなく、自由でよいとされたら、どのような問題が生じるだろうか」など。【仮説・推論】
- 第4章「わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか」など。【現状分析、表現活動】

5 文字や記号の表記や表現について

- B判で、ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表記は分かりやすい。○課題やコラムが統一した形態で示されている。○各章毎に背景の色分けがされている。

6 内容とその扱いについて

- (1) 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い
 - 小単元「日本の自画像」の「経済大国、科学技術大国」「文化大国」の項で扱う。
 - 小単元「現代日本の課題」の「目標の損失」「少子高齢化の進行」「活力の低下とモラルの衰え」「国民としての自覚の大切さ」の項で扱う。
- (2) 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い
 - 小単元「企業の仕組みと働き」の「株式会社」の項で扱う。○小単元「流通と金融の役割」の「金融」の項で扱う。
 - 小単元「景気変動とその調整」の「日本銀行の役割」の項で扱う。
- (3) 「国民の生活と政府の役割」での租税の意義と役割についての扱い
 - 小単元「政府の財政と税金」の「政府の財政を支える税金」「公平な税負担とは」の項で扱う。
- (4) 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い
 - もっと知りたい「権利の平等に関する問題」の「部落差別問題(同和問題)」「外国人参政権」の項で扱う。
 - もっと知りたい「新しい権利」の「プライバシーの権利」「知る権利」「環境権」の項で扱う。
- (5) 「民主政治と政治参加」での選挙の意義についての扱い
 - 小単元「選挙による政治への参加」の「選挙権と被選挙権」「選挙区制度」「選挙権の保障」の項で扱う。
 - もっと知りたい「選挙制度と政治参加」の「選挙権の行使と投票率」「選挙区制度の問題」「インターネットの活用」の項で扱う。
 - 小単元「地方公共団体の役割」の「地方政治のしくみ」「住民の意思の反映」の項で扱う。
- (6) 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土(領空、領海を含む)、国家主権、主権相互の扱い
 - 小単元「日本国憲法の原則」のミニ知識「主権は2つの意味で使われる」の「国際関係における主権」の項で扱う。
 - 小単元「国家と国際関係」の「主権国家」「国家の三要素」「わが国の領域に関する課題」「国家と国旗」の項で扱う。
 - もっと知りたい「わが国の領土に関する問題」の「『北方領土』ロシアが占領中」「『竹島』韓国が占領中」「『尖閣諸島』日本固有の領土の危機」で扱う。○巻末の「わが国の領域」で、見開きの地図に「他国に占領されているわが国の領土」「他国に領有権を主張されているわが国の領土」を示し、それぞれの場所について説明している。
- (7) 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学習についての扱い
 - 小単元「持続可能な日本と世界」の「世界に貢献する基礎」「持続可能な世界」「良い公民になるために」の項で扱う。
 - 課題の探求の「レポートと卒業論文をつくらう」の「『持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか』を考え、『卒業論文』を作成してみよう。」から「課題をみつけよう」「選択した課題について調べよう」「解決の方法を考えてみよう」「卒業論文にまとめよう」の項で扱う。
- (8) 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 関連：巻頭「すごいぞ日本の技術」の「鉄系超電導材料」で、「リニアモーターカー」(写真と説明)が掲載されている。

概 要

1 概括的な調査研究

単元の構成	頁	割合	伝統文化	国際貢献	コラム読み物	課題学習	語句説明・注	文献資料	新聞記事	地図	年表	統計・図表等	写真実物
現代社会	34	17%	62	0	7	37	9	3	3	2	2	15	131
政 治	40	20%	1	4	13	50	22	14	13	1	2	32	57
	38	19%	9	0	7	51	21	0	10	1	0	36	51
経 済	50	25%	0	2	8	68	24	2	12	1	0	69	74
国際社会	38	19%	2	19	9	37	20	4	5	7	1	19	56
合 計	200	100%	74	25	44	243	96	23	43	12	5	171	369

※政治上段は第2章私たちの生活と政治—日本国憲法の基本原理—、下段は第3章私たちの生活と政治—民主政治と政治参加—。

2 「対立と合意」、「効率と公正」の扱いについて

- 第1章「対立から合意へ」「決まりの意義」の項目で扱う。実際に「学級会で、文化祭の劇主役を決定する」ことを取り上げている。
- 第2章「法の入り口」で、実際に家族でケーキを切り分ける例を取り上げ、対立と合意、効率と公正の視点から考察している。
- 第2章「権利と権利の対立と合意」で、資料「インターネット上の人権侵害防止に向けたポスター」から人権の視点から考察している。
- 第3章「新聞の社説を比べてみよう」「裁判員になって判決を考えよう」では対立軸を明確にして考察している。

3 言語活動(思考力・判断力・表現力の育成)の扱いについて

- 巻頭に「人生モノサシ」「自分の過去・現在・未来シート」が設定され、自分の考えを記述させる課題が設定されている。
- 各章のおわりの「学習のまとめ」で、言語活動に関する課題が設定されている。
- 各小単元の奇数頁右下に、「調べよう」「考えよう」「発表しよう」「話し合おう」と、学習の内容を確認したり、自分の考えをまとめたりする問いが設定されている。
- 第1章 ・発見!現代社会の特色【表現活動】 ・身近な祭りを調べてみよう【調査活動、表現活動】
- 第2章 ・法の入り口【表現活動】
- 第3章 ・政治の入り口【表現活動】 ・新聞の社説を比べてみよう【表現活動】 ・裁判員になって判決を考えよう【仮説・推測、表現活動】
- 第4章 ・経済の入り口【表現活動】
- 第5章 ・国際社会の入り口【仮説・推測、表現活動】
- 社会のまとめ ・テーマを決めてレポートを作成しよう【仮説・推測、表現活動】

4 課題解決的な学習の扱いについて

- 各章単元のはじめに学習問題が示され、おわりに、学習内容を確認したり深めたりする課題が提示されている。
- 第1章 ・家族が生きてきた時代を調べよう【調査活動】
- 第2章 ・男女の平等と家族の価値【調査活動】
- 第3章 ・観光資源を探そう【調査活動、まとめ】
- 第4章 ・企業を訪問してみよう【調査活動、発表活動】
- 第5章 ・地球環境問題と日本【調査活動】
- 社会のまとめ ・テーマを決めてレポートを作成しよう【仮説・推測、表現活動】

5 文字や記号の表記や表現について

- AB判で、ゴシックやルビ、資料の説明や注などの表現は分かりやすい。 ○内容の種類毎に記号や色が使われている。 ○課題やコラムが統一した形態で示されている。

6 内容とその扱いについて

- (1) 「現代社会と文化」での現代日本の社会の特色についての扱い
 - 第1章の巻頭「発見!現代社会の特色」で、現代日本の社会の特色をあらわした「公共施設」「商店街」「まちかど」の写真に掲載している。
 - 資料「戦後の日本と世界の主なできごと」の「政治・経済・社会」「文化」の年表で扱う。
 - やってみよう「家族が生きてきた時代を調べよう」で扱う。
- (2) 「市場の働きと経済」での金融の仕組みや働きの扱い
 - 小単元「企業の種類と役割」の「株式会社」の項で扱う。
 - 小単元「金融のはたらき」の「お金の役割」「直接金融と間接金融」「銀行の仕事」「預金と貸付」の項で扱う。
 - 小単元「日本銀行のはたらき」の「中央銀行の役割」「日本銀行の指名」の項で扱う。
 - 小単元「国際金融」の「グローバル化する経済」の項で扱う。
- (3) 「国民の生活と政府の役割」での「租税の意義と役割」についての扱い
 - 小単元「消費と家計」の「家計の貯蓄」の項で扱う。
 - 小単元「財政と租税」の「財政の支出と収入」「公平な税の負担」「財政の赤字」の項で扱う。
- (4) 「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」での基本的人権の保障についての扱い
 - 小単元「人権の歴史」の「人権とは何か」の項で扱う。
 - 小単元「新しい人権」の「社会の変化にともなう権利」「知る権利」「プライバシーの権利」「環境権」の項で扱う。
 - 小単元「参政権と請求権」の「参政権」「請求権」の項で扱う。
 - 小単元「国際社会における人権」の「国際的な人権尊重に広がり」「人権をめぐる国際的な問題」の項で扱う。
 - コラム「『ともに生きる』ためにできること」「人種差別をなくすために」「世界の人権問題」で扱う。
- (5) 「民主政治と政治参加」での「選挙の意義」についての扱い
 - 小単元「民主主義とは」の「直接民主制と間接民主制」の項で扱う。
 - 小単元「政党と政治」の「与党と野党」の項で扱う。
 - 小単元「選挙のしくみ」の「選挙の課題」の項で扱う。
- (6) 「世界平和と人類の福祉の増大」での領土(領空、領海を含む)、国家主権、主権相互の扱い
 - 小単元「世界の中の日本人として」の「国際社会とルール」「国際協力の必要性」の項で扱う。
 - 小単元「国家とは何か」の「国家の権利と主権国家」「主権のおよぶ範囲」「日本の領土をめぐる問題」の項で扱う。
 - 小単元「国家と私たち」の「国民国家」「国旗・国歌」の項で扱う。
 - コラム「領土を取り戻す、守るということ」で扱う。
- (7) 「よりよい社会を目指して」での持続可能な社会を形成するという観点からの探究的な学習についての扱い
 - 「社会のまとめ」の「テーマを決めよう」「『国づくり構想』をつくらう」「プレゼンテーションをしよう」「『国づくり構想』の見直し」「レポートの作成」の項で扱う。
- (8) 山梨県の社会的事象について ※県名のみ場合は除く
 - 巻末で、「リニア中央新幹線」の様子を写真と説明文で紹介している。

令和2年度使用

中学校教科用図書採択参考資料

地 図

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	地図 723
46 帝 国	地図 724